

目 次

■創立 30 周年記念事業の実施にあたって	1
■学会の 30 年小史	2
■活動の記録（2008 年度（平成 20 年度）～2017 年度（平成 29 年度））	12
表 1 年次大会および秋季大会	12
表 2 講演会	15
表 3 技術交流会	30
表 4 成形加工夏季・秋季セミナー	33
表 5 成形加工実践講座シリーズ	36
表 6 成形加工テキストシリーズ講座	38
表 7 専門委員会公開行事	41
表 8 アジア・プラスチック成形ワークショップ	42
表 9 会誌「成形加工」－解説記事題目一覧－	45
表 10 学会賞（論文賞・「青木固」技術賞・技術進歩賞）受賞者一覧	57
表 11 役員名簿	61
表 12 名誉会員名簿	64
表 13 創立 30 周年記念功労者名簿	64
表 14 創立 30 周年記念感謝状贈呈者	64
■創立 30 周年記念事業実施委員会名簿	65
■創立 30 周年記念特別講演会原稿	67
■創立 30 周年記念特別交流会原稿	85

創立 30 周年記念事業の実施にあたって

創立 30 周年記念事業実施委員会
委員長 横井 秀俊

一般社団法人プラスチック成形加工学会は、1988 年 12 月の設立総会から数えて、今年で創立 30 周年を迎えこととなりました。第 29 回年次大会は、創立 30 周年記念大会として「30 周年成形加工は新たなステージへ」をスローガンに、通常 2 日間の日程枠を 1 日拡大し、2018 年 6 月 20 日～22 日の 3 日間にわたりタワーホール船堀にて開催することとなりました。

創立 30 周年を記念して、(1)成形加工の要素技術、成形技術、総合化技術、デザインまでスコープを広げた著名な講師 5 人による 30 周年記念特別講演に加えて、(2)特別交流会、(3)記念式典と各種表彰、(4)記念特集号の発行、さらには(5)30 周年を起点とした若手エンカレッジメントプログラム(若手奨励賞)の創設、以上の 5 つの記念事業が企画されました。理事会/年次大会実行委員会/記念事業実施委員会は、密接な連携をはかりながら、一年半にわたり、5 つの記念事業の実現に向けて鋭意・準備を進めてまいりました。本年次大会の会期中に、(1)特別講演会、(2)特別交流会、(3)記念式典と各種表彰、以上の 3 事業が順次実施されることとなっています。また、慎重に審議を重ねてきた(5)若手奨励賞の創設も、いよいよお披露目される運びとなりました。

新規企画の(2)特別交流会では、創立 30 周年という節目を多くの仲間と単に祝い合うだけでなく、技術開発や学術研究におけるこの 10 年間の発展を会員相互がパネル展示し、これまでの 10 年の発展の流れと現在の到達点に立脚して、これからの 10 年の発展方向と学会活動の未来を語り合う「場」として企画されました。数百人規模の会員が一堂に会し、将来を語り合う企画は、本学会で初の試みです。創立 30 周年を迎えて、プラスチック成形加工の未来はどのような姿になってゆくのか、どのような分野に発展すべきか。成形機や金型、材料、CAE、成形技術などの成形加工を構成する主要な要素技術群が集い、「成形加工は新たなステージへ」を掛け声に、分野境界や産学官の枠を超えた総合的な情報交流とオープンなディスカッションで、熱い意見を闘わせていただきたいと思います。30 周年記念事業にふさわしい企画となることを期待しています。

本冊子は、創立 30 周年記念冊子として、珠玉の特別講演要旨ならびに 100 件を超える展示ポスター原稿、本学会の 30 年小史を収録した貴重な資料集です。別冊の講演予稿集とともに、是非有効にご活用ください。

30 周年記念事業は、同実施委員会、年次大会実行委員会、学会誌編集委員会など多くの関係者の献身的なご尽力により、意欲的に、創造的に、発展的に企画され運営・実施されています。また、公益財団法人金型技術振興財団からは趣旨にご賛同をいただき特別交流会等の実施に多大なご助成を賜りました。多くの賛助企業からは、ゴールドスポンサーへのご登録および広告掲載などを通して財務的なサポートを賜りました。記念事業実施委員会を代表して、ご助力・ご協力を賜りました関係者各位、財団、企業各社に心より感謝を申し上げます。

学会の30年小史*

(1988年～2018年)

1. 学会の創立と法人化, そして一般社団法人へ

多くの境界領域に跨るプラスチック成形加工は, もともと既存の一つの学問分野では十分な対応ができない学問・技術領域である。学会創立前には, 研究者・技術者はこれまでの既存の学問・技術分野に身を置き, 各領域から各々独立にプラスチック成形加工分野へとアプローチせざるを得ない「不自由な」環境に置かれていた。これに対し, 相互交流と情報交換のための共通の広場を中心につくり, 広場と各領域を放射状に繋ぐことで, 研究者・技術者にとって真に求められる集約化された自由な研究・開発環境を実現しようという取組みが1988年1月に始まった。プラスチック成形加工学会創立への模索である。5回の準備会を重ね, 創立世話人23人の呼びかけで11月には7割が産業界からという325人の創立発起人を集め, 同年12月13日に創立総会を行った。模索から僅か11ヶ月での学会誕生である。社団法人日本合成樹脂技術協会の支援と株式会社シグマ出版の全面的な協力も順調な創立を後押しした。

任意団体として創立された本学会も1994年には社団法人として認可されるに至っている。社団法人化への取組みは, 創立後3年を経て, 正会員1000人の大台が視野に入り始めた1991年の事務局独立に始まる。第3期中川威雄会長が法人化を目標に掲げ, 会員拡大運動とともに正会員1000人を達成すると, 直後の1992年11月には早くも文部省(当時)との第一回目の折衝を持つこととなった。以後, 文部省からの毎回の課題に答えるべく膨大な資料を準備しつつ, 1994年5月までに延べ9回の折衝を重ね, 6月7日に社団法人プラスチック成形加工学会の創立総会, 10月4日には正式に創立許可(社団法人化達成)となった。折衝開始後2年, そして創立後では約6年後という文部省でも前例のない異例の速さであった。法人化を記念して11月にはシンボルマークが制定された。

その後, 学会としての活動を継続的に進めてきたが, 2008年12月1日に新しい公益法人制度に関する法律が施行されたことを受け, 2009年7月に理事会の下に「公益法人化移行検討WG」が設置された。約一年半の検討期間を経て, 2011年3月には理事会に対し「一般社団法人(非営利型)へ移行し, その後, 学会内外の状況を見極め, 必要に応じて公益社団法人への移行を検討する。」との答申が提出されている。これを踏まえ, 2011年6月の通常総会において移行法人の承認, 決議を行い, 同年10月に開催された秋季大会期間中に臨時総会を開催することで定款・機関設計の承認, 決議を行った。続いて内閣府公益認定等委員会に対し, それまでに準備を進めていた一般社団法人移行認可申請書を提出し, 2012年3月に同委員会より認可書を取得することができた。これにより, 2012年4月1日に移行登記の手続きを行い, 一般社団法人プラスチック成形加工学会へと法人移行し, 現在に至っている。

2. 学会の理事, 組織, 運営

創立時の定款には理事15名以上30名以内(副会長3名以内), 監事2名が規定され, 第3期役員までの理事数は18名, 28名, 30名と每期増員が行われた。しかし, 社団法人化の際に理事15名以上20名以内(副会長4名以内), 監事2または3名へと定款が変更されたことにより理事数が大幅減員となり, 第13期までは理事数19名または20名と監事2～3名で役員が構成されてきた。

* 本稿は2008年に発行されたプラスチック成形加工学会創立20周年記念資料集における「学会の20年小史」をもとに, その後の10年間の活動を追記したものである。

そして、2012年4月の一般社団法人への移行に際し、定款の見直しを行うことで、理事15名以上25名以内（副会長5名以内）、監事3名以内となったため、第14期は理事数22名、監事3名、第15期は理事数21名、監事3名で役員が構成されている。副会長は創立時の庶務、編集（会誌）、企画各担当副会長（3副会長制）に加え、1996年の法人化後には産業界から新たに財務担当副会長を選任し、現在も4副会長制を維持している。創立以来一貫して「働く理事会」が標榜され、特に副会長は、会誌担当が会誌編集委員会、企画担当が企画委員会、財務担当が財務委員会の各委員長となって、「名」とともに「実」としての責任を担ってきた。役員任期は2年で再任を妨げないが、会長は各期で交代してきた。副会長も、軌道に乗るまでの継続性が重視された第1期、第2期を除いては各期で交代がなされてきたが、第8期頃より順調に推移する事業を継続するため、副会長が2期にわたって再任されることが増えてきた。副会長職の負担の重さから、再任は極力避けるべきという認識は共有されているものの、現実的には諸般の事情から再任が頻発している現状がある。

学会事務局は当初、日本合成樹脂技術協会の全面的な創立支援とご好意により協会内（東京都中央区銀座）に設置され、同協会の熊田和雄氏が事務局長職を代行された。学会の順調な立ち上がりで900人を超える正会員数に後押しされ、さらに社団法人化の要件（独立事務所と専従職員）を見据えて、1991年8月には同協会を巣立ち、港区芝浦へと事務所を移転した。同時に川端元事務局長を迎え入れた。これに合せて、事務局体制を事務局長1名と非常勤職員1名とする運営体制とした。さらに1995年7月には、固定費の圧縮と交通の利便性、編集作業の円滑化を目的に、渋谷区桜丘町の株式会社シグマ出版と同じビル内に事務所を移転し、また1998年6月には事務局長のバトンが印南英敏氏へと引き継がれた。その後、学会活動の活発化に伴い事務局の狭隘さが問題となってきたこと、「公益法人の設立許可及び指導監督基準」で法人の内部留保（繰越金）を年度総経費の30%以内とすることが強く求められたこと、さらには当時の事務所の賃貸契約更新時期とが重なって、2000年12月の理事会で、自前の事務所の所有を検討するという「大英断」が下された。早速適切な物件を探索するとともに、経費上の得失を十分に議論し、2001年4月の理事会で事務所用物件購入の方針を承認した。2001年度の通常総会における承認ならびに文部科学省の了承を待って、2001年8月から現在の事務所（品川区大崎）で業務を開始した。日本の諸学会を見回しても会員数1500名規模の学会が自前の事務所を所有することは極めて稀であるが、本学会は会員各位の強力なサポートと堅実な運営に恵まれてこうした英断を行い得たものである。この事務所において学会業務を行うことは当然のこととして、年々増え続ける証票類や会誌・予稿集のバックナンバーの収納にも十分な面積を有しており、さらには様々な委員会を事務所内で開催することができることから、会務の円滑化と必要経費の圧縮に貢献している。

2006年3月には、学会事務局の激動期を牽引してきた印南事務局長が退任され、同年4月からは後任として久保田和久氏が着任され現在に至っている。事務局運営をサポートする非常勤職員は、現在の事務局体制構築以来、2002年からの1年強を除いて一人体制を続けてきたが、処理すべき事務量の増大に応える必要が出てきたため、2008年度より二人体制となっている。

3. 会勢の拡大

会勢のバロメーターである正会員数は、発足時の325人から急激な増加を遂げ、1991年3月には800人となった（図1）。法人化を目指した1992年度には会員拡大運動を本格化させ、ついに10月に法人化要件である1000人の大台を突破した。勢い余ってか、翌年の1993年3月までには1200人まで会員数を一気に伸ばしたものの（賛助会員も25口増加させて169口となった）、法人化達成の目処がついた1993年度以降は、一息入れるかのように毎年30人から50人の自然増にて推移を見守ることとなった。1997年度には社会情勢を反映して、マイナス58名という初めての正会員減

(ただし賛助会員は会員拡大運動の結果7口増加)も経験し、1316人(同176口)となった。また2008年の秋に世界を襲ったリーマンショック、2011年3月の東日本大震災と日本経済の苦難と連動する形で会員数が減少し得るタイミングは何度もあった。これらへの対応として、適時、入会金を無料とするなどの会員増強キャンペーンの実施や、プラスチック成形加工に関する業務を持つ企業への働きかけを行うことで、会勢の維持に努めてきた。そのおかげもあって、ここ10年は正会員1300名余、学生会員70名余、賛助会員170口弱を維持している。学会創立後数年間の「破竹」の会員増加に比べれば随分と熱が冷めた状況ではあるが、この10年間の経済状況、特に製造業をめぐる世界的な潮流の影響を考えれば致し方ない一面もある。工学系の他学会において会員数減少に歯止めがかからない現状を鑑みれば、本学会は大きく会員数を減らすことなく、堅実に会勢を維持しているといえる。

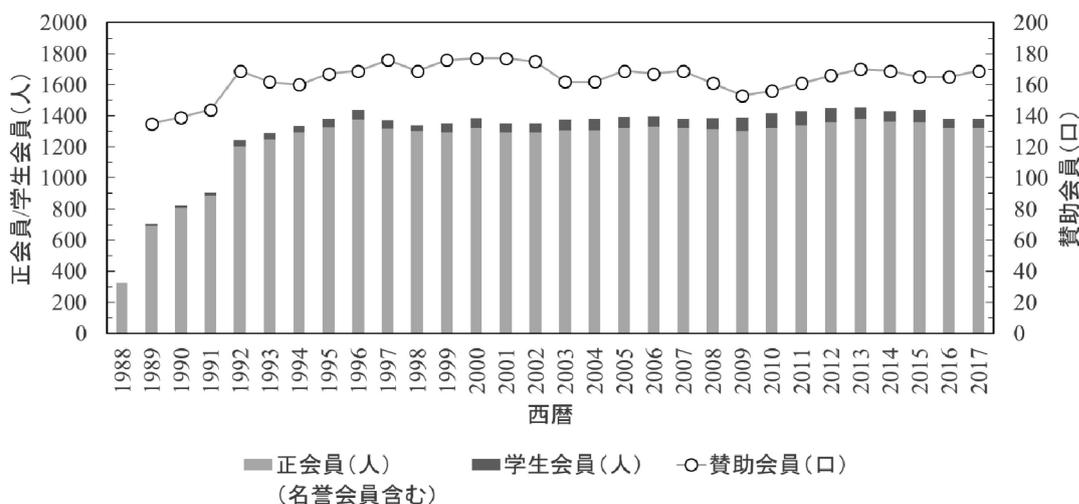


図1 本学会の会員数および賛助会員数の推移

4. 学会誌およびテキストシリーズ出版

学会誌「成形加工」は、財務状況を度外視するかのように1989年4月20日にいきなり隔月刊として創刊された。これは、創刊準備段階からやはり採算を度外視してバックアップしていただいた株式会社シグマ出版の熱意によるところも大である。会誌の命名も、これほど単純な名称がよくぞ未登録であったものだ、という幸運に恵まれた。斬新な表紙デザイン(いわゆるミドリムシ、当時は混沌としてよく分からないところが支持されたい)は、長年にわたりポスター、年次大会および秋季大会予稿集、ホームページに使われ、シンボルマーク以上に学会を象徴するデザインとなっていた。そして、2012年4月の一般社団法人への移行を機に、表紙新デザインの公募を行い、宝田亘氏の「循環」が採用された。明るい配色により永続性を表現している新デザインは、2013年1月号より学会誌「成形加工」はじめ各種印刷物の表紙を飾っている(本資料集の表紙にも使用)。

学会創立当初は、編集委員会と校閲委員会とが一つの委員会として会誌を担当していたが、1994年12月から後者が独立し、後に論文編集委員会と改名して現在に至っている。現在、論文編集委員会は、年次大会および秋季大会の会期中に委員会を開催し、産学の良好なバランスを特徴とする本学会の「学」の部分を担当論文の量と質を高めるための活動を行っている。

会誌は1991年4月から会員サービスの拡充を目的にして月刊化された。また、第5巻(1993年)、第6巻(1994年)はそれぞれ射出成形と押出・ブロー成形の論文・技術報告特集が組まれたこともあり、ページ数が急激に増加した(図2)。その後も豊富な解説記事や論文によって総ページ数

が増える傾向が見えたことから、公文書等の A4 判化の流れに合わせて、第 12 巻（2000 年）から会誌を A4 判とし、総ページ数を削減したが、その後もページ数の増加傾向が止まらなかった。そのため、2009 年頃より編集委員会を中心として、各記事別のページ数見直しを進め、会誌発行経費の適正化に努めている。一方、創立 20 周年の節目となる 2008 年 9 月号より学会誌がフルカラー化された。これにより、今まで以上に見やすく、伝達できる情報量も増える紙面を提供することができるようになってきている。

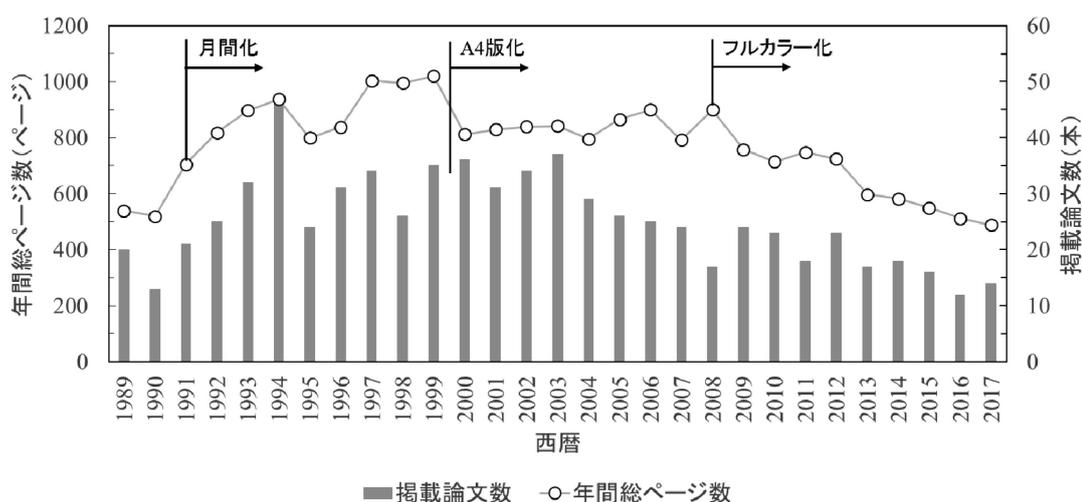


図2 学会誌「成形加工」の掲載論文数と年間総ページ数の変遷

一方、学会誌に掲載される論文数は、押出・ブロー成形の論文・技術報告特集が組まれた第 6 巻（1994 年）に年間 46 編を記録してピークとなったが、その後は漸減傾向が続き、ここ数年は年間 20 報を割り込むことが多くなっている。これらの論文の国際的認知を高める目的で、2005 年 4 月からは、Polymer Processing Society (PPS) との協定に基づく成形加工誌と International Polymer Processing (IPP) 誌との間での論文英文概要の相互掲載が開始された。また同時期に、論文を含めた会誌の電子出版化も提案されたが、その後の経済状況の変化などの影響もあり、現時点では実現していない。しかし、電子出版化による社会認知度のアップ、査読などの作業効率向上を総合的に考えた場合、その有効性は捨てがたいものがあり、会誌編集委員会による継続的な検討が行われている。その成果の一つとして、2007 年 6 月に設置された「電子ジャーナル化 WG」により、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム、国立研究開発法人科学技術振興機構が構築した日本の科学技術情報の電子ジャーナル出版を推進するプラットフォーム）における学会誌の公開が検討され、論文、ノート、技術報告について公開することとなった。準備期間を経て、2009 年 1 月より J-STAGE 上での公開がスタートし、現在は 1989 年第 1 巻 1 号から最新号（アップロード作業のタイミングにより多少の時間差は生じる）までを手軽に閲覧できるようになっている。

一方、1994 年の法人化達成記念事業の一環として、プラスチック成形加工学を学問として体系づけ標準的な教科書シリーズとして出版する事業が、第 4 期成澤郁夫会長の発案により 1994 年 9 月から開始された。全 6 巻として構成企画されたテキストシリーズ「プラスチック成形加工学」は、1996 年 4 月に出版された第 1 巻「流す・形にする・固める」に続き、順次刊行が進められたが 2011 年に行った出版元の変更に併せてシリーズの見直しを図っている。またこれとは別に、2008 年の創立 20 周年を記念して新しく最先端プラスチック成形加工誌シリーズ（全 5 巻）の出版が企画され、順次、発刊が進んでいる状況である。さらに、学会誌「成形加工」の記事の一つである「講座」か

らも専門書が生まれている。「講座」ではプラスチック成形加工に関わる特定の分野について、その基礎から応用までを連載で解説しており、これをまとめて専門書にとの要望があった。これを受けて、「プラスチック成形品の高次構造解析入門」が日刊工業新聞社から2006年2月に、「図解プラスチック成形材料」が工業調査会から2006年5月に刊行されている。

5. 年次大会, 秋季大会, 企画事業

正会員がまだ約460人の1989年6月、会員数を大きく上回る732人を集めて、第1回年次大会が学士会館で開催された(図3)。バブル絶頂期とはいえ、まさに「お化け学会」の様相を呈していたといえる。毎年6月に東京で総会と共に開催される年次大会は、第3回年次大会となる「成形加工'91」の141件をピークに講演数はほぼ120~130件前後と大きな変動なく推移し、参加者数も700人台で安定していた。ただし、秋季大会開始に伴う分散化と経済状況を反映して「成形加工'93」(第5回年次大会)以降は漸減し600人台に低下した。なお、1998年度は、本学会が実質的な担当団体となった国際学会PPS-14(後述)が年次大会の開催時期と重なったため、異例ながら総会のみが開催された。「成形加工'91」(第3回年次大会)からは賞の新設にともなう青木固技術賞受賞講演が、「成形加工'92」(第4回年次大会)からは可視化研究の拡がりを背景として大型液晶ビジョンによるビデオセッションが、そして3日間となり登録料アップとなった「成形加工'94」(第6回年次大会/国際年次大会)では参加者数減少予測への対策と活性化を目的として特別セッションが、それぞれ開始された。「成形加工'99」(第10回年次大会)からは、前年の秋季大会において実施されたポスターセッションが導入され、以降、ポスターセッションは継続して実施されている。大会の会期に関しては、講演件数の増加に対応する形で、1999年、2005年、2007年、2008年の年次大会を三日間開催として実施した。しかしその一方で、企業からの参加者が多い本学会の年次大会では二日間開催の要望が根強い。このため、講演会場のパラレル化が進んだが、会場数に限りがあることに加え、聴きたい講演が重なるなどの弊害も生じることから、ここ10年ほどは単に講演件数を増やすのではなく、講演の質を高める方向へ舵が切られているようである。その結果、ポスター発表を含めた講演件数は250件程度で推移しているにも関わらず、大会参加者数は増加傾向にあり、ついには「成形加工'17」(第28回年次大会)において、当日参加登録者を加えた総参加者数が1,000名を超えた。こうした活況を支える年次大会実行委員会メンバーの熱意は特筆すべきものであるが、世代を超えてその活動を伝えていくために、「成形加工'00」(第11回年次大会)から大会運営ボランティア(2004年からは運営支援委員と改称)として、主に企業に所属する若手の方に年次大会運営の一端を担っていただいている。元運営支援委員の方が、各種委員会メンバーや年次大会、秋季大会の実行委員メンバーとして活躍されるケースも多く、本学会の運営に協力いただける若手発掘の重要なパスとなっている。

一方、年次大会の参加者が800人の大台に乗った1992年の8月には秋季大会準備委員会が発足し、翌年11月に大阪で「成形加工シンポジア'93」が初めて開催された。秋季大会は、地方開催を通して本学会の活動を広く知ってもらい、地域の活性化と共に将来の支部活動の芽を育成すること、研究発表の機会を年2回としオーバーフロー気味の年次大会の分散化を図ること、等を課題に掲げて、全国各地で順次開催されてきた(表1)。当初は講演件数、参加者数ともに年次大会の約半分の規模で実施されていたが、第3回となる福岡大会(成形加工シンポジア'95)以降から、講演件数は100件の水準となり、ポスターセッションを新設した二回目の大阪での開催となる成形加工シンポジア'98では、ポスター講演48件を加えてついに年次大会を上回る154件を記録した。その後も講演数では年次大会とほぼ同数を毎年記録し、参加者人数が500人を超えることもしばしばで、年々増加する傾向にある。なお、年次大会を合わせた年間の講演件数は約500件となっており、秋

季大会開始により研究発表の促進と活性化が大幅に推進されたことが理解される。

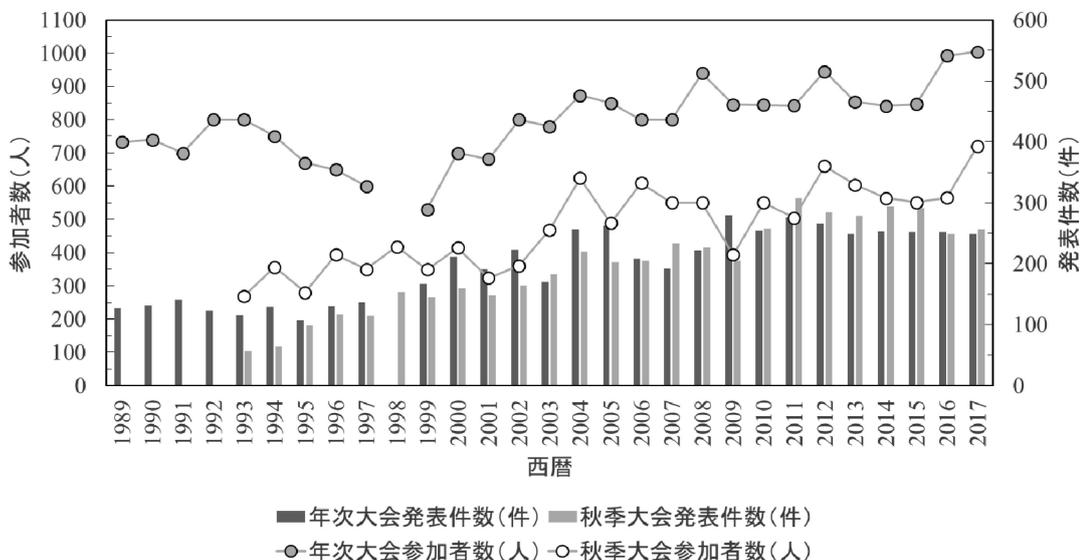


図3 年次大会および秋季大会における参加者数と発表件数の変遷

表1 年次大会および秋季大会の記録

年度	回数	年次大会会場	回数	秋季大会開催地
1989	1	学士会館	-	-
1990	2		-	-
1991	3		-	-
1992	4		-	-
1993	5	中央大学駿河台記念館	1	大阪
1994	6		2	京都
1995	7		3	福岡
1996	8		4	米沢
1997	9	日本青年館	5	金沢
1998	(PPS-14のため開催せず)		6	大阪(2回目)
1999	10	大田区産業プラザ	7	名古屋
2000	11		8	広島
2001	12		9	米沢(2回目)
2002	13		10	北九州
2003	14	タワーホール船堀	11	金沢(2回目)
2004	15		12	京都(2回目)
2005	16		13	仙台
2006	17		14	岐阜
2007	18		15	山口
2008	19		16	福井
2009	20		17	長崎
2010	21		18	神戸
2011	22		19	秋田
2012	23		20	名古屋(2回目)
2013	24		21	倉敷
2014	25		22	新潟
2015	26		23	福岡(2回目)
2016	27		24	仙台(2回目)
2017	28	25	大阪(3回目)	
2018	29	26	浜松(予定)	

この他の企画事業として、年間で平均6回程度開催され通算では160回を超える講演会や、年に1回開催される実践講座がある。また、前述の本学会が発行したテキストを用いるテキストセミナーは年に2回程度開催されている他、工場見学とともに行われる技術交流会も年間2回程度実施されている。いずれの企画についても会員のみならず、協賛学協会会員や非会員の参加も多くあることから（技術交流会だけは会員限定）、本学会の企画行事の人気の高さが伺える。

6. 研究委員会／専門委員会

プラスチック成形加工分野の重要な課題について継続的に調査研究することを目的に、会員をもって組織される研究委員会の設置が第1回年次大会においてアナウンスされた。発足は1989年10月からで、年度内に4委員会が同時に立ち上がった。研究委員会の運営は、講演会・セミナー形式から会費に基づくプロジェクト研究形式まで、また設置期間も1年半の短期終了から10年以上継続する委員会まで、委員長の方針により多岐にわたっている。年度別の委員会数では、1992年の7委員会をピークに漸減を重ね、1997年度からは僅かに2研究委員会となった。そこで1998年度には、学会の活性化をはかり会勢拡大の基盤整備をはかる上で、研究委員会活動を大きな柱として改めて位置づけ、専門委員会規定を新たに策定した。1999年3月に同規定に沿って5専門委員会の設置が承認され、旧規定による2研究委員会と併せて1999年度には7委員会が活動した。その後、研究委員会は2003年度までに終了し、二つの専門委員会も設置期間に合わせて活動を終了したが、2003年に設置された「新加工技術専門委員会」は、専門委員会のインキュベータ的役割を果たし、2009年に二つの新しい専門委員会を設立することに貢献した。また、昨今のナノマテリアルの応用展開ニーズを受ける形で、2018年4月からは「ナノセルロース・ナノカーボン複合材料専門委員会」が立ち上がるようになっており、2018年度には8つの専門委員会が活動を行うこととなる。

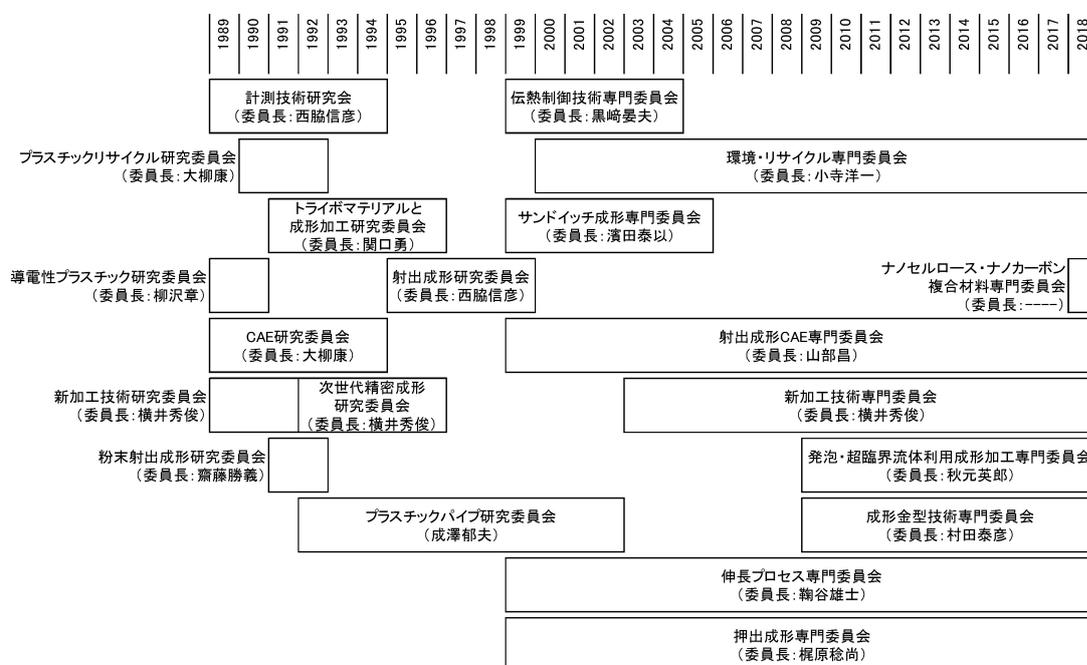


表2 研究委員会および専門委員会の変遷

7. 地方支部

秋季大会の企画等を通じて地区毎の「人の輪」ができるにつれて、本学会にも地方支部を設置したいとの気運が高まってきた。これを受けて、1999年3月の理事会から本学会の地方支部通則の議論を開始し、同年7月に支部通則が発効された。早速、同年9月には関西地方の会員有志から関西支部設置提案書が理事会あてに提出され、1999年11月24日に関西支部創立総会を開催して活動を開始した。本学会にとって初めての地方支部設立であったこともあり、支部創立総会と本学会総会承認とが前後する混乱もあったが、2001年5月の通常総会で関西支部設置が正式に承認され、現在に至っている。

本学会における二つ目の支部は、東北・北海道支部であるが、もともと東北・北海道地区には「べにばなコンファランス」という集まりがあり、そこへプラスチック成形加工学会の新しい支部を設立することに関して賛否両論があったようである。しかしながら、第10期の小山清人会長の暖かい眼差しによる下地作り、そして第11期の横井秀俊会長の熱意を持った継続的な働きかけが、「べにばなコンファランス」のメンバーを中心とした東北・北海道地区の会員の熱意と共鳴することで、ついに2009年8月に東北・北海道支部が設立されるに至った。

さらに2011年3月には、日本におけるものづくりの中心地といえる東海地域より60名を越える発起人リストを用意した東海支部の設立が提案され、同年9月に設立総会を開催するに至っている。なお、これに合わせて、それまで関西支部に区分されていた岐阜県、三重県に居住あるいは勤務する会員は東海支部へ移ることとなっている。東海支部は、設立から半年という短期間の間に、2回の講演会、講習会、見学会を開催しただけでなく、設立翌年には、名古屋での二回目の秋季大会となる成形加工シンポジウム'12を見事に運営し、その後も非常にアクティブな活動を継続している。

8. 学会賞

1990年度から、学会誌「成形加工」の過去3年間に掲載され公表された研究論文を対象として、最も優秀なものに対し研究の奨励と学術の発展を促進する目的でプラスチック成形加工学会論文賞が設けられた(第1回は1990年度論文賞として1991年度に贈賞された)。論文数の増大ともなっており、1994年度(第5回)選考から過去2年間、1995年度(第6回)からは過去1年間に審査対象論文が絞られた。また、プラスチック成形加工技術において創造的業績をあげた研究者・技術者に対して、その精進と努力に報い将来の発展を期待して「青木固」技術賞が同時期に設けられている。以後、論文賞は毎年2件以内、「青木固」技術賞は公募により毎年3件以内(例外的に4件)の贈賞を行ってきた。さらに2013年からは、中小企業が中心となって取り組んだ新規性や独創性の高い萌芽的な技術を表彰する技術進歩賞が設けられている。2017年度(贈賞は2018年6月)までの贈賞数は、論文賞50件、「青木固」技術賞72件、技術進歩賞11件にのぼる。

なお、青木固氏は日精樹脂工業株式会社の創始者で、射出成形機、延伸ブロー成形機など多くのプラスチック成形機の開発と発明に世界的な業績を残されたが、本学会の創立総会を目前に控えた1988年10月に創立を見ないまま逝去された。技術賞の創設にあたっては、同氏の功績を称え「青木固」技術賞とし、同時にその運用に対し日精樹脂工業株式会社の継続的なご支援を賜うよう、理事会の議を経て依頼することとなった。今日まで学会賞の選考・贈賞が円滑に行われている背景には、同社の理解と御厚意に拠るところが大である。

9. 国際化

学会創立当初は、日本のプラスチック成形加工研究のレベルは欧米と比べても質、量ともにやや見劣りする状況であり、日本のレベルを世界の最高水準へと押し上げることと、「国際化の推進」と

は表裏一体のように捉えられていた。年次大会、秋季大会においても外国人研究者を特別講演講師として招くことが積極的に行われ、J. L. White 氏（成形加工'92）、K. K. Wang 氏（成形加工シンポジア'93）、N. P. Suh 氏（成形加工シンポジア'94）、J. M. Marchal 氏（成形加工シンポジア'95）から講演をいただいた。また第8回の年次大会となる成形加工'96では初めての試みとして国際年次大会が企画され、通常の年次大会（2日間）に先立つ第1日目に、海外からの10人を含む13人による英語の招待講演が行われた。このほか1991年11月には、日本プラスチック見本市振興会と共催でJP東京-アカデミックセミナーが開かれ、海外からの講師3人を含む6人の招待講演会が行われた。

1998年6月には、第14回国際高分子加工学会年次大会（PPS-14）が日本レオロジー学会との共催で横浜にて開催された。これは本学会が初めて担当する大きな国際学会であった（1989年のPPS-5京都の主担当は日本レオロジー学会）が、実施に際して通常の年次大会を開催できないという異例の事態となった。その背景には、運悪く通常の年次大会と開催時期が重なったこと、また不慣れた国際会議と国内大会との組織運営を両立させるほどの人的・財政的な基盤が本学会に備わっていなかったという事情があった。加えて、PPS-14は本学会が国際的な認知を得るためのまたとない機会であったため、本学会の将来を見据えて国際化推進を掲げた第5期船津和守会長のもと、理事会として積極的推進の最終決断を行い、船津会長は同時にPPS-14組織委員長として開催に尽力することとなった。さらに2006年7月には、本学会が担当した国際高分子加工年次大会としては2回目となる第22回国際高分子加工学会年次大会（PPS-22）が、それまでと同様日本レオロジー学会等との共催で、山形で開催された。PPS-22では、本学会年次大会とPPS年次大会の間にできるだけ時間を空けるように配慮し（約1ヶ月）、本学会の年次大会を通常通り開催した。その結果、PPS-22に570名余の参加者を集めて成功裏に開催しつつも、年次大会の参加者数・講演数に大きな影響は及ばなかった。このことは、PPS-14からPPS-22の間における本学会の実力向上を示していると考えられる。

21世紀初頭より、本学会では自らが海外で主体的に運営する事業を持つようになった。すなわち2000年度には、第7期黒崎晏夫会長、理事会を中心に、本学会の有する成形加工に関する知識と熱意をアジアの国々にも広め、もって本学会をプラスチック成形加工分野のアジアにおける「ハブ」にしようという機運が高まった。これを受けて企画委員会では、国際化小委員会を設置し、2001年3月にタイ国において「日タイ成形加工ワークショップ」を開催する運びとなった。これが今日まで続くAsian Workshop on Polymer Processing (AWPP) シリーズの原点であり、これまでにタイ、シンガポール、中国、台湾、タイ（2回目）、大韓民国、東京、マレーシア、ベトナム、中国（2回目）、京都、台湾（2回目）、シンガポール（2回目）、オーストラリア、ベトナム（2回目）でワークショップが開催され、本学会の国際的プレゼンスを向上させるとともに、会員の国際的人脈づくりに大いに寄与してきた。その一方で、スタートから約10年の期間を経る間に、プラスチック成形加工の生産現場はアジアの国々へと大きく軸足を移したこと、日本と相手国による二国間形式でのワークショップでは実行委員会の効率的な運用や講演募集等に限界が生じてきていた。このため10回目の開催となった2011年の青島大会（2回目の中国）の後、AWPPの対象地域をオセアニアまで拡大し、運営自体も各国で持ち回りとする新生AWPPがスタートした。これにより、本学会が立ち上げたアジア・オセアニア地域のプラスチック成形加工ネットワークが、当該地域のハブ組織として機能することとなっている。

10. ホームページ

学会創立以来、企画行事の案内や会員へのアナウンスは会誌の会告ページを通して行われてきた

が、発行コストに直結する会誌ページ数の制限にとらわれることなく詳細なアナウンスが行えること、案内の即時性と対象の広範さ、そして何より時代の要求から、学会としてホームページを持ち、これを通してアナウンスを行うべきとの議論が理事会でなされた。1998年12月に「ホームページWG」を設置して内容や運用方法について検討を開始し、1999年2月から正式にホームページを開設した。当初はプロバイダのURLのもとにあった本学会ホームページも、2003年4月には独自ドメイン（jspp.or.jp）を取得している。しばらくの間はアナウンスを掲載することが中心であったホームページも、2001年頃から年次大会・秋季大会の講演申込み・参加申込み等に使用されるようになり、参加者の利便性アップのみならず、事務局の負担軽減にもつながっている。さらに2010年には学会ホームページを完全リニューアルし、見栄えや使い勝手を大幅に向上させただけでなく、会員限定コンテンツとして、年次大会や秋季大会における予稿集原稿の閲覧・検索を可能とするシステムを運用している。2003年からの総アクセス数（トップページ）は60万を超えており、本学会のアクティビティを広く周知するためにホームページが果たしている役割は大きいと思われる。

活動の記録(2008年度(平成20年度)～2017年度(平成29年度))

創立20周年記念資料集以降の活動内容をまとめる。所属については講演時および就任時とした。

表1 年次大会および秋季大会

●年次大会

第19回 テーマ「20周年成形加工は大いなる飛躍へ」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2008年 6月3日～5日	タワーホール船堀	222件／ 940名	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりの進化と課題—新素材の創出、素材と加工の融合によるイノベーション— 液晶ディスプレイ技術開発の現状と将来 	田中千秋（東レ(株) 代表取締役副社長） 水嶋繁光（シャープ(株) 常務取締役）

第20回 テーマ「集まれ！成形加工の元気な仲間～成形加工は新たな時代へ～」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2009年 6月3日～4日	タワーホール船堀	280件／ 846名	<ul style="list-style-type: none"> 機能性高分子材料の新しい領域 新商品・新事業創生について—写真フィルムから高機能フィルムへの展開— 	西出宏之（早稲田大学理工学術院） 品川幸雄（富士フィルムファインケミカルズ(株)執行役員）

第21回 テーマ「Changes & Challenges 成形加工」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2010年 6月1日～2日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	254件／ 845名	<ul style="list-style-type: none"> 開発期間は半減できる！～品質工学の基本的な考え方と狙い～ 現代環境論の形成過程と展望～持続可能な社会作りビジョンへの課題～ 	長谷部光雄（元(株)リコー顧問） 吉田徳久（早稲田大学 大学院環境・エネルギー研究科）

第22回 テーマ「ズン！ズン！広がる成形加工のフィールド」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2011年 6月22日, 23日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	276件／ 842名	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光の利用技術とソーラーカーの開発 日本のプラスチック成形機の未来 	木村英樹（東海大学工学部） 依田穂積（日精樹脂工業(株) 代表取締役社長）

第23回 テーマ「『成形加工』の更なる領域拡大と未来技術の創造」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2012年 6月12日, 13日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	266件／ 945名	<ul style="list-style-type: none"> 大阪ガスケミカルグループの現状と課題 医療とプラスチック—成長戦略を支える日本発先進医療技術— 	領木康雄（大阪ガスケミカル(株)代表取締役社長） 堀井秀夫（旭化成クラレメディカル(株)取締役）

第24回 テーマ「『成形加工』の更なる領域拡大と未来技術の創造」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2013年 5月21日, 22日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	248件／ 854名	・パナソニックのモノづくりと新規技術の創出	野村 剛 (パナソニック(株) 常務役員 モノづくり本部長)

第25回 テーマ「3D (Dynamic, Dramatic, Drastic) な技術で革新的な成形加工へ！」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2014年 6月3日, 4日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	253件／ 841名	・アディティブ・マニュファクチャリング (3Dプリンター) の現状と今後の課題	中野 禪 ((独)産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門 上級主席研究員)

第26回 テーマ「裾野を広げる成形加工：基礎を固めて展開へ」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2015年 6月3日, 4日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	252件／ 847名	・日本経済の行方とプラスチック成形の今後	安永裕幸 (産業技術総合研究所 理事)

第27回 テーマ「構造・物性制御の要！究(きわ)め、極(きわ)める成形加工！」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2016年 6月14日, 15日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	252件／ 993名	・Driving Innovation Though Diversity	Dr. Piyada Charoensrisomboon (BASF)

第28回 テーマ「先進成形加工素材と技術のマリアージュ」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2017年 6月14日, 15日	タワーホール船堀 (江戸川区総合区民ホール)	248件／ 1004名	・いよいよ本格的に実用化が進むカーボンナノチューブの最新状況俯瞰	畠 賢治 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

●秋季大会

第16回 テーマ「技術が拓げる成形加工の世界 —北陸で未来を語ろう—」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2008年 10月31日, 11月1日	福井大学文京 キャンパス	227件／ 550名	・情報化社会に向けた企業改革 ・戦国大名・朝倉氏の興亡に学ぶ	川田達男 (セーレン(株) 代表取締役社長) 青木豊昭 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館特別顧問)

第17回 テーマ「明日に活かす成形加工イノベーション —長崎羅針盤—」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2009年 11月6日, 7日	長崎大学文教 キャンパス	204件／ 394名	・課題解決型企業としての役割 ・ふっ素樹脂の加工技術と用途展開 ・長崎を通して日本が学んだこと	庄野直之 (中興化成工業(株) 代表取締役社長) 大久保 篤 (中興化成工業 開発第二本部) ブライアン・パークガフニ (長崎総合科学大学)

第18回 テーマ 「オシャレな成形加工 —時代を読む風見鶏—」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特別講演	講演者
2010年 11月12日,13日	神戸大学工学部	258件／ 550名	・化石資源を利用しない環境・安全対応 低燃費タイヤの開発 ・魅力ある？神戸	高橋久雄（住友ゴム工業（株） 副社長） 額田 淳（（有）ジェイシーブ ラネット代表取締役）

第19回 テーマ 「美の国で成形加工の美らいを語ろう！」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特別講演	講演者
2011年 10月14日～15日	秋田大学工学資 源学部手形キャン パス	307件／ 505名	・異種材料接合・複合による機能発現 ・秋田の生んだ生物遺産『6号酵母』の可 能性を探る～「究」が生まれるまで～ ・セントラル自動車の東北進出の背景と 地元企業への期待	小林慎一郎（三菱マテリアル 電子化成（株） 代表取締役社 長） 佐藤祐輔（新政酒造（株） 専 務取締役） 葛原 徹（セントラル自動車 （株） 取締役社長）

第20回 テーマ 「現地・現物・現実三現主義の東海で成形加工！」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特別講演	講演者
2012年 11月30日,12月1日	ウインクあいち	284件／ 660名	・「東日本大震災を起こした地震と東海地 域への影響－大地動乱の時代をどう生 きるか－」 ・「ものづくりの技、心、自然の大切さ」 －名古屋城本丸御殿復元プロジェクト－	小山真人（静岡大学教育学部 教授・静岡大学防災総合セン ター副所長） 神野晴行（名古屋城総合事務 所管理課 主査）

第21回 テーマ 「アツ晴れ！な成形加工」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特別講演	講演者
2013年 11月7日,8日	倉敷市芸文館	278件／ 604名	・ノーベル化学賞を受賞して ・文化の力	鈴木 章（北海道大学名誉教 授） 大原謙一郎（大原美術館理事 長）

第22回 テーマ 「飛翔のトキー日本から世界に羽ばたく成形加工」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特別講演	講演者
2014年 11月14日,15日	朱鷺メッセ	294件／ 564名	・Bioplastic : Industrial Development in Korea ・食品包装にイノベーションをもたらす プラスチック材料	Seung Soon Im（漢陽大学（韓 国）） 山崎 彬（越後製菓（株）代表取 締役会長）

第23回 テーマ 「ゲンカイに挑む九都で成形加工」

開催年月日	会場	講演数／ 参加者数	特別講演	講演者
2015年 11月2日,3日	福岡大学11号 館,14号館,1 号館	291件／ 551名	・二分子膜とナノ薄膜 ・博多人形の成り立ちと伝統工芸品への 道のり ～創意・工夫の歴史～	國武豊善（（公社）北九州産業 学術推進機構 理事長） 小副川雄二（経済産業大臣指 定 伝統的工芸品博多人形 博多人形商工業協同組合 副 理事長）

第24回 テーマ「モノづくりと人づくり，成形加工の伊達な未来」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2016年 10月26日,27日	仙台国際センター	248件／ 565名	・東京エレクトロンにおける物づくりと人づくり	竹瀝裕樹（東京エレクトロン宮城(株) 顧問 (一社)みやぎ工業会 理事長)

第25回 テーマ「賑わう，ええもん。未来にける成形加工。」

開催年月日	会場	講演数／参加者数	特別講演	講演者
2017年 10月31日,11月1日	大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)	257件／ 720名	・混迷する現代社会，今こそ日本が誇る伝統文化。～時空を超える能楽の世界観，ものづくりへの期待もこめて～	能楽師 辰巳満次郎（重要無形文化財総合指定保持者）

表2 講演会

第104回「振動・騒音制御技術と高分子材料—快適な生活環境を演出するために—」

開催年月日	会場	題目	講師
2008年7月25日	タワーホール船堀 2階「桃源」	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子材料による振動制御の基礎理論と応用技術 ・静音化のための技術・材料とその応用 ・制振工学から見た自動車の振動・騒音低減の方策について ・エンジン部品の樹脂化による音振性能への影響および対応 ・家電機器の低騒音・低振動化技術 ・免震，制震による建物の地震動制御 	西 敏夫（東北大学） 飯田一嘉（ブリヂストンケービージー(株)） 岡村 宏（芝浦工業大学） 坂井雄紀（日産自動車(株)） 五味田寿光（日立アプライアンス(株)） 深堀美英（ロンドン大学）

第105回「ここまできたプラスチックリサイクル技術！—現状と今後の展望—」

開催年月日	会場	題目	講師
2008年10月10日	タワーホール船堀 2階「桃源」	<ul style="list-style-type: none"> ・総論プラスチックリサイクル技術の動向 ・～自動車部品用プラスチックのリサイクル技術と応用～—現状と将来展望— ・～容器リサイクルの現状と今後及び海外の状況～ ・～自己循環型マテリアルリサイクルの現状と課題～ ・～OA 機器におけるプラスチックマテリアルリサイクルの展開と今後について～ ・～廃タイヤリサイクルの取り組みについて～ 	行本正雄（中部大学） 岩野昌夫（ポリマー技術・ビジネス開発研究所） 浅川 薫（(財)日本容器包装リサイクル協会） 隅田憲武（シャープ(株)） 相馬 論（リコー(株)） 橋本隆次（ブリヂストン(株)）

第106回「スポーツ用具と成形加工 —スポーツを支えるものづくりの最前線—」

開催年月日	会場	題目	講師
2008年11月26日	大阪ガスドームシティガスビル 4階13会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ工学概説 ・コンポジットバットの成形と評価方法 ・シューズの成形加工について ・ゴルフクラブ用カーボンシャフトの成形加工 ・ゴルフボールの飛びの進化 ・快適性に優れたスポーツウェアの開発 	細川健治（中部大学） 御園和則（ミズノ(株)） 森 貞樹（アシックス(株)） 中村崇人（藤倉ゴム工業(株)） 嶋崎平人（ブリヂストンスポーツ(株)） 石丸園子（東洋紡績(株)）

第 107 回「バイオプラスチックの現状と今後の動向 —地球温暖化対策に欠かすことができないバイオプラスチックの最新動向—」

開催年月日	会場	題目	講師
2009 年 2 月 5 日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオプラスチックの最近の動向と市場 ・サトウキビ由来ポリエチレンについて ・ポリ乳酸の最近の技術動向と採用例 ・植物性シュリンクラベル：バイオマスラベルの採用について ・天然素材を使った自動車部品開発の現状と将来 ・電子機器用のバイオプラスチックの現状と将来展望 	猪股 勲 (日本バイオプラスチック協会) 佐藤慎一 (豊田通商(株)) 白井宏政 (ユニチカ(株)) 坂本朝紀 (アサヒ飲料(株)) 西村拓也 (トヨタ車体(株)) 位地正年 (日本電気(株))

第 108 回「—“伝熱”を極める東工大・佐藤研究室をのぞいて見よう—」

開催年月日	会場	題目	講師
2009 年 2 月 20 日	東京工業大学大岡山キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・成形加工における伝熱学 ・可視化・計測による成形加工プロセスの理解 ・新たな成形加工プロセスへの取り組み ・佐藤研究室が取り組んでいる研究の紹介 ・研究室見学および質疑応答 	佐藤 勲 (東京工業大学) 斉藤卓志 (東京工業大学) 斉藤卓志 (東京工業大学) 川口達也 (東京工業大学)

第 109 回「どうなる、どうなの、マイクロ・ナノ成形 —成形加工と材料の技術動向—」

開催年月日	会場	題目	講師
2009 年 3 月 26 日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナノインプリント技術および樹脂加工におけるサブマイクロ成形加工技術」の特許出願技術動向について ・ナノインプリントにおける離型の基礎と評価 ・ナノインプリント法によるマイクロ・ナノ構造の成形 ・MEMS の設計・研究・解析支援システム「MemsONE」の開発 ・ナノ多孔化-ポリマーアロイ法と超臨界法 ・ポリマー系ナノコンポジットにおける最近の技術動向 	大村博一, 菅野智子(特許庁) 谷口 淳 (東京理科大学) 平井義彦 (大阪府立大学) 小寺秀俊 (京都大学) 斎藤 拓 (東京農工大学) 岡本正巳 (豊田工業大学)

第 110 回「射出成形品表面の転写技術 —成形品の付加価値を高める最新技術の動向—」

開催年月日	会場	題目	講師
2009 年 4 月 21 日	東京理科大学森戸記念会館 (第 1 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子マイクロ・ナノ転写成形と内部構造発現 ・高転写成形による射出成形品の高機能化 ・マイクロ・ナノ構造体の溶融微細転写システム ・シクロオレフィンポリマーを用いた転写と機能発現の検討 ・より進化するウエルドレス成形 ・インプレスト成形 (金型内塗装の特徴と機能性付与) 	伊藤浩志 (山形大学) 加藤 毅 (ムネカタ(株)) 焼本数利 (日本製鋼所(株)) 林 昌彦 (日本ゼオン(株)) 山下部保秀 (三菱商事テクノス(株)) 米持建司 (大日本塗料(株))

第 111 回「製品軽量化がもたらす付加価値向上 —材料から成形技術まで—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 5 月 14 日	タワーホール船堀, 2 階「桃源」	<ul style="list-style-type: none"> ・軽量化のためのエンジニアリングプラスチック, 工法の開発 ・フッ素ゴムフォームを用いた新幹線部品の軽量化 ・成形加工による自動車部品の機能統合—製品軽量化と付加価値向上の両立— ・MIM における部品軽量化と機能最適化のための成形技術 ・発泡シートを用いたハイブリッド加工技術による自動車部品成形 	松島三典 (ポリプラスチック (株)) 本多 誠 (旭硝子(株)) 栃岡孝宏 (マツダ(株)) 田中茂雄 (太盛工業(株)) 廣田知生 (住友化学(株))

第 112 回「将来のエネルギーの技術を担う太陽電池・二次電池の開発の最前線」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 7 月 3 日	タワーホール船堀, 2 階「桃源」	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽電池の技術動向と高分子材料の展望 ・太陽電池の住宅用途への展開 ・有機薄膜太陽電池の開発とキーマテリアル ・自動車用高性能リチウムイオン電池の研究開発 ・次世代リチウム二次電池と高分子材料 ・リチウム二次電池開発の現状と環境分野への展開 ・ソフトパッケージ 	浅野直城 (シャープ(株)) 太田真人 (積水化学工業(株)) 早川 優 (東京大学兼務日産自動車(株)) 吉野 彰 (旭化成(株)) 木村忠雄 (パナソニック(株)) 奥下正隆 (大日本印刷(株))

第 113 回「射出成形現象の可視化実験解析 —成形現象を視る・測る・極める—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 9 月 11 日	東京大学駒場キャンパス総合研究実験棟 (An 棟) 3 階大会議室 301・302	<ul style="list-style-type: none"> ・可視化・計測技術総論 ・金型内成形現象 I ・金型内成形現象 II ・超高速射出成形現象 ・加熱シリンダ内成形現象 ・研究室見学および質疑応答 (質問用紙) 	横井秀俊 (東京大学生産技術研究所)

第 114 回「—“成形加工のためのレオロジー” 山形大・小山研究室をのぞいて見よう—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 10 月 16 日	山形大学米沢キャンパス VBL 3 F 秦ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・小山研究室の 35 年 ・レオロジー特性制御から成形加工性制御への応用 ・伸長流動下での成形加工 ・小山研究室の最近の研究動向 ・研究室見学 ・ポスターセッション及び交流会 	小山清人 (山形大学) 杉本昌隆 (山形大学) 小室綾平 (山形大学大学院理工学研究科) 菊地康司 (山形大学大学院理工学研究科)

第 115 回「灯りを変える次世代照明 LED の最前線 —光を操る最先端技術—」

開催年月日	会場	題目	講師
2010 年 2 月 2 日	タワーホール船堀, 2 階「福寿」	<ul style="list-style-type: none"> ・ LED 照明の市場動向 ・ LED 照明器具の現状と今後の展開／課題 ・ LED 用シリコン材料 ・ シルセスキオキサン骨格を有する透明樹脂の開発と LED 封止分野への応用 ・ LED 照明向け樹脂材料紹介 ・ LED 照明の最新技術と照明器具への展開 ・ 固体 NMR を用いた樹脂・無機材料の劣化評価 	前原孝章 ((株)j 野村総合研究所) 松野 将 (東芝ライテック(株)) 中田稔樹 (東レ・ダウコーニング(株)) 西田裕文 (ナガセケムテックス(株)) 南園英雄 (帝人化成(株)) 下出澄夫 (LED 照明推進協議会) 三輪優子 ((株)東レリサーチセンター)

第 116 回「プラスチック微細接合技術最新動向と今後の展望 —微細接合の現状と今後—」

開催年月日	会場	題目	講師
2010 年 3 月 2 日	工学院大学新宿キャンパス 高層棟 28 F 第 1・2 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表面活性化プロセス融合による低温接合技術の確立とマイクロデバイスへの応用 ・ トリアジンチオール接着技術による異種材料複合化の展開 ・ レーザ樹脂溶着の微細接合への適用 ・ ナノコンポジット技術を用いた光通用マイクロレンズ用樹脂開発 ・ MEMS の低応力実装・パッケージング技術 ・ 高分子材料のナノ接合 	水野 潤 (早稲田大学) 平原英俊 (岩手大学) 松本 聡 (浜松ホトニクス(株)) 福原智博 (オムロン(株)) 佐名川佳治 (パナソニック電工(株)) 田中敬二 (九州大学)

第 117 回「押出機による溶融混練」

開催年月日	会場	題目	講師
2010 年 4 月 23 日	東京工業大学百年記念館「フェライト会議室」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溶融混練の基礎理論と現状 ・ 二軸混練押出機による混練技術・装置の変遷と今後の動向 ・ 押出機のスクリュ混練制御とプロセスへの最適化 ・ 二軸混練機による混練技術とスクリュエレメント選択のポイント ・ 企業における混練プロセスの設計技術 	梶原稔尚 (九州大学) 田中達也 (同志社大学) 富山秀樹 ((株)日本製鋼所) 小林昭美 (東芝機械(株)) 菅谷武久 (積水化学工業(株))

第 118 回「医療を支える機能性高分子材料の最前線 —材料開発, 成形加工および応用技術—」

開催年月日	会場	題目	講師
2010 年 6 月 23 日	タワーホール船堀, 2 階「桃源」	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマテリアルの設計と評価 ・ 再生医療とプラスチック成形加工 ・ 医用膜の設計と血液接触時の性能 ・ 血液浄化用医療機器の設計と製造 ・ 生体内分解吸収性高分子材料の臨床応用 	山岡哲二 (国立循環器病センター) 梶原稔尚 (九州大学) 大野 仁 (東洋紡(株)) 堀 禎憲 (日機装(株)) 玄 丞然 (京都大学)

第119回「魅せるプラスチック射出成形 —まだまだこれから、型と成形の Japanese Technology—」(型技術協会とプラスチック成形加工学会のコラボ企画)

開催年月日	会場	題目	講師
2010年7月29日	タワーホール船堀 「瑞雲の間」	<ul style="list-style-type: none"> 成形加工のシステム化 型と成形の技術マネジメント 工夫次第の成形加工 金型・成形【もう一つの切り口】 自動車の軽量化技術動向と、プラスチック材料への期待と課題 成形メーカー様へ金型企業からのラブレター 	東 啓二 (パナソニック電工(株)) 田中司郎 ((株)長津製作所) 小山 弘 (トヨタ紡織(株)) 竹内 宏 ((株)新興セルビック) 阿部知和 (ホンダエンジニアリング(株)) 榎山剛士(榎山金型工業(株))

第120回「バイオプラスチックの現状と今後の動向 —実用化が進んできているバイオプラスチックの最新動向—」

開催年月日	会場	題目	講師
2010年10月19日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> バイオプラスチックの現状と今後の課題 耐熱性ポリ乳酸の開発と実用化に向けた今後の課題 植物由来エンジニアリングプラスチックポリアミド11およびポリアミド11系エラストマーの用途展開 天然系繊維のコンポジット成形 植物原料プラスチックの電子機器分野への導入について 家電分野におけるバイオプラスチック適用の課題 	猪股 勲 (日本バイオプラスチック協会) 三井淳一 (ユニチカ(株)) 宮保 淳 (アルケマ(株)) 長岡 猛 (神鋼テクノ 兼務 京都工芸繊維大学) 藤平裕子 (ソニー(株)) 馬場文明 (三菱電機(株))

第121回「押出機による溶融混練Ⅱ」

開催年月日	会場	題目	講師
2011年1月17日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> 溶融混練の基礎理論と現状 押出機のスクリュ混練制御とプロセスへの最適化 企業における混練プロセスの設計技術 二軸混練押出機による混練技術・装置の変遷と今後の動向 	梶原稔尚 (九州大学) 富山秀樹 ((株)日本製鋼所) 菅谷武久(積水化学工業(株)) 田中達也 (同志社大学)

第122回「プリンタブルエレクトロニクスデバイスにおける成形加工の現状と今後の動向 —印刷を用いたデバイス作製によるモノづくりの大変革と将来展望—」

開催年月日	会場	題目	講師
2011年1月17日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> プリンタブルエレクトロニクス概論 フレキシブルディスプレイの展望とプリンタブルエレクトロニクスの適用 インクジェットによる導電膜形成のための材料～金属ナノ粒子インク～ プリンタブルエレクトロニクスにおけるフィルム基材の現状と今後の展開 フレキシブルデバイス用ポリエステルフィルムの現状と課題 印刷技術を用いたプリンタブルエレクトロニクスへの応用 	吉田兼紀 (産業技術総合研究所) 寺内健一 ((有)ICTECH) 大沢正人 ((株)アルバック) 吉田重信 (三菱樹脂(株)) 吉田哲男 (帝人デュボンフィルム(株)) 渡辺二郎 (凸版印刷(株))

第 123 回「ポリマーアロイ・ブレンド技術の最新動向と今後の展望 —高次構造／物性制御とその評価解析技術—」

開催年月日	会場	題目	講師
2011 年 4 月 25 日	タワーホール船堀 「瑞雲の間」	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリマーアロイの基礎と最新動向 ・ポリマーアロイの混練・分散技術：二軸スクリュ押出機を中心に ・ポリマーアロイ・ブレンドのレオロジーおよび力学的性質 ・高せん断成形加工法による新機能ポリマーアロイの創製 ・高分子“ナノアロイ” ・ポリマーアロイのナノ構造の観察と分析・解析 	井上 隆 (山形大学) 酒井忠基 (静岡大学) 西谷要介 (工学院大学) 清水 博 (産業技術総合研究所) 小林定之 (東レ(株)) 加藤 淳 ((株)日産アーク)

第 124 回「フィラーコンポジットにおける配向制御と機能発現」

開催年月日	会場	題目	講師
2011 年 6 月 2 日	東工大蔵前会館ロ イアルブルーホー ル	<ul style="list-style-type: none"> ・フィラー充填コンポジットーフィラー分散と高機能化ー ・ポリプロピレン複合材料におけるタルクの役割 ・ガラス繊維強化樹脂成形品非平板部における繊維配向と品質 ・天然繊維の改質によるグリーンコンポジットの高靱化・高強度化 ・フィラーの分散・配向制御と X 線 CT による 3 次元観察 	小長谷重次 (名古屋大学) 平野幸喜 ((株)プライムポリマー) 古橋 洋 ((株)デンソー) 合田公一 (山口大学) 高橋雅興(京都工芸繊維大学)

第 125 回「二次電池の最新動向と今後の展望」

開催年月日	会場	題目	講師
2011 年 7 月 27 日	京都工芸繊維大学 総合研究棟 4F 「多目的室」	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリースーパークラスターへの展開～西日本における蓄電池産業の強みと今後の展望～ ・リチウムイオン電池の現状と今後の動向 ・環境車両用高性能リチウムイオン電池の研究開発 ・リチウムイオン電池の開発とセパレータの最新動向 ・リチウム二次電池のラミネート外装材 ・有機ラジカル電池の開発 	坂田枝実子 ((株)日本政策投資銀行) 雨堤 徹 (Amaz 技術コンサルティング) 堀江英明 (日産自動車(株)／東京大学) 中島孝之 (三菱化学(株)) 奥下正隆 (大日本印刷(株)) 中野嘉一郎 (日本電気(株))

第 126 回「成形加工を武器に進化し続ける九大・梶原研究室をのぞいて見よう」

開催年月日	会場	題目	講師
2011 年 11 月 18 日	九州大学伊都キャンパスウェスト 4 号館 732 室	<ul style="list-style-type: none"> ・梶原研究室の研究概要 ・二軸スクリュ押出機における特殊混練スクリュと熔融混練メカニズム ・石英ガラスのナノ・マイクロ微細構造形成と光学的・電気的応用 ・ポリマースキャホールドを用いた細胞組織構築とバイオ人工臓器への応用 研究室見学	梶原稔尚 (九州大学) 名嘉山祥也 (九州大学) 藤野 茂 (九州大学) 水本 博 (九州大学)

第 127 回「医療と高分子材料加工技術の今後の展望 再生医療の基材と成形加工の展開性」

開催年月日	会場	題目	講師
2012 年 2 月 3 日	工学院大学 新宿 キャンパス 28F 第 1, 2 会議室	<ul style="list-style-type: none"> 細胞活性バイオマテリアル表面の構築－合成材料と脱細胞組織－ 弾性マイクロパターンニングゲルを用いた細胞機能操作 高分子加工技術を用いた DNA チップの開発 生体吸収性高分子を用いた医療機器の開発 2次元・3次元高分子材料による細胞機能制御と医療用デバイスの創製 再生医療用多孔質材料の作製及び複合化技術 	山岡哲二 (国立循環器病センター) 木戸秋 悟 (九州大学) 生田健次郎 (三菱レイヨン(株)) 松田晶二郎 (ゲンゼ(株)) 田中 賢 (山形大学) 陳 国平 (物質材料研究機構)

第 128 回「バイオプラスチック定点観測 —バイオプラスチックの最新動向と製品への適用事例—」

開催年月日	会場	題目	講師
2012 年 2 月 13 日	タワーホール船堀 2F 瑞雲	<ul style="list-style-type: none"> バイオプラスチックをめぐる内外の動向 高耐熱ポリ乳酸の開発 難燃ポリ乳酸樹脂の開発と製品適用 バイオポリカーボネートの開発 木質バイオベースプラスチックの事務機器への展開 ハイブリッドセダンにおけるエコプラスチックへの取り組み 	猪股 勲 (日本バイオプラスチック協会) 遠藤浩平 (帝人(株)) 串田賢司 (東レ(株)) 山中克浩 (帝人化成(株)) 大越雅之 (富士ゼロックス(株)) 加藤 亨 (トヨタ自動車(株))

第 129 回「プラスチック光学材料の基礎から機能設計まで」

開催年月日	会場	題目	講師
2012 年 4 月 19 日	東京工業大学蔵前 会館ロイヤルブ ルーホール	<ul style="list-style-type: none"> 高速プラスチック光ファイバーと Face-to-Face コミュニケーション 環状オレフィン樹脂の光学的性質とその用途 ポリカーボネートは何故光ディスク材料として採用されたのか 光学素子向け射出成形 CAE の基礎と事例について 複屈折分布の高速測定技術とその応用例 低複屈折樹脂を使用した光学部品開発 	小池康博 (慶應義塾大学) 國本栄起 (ポリプラスチック(株)) 梅村俊和 (菱江化学(株)) 山田高光 (東レエンジニアリング(株)) 井上喜彦 ((株)フォトニックラティス) 古田勝己 (コニカミノルタオプト(株))

第 130 回「二次電池の最新動向と今後の展望」

開催年月日	会場	題目	講師
2012 年 5 月 10 日	きゅりあん	<ul style="list-style-type: none"> 次世代蓄電池の現状と展望 取引構造からみるリチウムイオン電池産業の分析 リチウムイオン電池の現状と今後の動向 ～原材料から用途まで～ リチウムイオン電池の開発とセパレータの最新動向 PVDF (ポリフッ化ビニリデン) 樹脂の特長と二次電池への応用展開 蓄電デバイスの評価技術 	安部武志 (京都大学) 小松崎五郎 ((株)帝国データバンク) 雨堤 徹 (AMAZ 技術コンサルティング合同会社) 中島孝之 (三菱化学(株)) 宮保 淳 (アルケマ(株)) 木下 肇 ((株)KRI)

第 131 回「成形品の故障解析&寿命予測 —樹脂製品の健康診断, その見方・活用法—」

開催年月日	会場	題目	講師
2012 年 7 月 18 日	東京工業大学蔵前会館 ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製品の割れトラブル原因と対策 ・高分子材料の故障解析&寿命予測に役立つ分析・解析手法の紹介 ・電気製品/部品故障の可視化技術 ・赤外線カメラおよび超音波による非破壊解析技術 ・電気・電子機器におけるプラスチック成形品の故障, 欠陥, 防止法の事例 	本間精一(本間技術士事務所) 加藤 淳 ((株)日産アーク) 小林吉一 (楠本化成(株)) 渋谷 清 (JFEテクノリサーチ(株)) 馬場文明 (三菱電機(株))

第 132 回「電子機器の放熱とプラスチック」

開催年月日	会場	題目	講師
2012 年 10 月 16 日	きゅりあん大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器の熱設計: 基礎と実際 ・電気絶縁系熱伝導性材料の最適設計とフィラー選定 ・熱伝導性材料 (樹脂自体の高熱伝導化技術を中心に) ・車載電子製品の小型・高放熱技術とそれを支える樹脂材料 ・熱伝導性プラスチック製品の開発と CAE を用いた熱流体解析について ・熱伝導性樹脂の開発とその用途展開 	石塚 勝 (富山県立大学) 小堺規行 (住友大阪セメント(株)) 松本一昭 ((株)カネカ) 神谷有弘 ((株)デンソー) 吉村友男 (スターライト工業(株)) 慶徳簡夫 (三菱エンジニアリングプラスチック(株))

第 133 回「フィラーコンポジットにおける分散配向制御と機能発現」

開催年月日	会場	題目	講師
2013 年 1 月 22 日	名城大学名駅サテライト多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・混練押し機の変遷とフィラー・繊維の分散技術 ・フィラー充填コンポジット-フィラー分散と高機能化- ・ガラス繊維強化樹脂成形品非平板部における繊維配向と品質 ・フィラーコンポジットにおける CAE 技術 ・フィラーの分散・配向制御と X 線 CT による 3 次元観察 	田中達也 (同志社大学) 小長谷重次 (名古屋大学) 古橋 洋 ((株)デンソー) 小沢 拓 ((株)JSOL) 高橋雅興(京都工芸繊維大学)

第 134 回「機能性フィルムの最新動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2013 年 3 月 8 日	工学院大学(新宿)28 階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・LCD ディスプレイ用フィルム ・透明導電性フィルムの開発動向 ・フレキシブル・プリンテッド有機エレクトロニクスの研究動向 ・有機 EL ディスプレイバリアフィルム ・大気圧プラズマの基礎と表面処理技術への応用 ・太陽電池用封止シート 	荒川公平 (日本ゼオン(株)) 小長谷重次 (名古屋大学) 時任静士 (山形大学) 藤縄 淳 (富士フィルム) 小駒益弘 (上智大学) 善光洋文 (三井化学東セロ(株))

第 135 回「高分子材料のトライボロジー」

開催年月日	会場	題目	講師
2013 年 6 月 14 日	東工大蔵前会館ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子材料のトライボロジー概論 ・エンブラ系高分子トライボマテリアル ・ナノカーボン添加樹脂系複合材料のトライボロジー特性 ・金属との複合化による樹脂軸受の機能向上 ・水素雰囲気におけるシール用樹脂材料のトライボロジー 	広中清一郎 (首都大学東京) 永井雅之 (三菱エンジニアリングプラスチック(株)) 榎本和城 (名城大学) 石井卓哉 (NTN(株)) 澤江義則 (九州大学大学院)

第 136 回「防塵防水シールの基礎からトレンド・最新技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 8 月 6 日	東工大蔵前会館ロ イアルブルーホー ル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防水，防塵性能評価を含む信頼性評価技術全般と最近の事例紹介 ・ 高分子材料を使用した静的・動的シールの基本的な考え方と製品事例紹介 ・ 金属と樹脂を型内で接合する成形技術 ・ 熱可塑性樹脂二材とシリコンの三材成形法 ・ 金属と樹脂の射出成型接合での，防塵・防水・気密 ・ 異種材料の直接接着技術－接着機構と応用例 	中村隆治 (OKI エンジニアリング(株)) 水田裕賢 (NOK(株)) 小林伊智郎(トーノ精密(株)) 三宅和彦 ((株)セントラルファインツール) 成富正徳 (大成プラス(株)) 六田充輝 (ダイセル・エボニック(株))

第 137 回「樹脂系材料による自動車軽量化の最新動向」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 9 月 20 日	工学院大学新宿 キャンパス 3 階アーバンテッ クホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車における軽量化技術の現状と展望 ・ 自動車用プラスチック材料の開発状況と今後の展開 ・ 炭素繊維複合材料の自動車構造部材への適用技術とその最新動向 ・ 自動車樹脂グレージングの開発とその課題 ・ 自動車部品の軽量化に向けた多機能複合成形システム ・ 自動車における植物由来および天然繊維強化樹脂の現状および成形加工における課題 	影山祐史(トヨタ自動車(株)) 藤田祐二 (三菱化学(株)) 鶴沢 潔 (金沢工業大学) 今泉洋行 (三菱エンジニアリングプラスチックス(株)) 岡本昭男(宇部興産機械(株)) 長岡 猛 (名古屋大学 NCC)

第 138 回「バイオプラスチック関連技術の現状と今後の展望 —新素材開発と応用の最新動向—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2013 年 11 月 18 日	工学院大学新宿 キャンパス高層棟 28 F 第 1・第 2 会 議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイオプラスチック技術の現状・今後の展望と製品認証制度 ・ ポリ乳酸の高性能化技術および新しいバイオマスポリマー ・ ヒマシ油由来高機能ポリアミド樹脂材料の特徴と用途展開 ・ 植物イソプレノイド由来高機能バイオポリマー ・ 電子機器用バイオプラスチックの現状と将来展望 	猪股 勲 (日本バイオプラスチック協会) 川田憲一 (ユニチカ(株)) 下西祥幸 (アルケマ(株)) 中澤慶久 (日立造船(株)／大阪大学) 位地正年 (日本電気(株))

第 139 回「多様化するバリアフィルム」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2014 年 1 月 14 日	タワーホール船堀 4 F 研修室 (江戸 川区総合区民ホー ル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑化するバリアフィルムとその透過挙動 ・ (仮題)透明バリアフィルム ・ (仮題)有機 EL 用バリアフィルム ・ 無機二元蒸着バリアフィルム ・ ハイバリア PET ボトルの新規用途開発 ・ (仮題)有機／無機ハイバリアフィルムの特性について 	平田雄一 (信州大学) 渡辺二郎 (凸版印刷(株)) 古川忠宏 (山形大学) 小林正典 (東洋紡(株)) 鮫島拓也 (三菱樹脂(株)) 藤縄 淳(富士フィルム(株))

第 140 回「成形トラブル回避の第一歩，金型メンテナンスに注目」

開催年月日	会場	題目	講師
2014 年 2 月 28 日	タワーホール船堀 2 階桃源	<ul style="list-style-type: none"> 射出成形金型メンテナンスのノウハウ概論 表面性状パラメータと離型 表面処理および表面加工の離型性評価について 金型による成形トラブルを解決するための表面処理 金型材料とメンテナンスについて ガス抜き常識は非常識？ 	青葉 堯(青葉技術士事務所) 内館道正(岩手大学) 政 誠一((株)北熱) 大石隆夫((株)不二製作所) 遠山文夫(日立金属(株)) 斎藤輝彦((株)斎藤金型製作所)

第 141 回「成形品の劣化現象と寿命予測 —樹脂製品の環境変化とその見方—」

開催年月日	会場	題目	講師
2014 年 5 月 16 日	東工大蔵前会館 ロイヤルブルー ホール	<ul style="list-style-type: none"> パイプやガス機器の樹脂部品の耐久性評価 高分子材料の長寿命化のための添加剤の役割 全国各地域におけるポリエチレンリファレンス試験片を用いた屋外暴露試験 微弱発光法を用いた高感度酸化検出による酸化安定性評価の短時間化 家電製品におけるプラスチック成形品の耐久性 	西村寛之(京都工芸繊維大学) 根岸由典((株)ADEKA) 金野克美((地独)北海道立総合研究機構) 山田理恵(東北電子産業(株)) 馬場文明(三菱電機(株))

第 142 回「アロイ・ブレンド・複合化におけるナノフィラーの分散・制御技術」

開催年月日	会場	題目	講師
2014 年 8 月 28 日	工学院大学新宿 キャンパス 3 階アーバンテック ホール	<ul style="list-style-type: none"> 高分子中の機能性フィラーの分散制御 高分子多相系におけるカーボンナノチューブの局在化 熱伝導性高分子複合材料の開発 金属酸化物ナノ粒子/熱可塑性ポリマー複合材料の熔融混練法による調製と課題 熔融混練技術を駆使した材料の機能性アップの可能性 	高橋雅興(京都工芸繊維大学) 山口政之(北陸先端科学技術大学院大学) 永田謙二(名古屋工業大学大学院) 藤本康治((株)KRI) 辰巳昌典((株)プラスチック工学研究所)

第 143 回「山形大学工学部を見に行こう！ “有機エレクトロニクス，成形加工編”」

開催年月日	会場	題目	講師
2014 年 9 月 11 日, 12 日	山形大学工学部 (米沢キャンパス) 百周年記念会館	<ul style="list-style-type: none"> 有機 EL 照明の研究開発から産業化まで 有機エレクトロニクスイノベーションセンターでの産学官金連携によるリチウムイオン電池材料開発研究について 高分子フィルム上に形成する軽量・大面積有機集積回路 山形大学工学部の歴史と今後への期待 有機エレクトロニクス研究センター (ROEL) (10 号館) 見学 機能高分子分野の紹介，高分子レオロジーと成形加工 バイオマスフィラーの新規非晶化技術とポリマーコンポジットへの展開 3D プリンタによる分子，科学模型の作成 見学 (杉本研究室) 見学 (西岡・香田・宮田研究室) 見学 (古川・川上研究室) 見学 (有機エレクトロニクスイノベーションセンター) 	城戸淳二(山形大学大学院理工学研究科) 吉武秀哉(山形大学大学院理工学研究科) 福田憲二郎(山形大学大学院理工学研究科) 小山清人(山形大学) 見学引率：センター担当者 杉本昌隆(山形大学大学院理工学研究科) 宮田 剣(山形大学大学院理工学研究科) 川上 勝(山形大学大学院理工学研究科) 見学引率：研究室学生 見学引率：研究室学生 見学引率：研究室学生 見学引率：センター担当者”

第 144 回「基礎から学ぶレオロジー「押出成形とレオロジー」」

開催年月日	会場	題目	講師
2014 年 12 月 10 日	ヒューリック浅草橋ビル 3F room 3	<ul style="list-style-type: none"> ・レオロジー入門 ・伸長レオロジー入門 ・New measurement technology (made in Germany) - knowledge gained by laboratory facilities for production ・分子配向制御と伸長レオロジー ・フィルム成形と伸長レオロジー 	増渕雄一 (京都大学) 増渕雄一 (京都大学) Joachim Sunder (Gottfert) 信川省吾 (北陸先端科学技術大学院大学) 大槻安彦 ((株)プライムポリマー)

第 145 回「Additive Manufacturing (AM, 付加製造) -3D プリンタの技術革新と応用事例-」

開催年月日	会場	題目	講師
2015 年 1 月 20 日	工学院大学新宿キャンパス 3 階アーバンテックホール	<ul style="list-style-type: none"> ・付加製造技術の概要 ・付加製造技術を用いた金型製造法 ・付加製造技術で“個客”創造 ・アディティブ・マニュファクチャリングを支えるソフトウェアプラットフォーム ・AM (3D プリンタ) の最新動向 	新野俊樹 (東京大学) 植原弘之 (九州工業大学) 春日寿利 (スリーディー・システムズ・ジャパン) 小林 毅 (マテリアライズジャパン) 早野誠治 (アスペクト)

第 146 回「光学材料の最新技術動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2015 年 3 月 6 日	東京都立産業技術研究センター本部 東京イノベーションハブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリマーの複屈折消去・制御と高画質ディスプレイへの応用 ・ナノインプリントによるマイクロレンズアレイ、ウェハレベルレンズの微細成形技術 ・自動車用ポリカーボネート樹脂・樹脂グレージングの開発動向 ・建築用ガラスに関する技術動向と求められるもの ・最近のタッチパネル&材料の技術動向 ・東京都立産業技術研究センター光学関連部署の紹介・見学 	多加谷明広 (慶應義塾大学) 小久保光典 (東芝機械(株)) 帆高寿昌 (帝人(株)) 平松徹也 (旭硝子(株)) 板倉義雄 ((株)タッチパネル研究所)

第 147 回「材料設計につながるプラスチック成形加工の分析技術」

開催年月日	会場	題目	講師
2015 年 6 月 23 日	東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・化学修飾セルロース水溶液の水和数とレオロジー：粘弾性の基礎を踏まえて ・NMR による高分子の解析 ・プラスチック成形技術と X 線 CT ・各種散乱法を用いた高分子材料の階層構造の解析 ・赤外分光・ラマン分光・nano-IR を用いた階層的イメージング技術と事例 ・電子顕微鏡によるプラスチック内部局所構造解析 	四方俊幸 (東京農工大学) 河原成元 ((公財)石川県産業創出支援機構) 西川幸宏(京都工芸繊維大学) 竹中幹人 (京都大学) 加藤 淳 ((株)日産アーク) 堀内 伸 (産業技術総合研究所)

第 148 回「自動車軽量化技術の最新動向と開発事例」

開催年月日	会場	題目	講師
2015 年 7 月 17 日	タワーホール船堀 (2F 桃源の間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車を取り巻く環境と軽量化技術開発について ・CF,CFRTP の開発動向と日本での取り組み ・CFRP ボディを世界で初めて実用化した量販 EV ・ドイツにおける軽量化技術開発現状から量産化まで ・樹脂外板の樹脂化に関する取り組み ・軽量化と高機能化を支える最新射出成形技術 	河村 信也 (トヨタ自動車(株)) 西原正浩 (長岡技術科学大学) 山根 健 (山根健オフィス (BMW(株)技術顧問)) 上村泰二郎 (GSI Europe 社) 鈴木繁生 (日立化成(株)) 戸田直樹 (三菱重工プラスチックテクノロジー(株))

第 149 回「将来の大量生産を狙った CFRP 軽量化技術」

開催年月日	会場	題目	講師
2015 年 8 月 31 日	タワーホール船堀 2 階瑞雲	<ul style="list-style-type: none"> ・熱可塑性複合材料による自動車の軽量化 ・プレス成形による自動車 CFRP 部材量産技術/PCM と CF-SMC ・連続繊維熱可塑性材料と欧州自動車量産事例 ・熱可塑性 CFRP と金属のレーザー溶着技術 ・CFRP の大型・高生産化の動向とその成形技術 ・自動車構造への CFRP 適用の現状・展望と名大 NCC の果たす役割 	横山盛之 (ダイセルポリマー(株)) 秋山浩一 (三菱レイヨン(株)) 馬場俊一 (サンワトレーディング(株)) 三瓶和久 (前田工業(株)) 鶴澤 潔 (金沢工業大学革新複合材料研究開発センター) 石川隆司 (名古屋大学ナショナルコンポジットセンター)

第 150 回「身近な現場で考える地球環境問題とプラスチック製造」

開催年月日	会場	題目	講師
2015 年 9 月 28 日	東京都立産業技術 研究センター本部 東京イノベーション ハブ	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都産業技術研究センターの概要 ・射出成形機の変遷と環境負荷低減への取り組み ・炭素繊維のリサイクルとその背景、問題点、そして、ビジネスの可能性 ・家電混合プラスチック自己循環リサイクル技術 ・環境負荷低減とコストダウンを同時に実現するマテリアルフローコスト会計 (MFCA) 	稲葉 敦 (工学院大学) 松崎孝治 ((株)日本製鋼所) 藤井 透 (同志社大学) 井関康人 (三菱電機(株)) 安城泰雄 (MFCA 研究所)

第 151 回「バイオマスフィラーを用いた環境調和型材料の最新動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2016 年 1 月 26 日	兵庫県民会館 303 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・木質からのリグノセルロースナノファイバー製造および樹脂複合化技術 ・セルロースナノファイバー (CNF) の実用化開発 ・パルプを用いたナノセルロースの開発 ・ウッドプラスチックの可能性と展望 ・間伐材をフィラーとした射出材料の開発と自動車部品への適用 ・強化用セルロース系天然繊維の力学的役割と強度信頼性 	遠藤貴士 (産総研中国センター) 河崎雅行 (日本製紙(株)) 田中裕之 (中越パルプ工業(株)) 伊藤弘和 (トクラス(株)) 西村拓也 (トヨタ車体(株)) 合田公一 (山口大学)

第 152 回「建材用高分子材料の開発動向と最新技術」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 2 月 12 日	東京都立産業技術 研究センター本部 東京イノベーション ハブ	<ul style="list-style-type: none"> ・非住宅，住宅，鉄道関係のメラミン樹脂不燃内 装材料について ・異型押出建材の基礎技術から欧米の WPC 建材 成形技術について ・耐火性能をもつ建物排水・通気用塩ビ管 ・樹脂窓について（仮） ・土木構造物の CFRP による補強 ・東京都立産業技術研究センター音響施設（結合 残響室）の見学 	中田高弘（住友ベークライト （株）） 大峠慎二（トクラス（株）） 岡部優志（積水化学工業（株）） 石橋 亮（YKKAP（株）） 松村政秀（京都大学）

第 153 回「射出成形現象の可視化と体系化 —東京大学生産技術研究所横井秀俊教授のスペシャルセミナー—

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 6 月 13 日	タワーホール船堀 2F 桃源	<ul style="list-style-type: none"> ・可視化・計測技術総論 ・金型内成形現象 I ・金型内成形現象 ・加熱シリンダー内成形現象 	横井秀俊（東京大学生産技術 研究所）

第 154 回「混合・混練評価に CAE 技術はどこまで使えるのか？」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 8 月 4 日	タワーホール船堀 （江戸川区総合区 民ホール）桃源（2 階）	<ul style="list-style-type: none"> ・溶融混練の基礎理論と CAE による混練評価 ・実業務への押出 CAE の活用とその限界につい て ・押出機内の樹脂流動解析を利用した混合・混練 評価 ・二軸スクリュ押出機の 2.5 D FEM 熱流動シ ミュレーションと実験検証 ・ゴム混練機とその内部の混練解析 	梶原稔尚（九州大学） 富山秀樹（（株）日本製鋼所） 竹田 宏（（株）アールフロー） 谷藤眞一郎（（株）HASL） 福谷和久（（株）神戸製鋼所）

第 155 回「超精密成形加工の最新技術動向～CAE／材料／金型／成形～」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 11 月 2 日	タワーホール船堀 （江戸川区総合区 民ホール） 桃源（2 階）	<ul style="list-style-type: none"> ・超精密成形加工の現状と今後の展開 ・精密成形に適したエンプラ系材料の最新技術動 向 ・成形現象および成形品の評価と CAE の精度検 証 ・究極のものづくりは「ひとつづくり環境づくり」 ・超精密成形における射出成形機とプロセス技術 ・MuCell[®]プロセスによる寸法安定性の改善 	伊藤浩志（山形大学） 小久保章博（三菱エンジニア リングプラスチック（株）） 瀬戸雅宏（金沢工業大学） 山添重幸（（株）かわい） 澤田靖彦（（株）日本製鋼所） 吉里成弘（トレクセルジャパ ン（株））

第 156 回「レオロジーと成形加工」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2016 年 12 月 6 日	工学院大学新宿 キャンパス 3F アーバンテッ クホール	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子レオロジーの基礎 ・加工性を予測するためのレオロジー測定 ・構造レオロジーと成形加工性 ・フィルムと伸長レオロジー ・CAE 	増渕雄一（名古屋大学） 山口政之（北陸先端科学技術 大学院大学） 高橋雅興（京都工芸繊維大学） 大槻安彦（（株）プライムポリ マー） 谷藤眞一郎（（株）HASL）

第 157 回「国内および欧州における CFRP 軽量化技術の最新動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2017 年 1 月 12 日	東京都立産業技術研究センター本部「中 2 階ホール」	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都立産業技術研究センターの紹介 ・CFRP RTM の基礎および 3D Printer ・TM シミュレーションの現状と将来展望 ・複合材を用いた既存の概念とは異なる自動車の実績 ・欧州における最新の CFRP 生産技術動向 ・CFRP のハイサイクル成形技術の開発 ・CFRP プレス成形及び CFRP-金属ハイブリッド成形技術について 	松崎亮介 (東京理科大) 青野芳大 (日本イーエスアイ(株)) 齋藤拓也 (SGL カーボンジャパン(株)) 外山 寿 (CANNON S.p.A.) 福井武久 ((株)栗本鐵工所) 馬場泰一 (矢島工業(株))

第 158 回「ポリマーブレンド・コンポジットの分析におけるポイントと事例」

開催年月日	会場	題目	講師
2017 年 4 月 25 日	東工大蔵前会館ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレンド・コンポジットのレオロジー的解析 ・高分子材料を電子顕微鏡で眺める-ポリマー ABC の顔と材料特性- ・ポリマーブレンド・ナノコンポジットの固体 NMR スペクトル ・ポリマーブレンド・コンポジットの界面分析 ・各種分析法を駆使した事例紹介「高耐衝撃性ポリマーアロイの開発アプローチ」 	山口政之 (北陸先端科学技術大学院大学) 佐野博成 (京都大学) 浅野敦志 (防衛大学校) 吉田博久 (首都大学東京) 加藤 淳 ((株)日産アーク)

第 159 回「自動車内外装品のプラスチック加飾の最新動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2017 年 9 月 28 日	スクエア荏原 大会議室 (3 階)	<ul style="list-style-type: none"> ・加飾技術の現状と今後の展開～自動車内外装部品を中心に～ ・フィルム加飾の最新動向 ・自動車内装デザインに対応出来る加飾技術 ・加飾成形市場における高透明 PP 加飾シートの展開 ・射出成形と同時加飾プロセス 	榊井捷平 (MTO 技術研究所) 名木義幸 (大日本印刷(株)) 加藤 巧 (南条装備工業(株)) 多田圭志 (出光ユニテック(株)) 岡本昭男 (U&M プラスチックソリューションズ(株))

第 160 回「光学材料とその技術動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2017 年 10 月 24 日	スクエア荏原 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・環状オレフィン系樹脂の特徴と用途展開 ・フレキシブルディスプレイを指向したフィルムの力学解析と光学フィルムの創成プロセス開発 ・透明ポリマー材料の光散乱と複屈折 ・無機ナノフィラーとの複合化による透明アクリル樹脂の屈折率制御 ・熱硬化性の高屈折率樹脂 LumipluS を用いた光学素子 	木津巧一 (三井化学) 穴戸 厚 (東京工業大学) 斎藤 拓 (東京農工大学) 棚橋 満 (名古屋大学) 並木康佑 (三菱ガス化学)

第 161 回「押出・混練の基礎と最新技術動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2017 年 12 月 13 日	大阪産業技術研究所 森ノ宮センター	<ul style="list-style-type: none"> ・二軸押出機におけるスクリュウ構成の最適化と混練条件の設定とスケールアップ ・最近の押出機の開発動向と可視化解析押出技術 ・押出混練時のトラブル現象や技術課題への対処法 ・二軸スクリュウ押出機を用いた混練・混合技術の進展：ポリマーアロイのモルフォロジー形成を中心に ・ポリオレフィンナノコンポジットの開発 	大田佳生（旭化成(株)） 辰巳昌典（(株)プラスチック工学研究所） 百地 弘（東芝機械(株)） 酒井忠基（静岡大学） 谷池俊明（北陸先端科学技術大学院大学）

第 162 回「工業製品の劣化解明と長寿命化に関する技術動向」

開催年月日	会場	題目	講師
2018 年 1 月 24 日	スクエア荏原 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土を考慮した社会インフラ設備の耐久性のあり方と長寿命化 ・ゴム O リングの寿命予測手法 ・樹脂の疲労寿命予測と非破壊検査技術 ・FRP の耐久性について ・工業製品・部材の長もちの科学 	久米辰雄((元)大阪ガス(株)) 堀田 透(藤倉ゴム工業(株)) 町田邦郎((元)(株)ブリヂストン) 藤井善通(金沢工業大学) 西村寛之(京都工芸繊維大学)

第 163 回「バイオミメティクスと成形加工～最新技術と製品への応用～」

開催年月日	会場	題目	講師
2018 年 3 月 29 日	工学院大学新宿キャンパス 28 F 第 1 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオミメティクスの動向と我が国の課題 ・表面構造を利用したバイオミメティック液体操作 ・生物構造に学び組紐技術を用いた FRP の創製 ・材料研究におけるインフォマティクスとバイオミメティクス ・モスアイ型反射防止フィルムの連続成形技術の開発 ・ネイチャーテクノロジー応用による家電製品の価値創造 	下村政嗣(千歳科学技術大学) 石井大佑(名古屋工業大学) 喜成年泰(金沢大学) 宮内昭浩(東京医科歯科大学(元)(株)日立製作所) 魚津吉弘(三菱ケミカル(株)) 大塚雅生(シャープ(株))

表 3 技術交流会

第 37 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「回転数制御油圧式射出成形機」に関する製造現場の見学—

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2008 年 11 月 19 日	日精樹脂工業株式会社 本社・工場	<ul style="list-style-type: none"> ・会社概要説明 ・工場見学, 資料館見学 ・講演「回転数制御油圧式射出成形機」 	清水健一 (日精樹脂(株))

第 38 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「四軸平行制御射出プレスによる大面積パノラミック・ボディパネルの二材一体化成形技術」に関する成形現場の見学—

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2008 年 12 月 10 日	帝人化成プラスチックテクニカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・会社概要説明 ・帝人化成における最新技術開発状況 ・講演「四軸平行制御射出プレスによる大面積パノラミックルーフ・ボディパネルの二材一体化成形技術」 	帆高寿昌 (帝人化成(株) 先端加工技術研究所)

第 39 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「酸素吸収性オレフィン容器の実用化における材料製造技術と多層化」に関する製造現場の見学—

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2009 年 1 月 21 日	東洋製罐(株)川崎工場	<ul style="list-style-type: none"> ・技術交流会 ・工場長挨拶・会社・工場概要説明 ・講演「酸素吸収性オレフィン容器の実用化における製造技術と多層化」 	石原隆幸 (東洋製罐グループ総合研究所)

第 40 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「マイクロ・ナノ構造体の溶融微細転写プロセス」に関する成形現場の見学—

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2010 年 1 月 19 日	株式会社日本製鋼所	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・講演「マイクロ・ナノ構造体の溶融微細転写プロセス」 ・溶融微細転写装置の成形実演見学 ・技術開発センター見学 	藤村 浩 (広島研究所 所長) 焼本数利 (広島研究所副所長)

第 41 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「超大型高転写精密微細形状付拡散板の開発と商品化」ならびに「斜め延伸による位相差フィルム製造技術開発」に関する製造現場の見学—

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2010 年 3 月 3 日	日本ゼオン(株)精密光学研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「斜め延伸による位相差フィルム製造技術開発」および工場説明 ・講演「超大型高転写精密微細形状付拡散板の開発と商品化」および工場説明 ・生産現場見学「超大型高転写精密微細形状付拡散板の開発と商品化」 	浅田 毅 (日本ゼオン(株)高岡工場) 林 昌彦 (日本ゼオン(株)高機能樹脂・部材事業部)

第 42 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「低圧空気アシスト射出成形によるアシストグリップ専用成形システムの開発」に関する現場の見学—

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2011 年 1 月 28 日	明光化成工業(株)岩村工場	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・講演「低圧空気アシスト射出成形によるアシストグリップ専用成形システムの開発」 ・低圧空気アシスト射出成形機の成形実演見学工場見学 	小川正則 (小島プレス工業(株) 専務取締役) 小川正則 (小島プレス工業(株) 専務取締役)

第 43 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「超低剪断発熱インラインスクリュによる可塑化システムの開発」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2011 年 3 月 4 日	(株)住友重機械工業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶 ・ 講演「超低剪断発熱インラインスクリュによる可塑化システムの開発」 ・ 超低剪断発熱インラインスクリュによる可塑化システムの見学 	高石祐次（住友重機械工業（株）プラスチック機械事業部長） 神谷宗克（Spiral Logic Ltd）

第 44 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「自己クランプ型と工程分割によるインサート成形のハイサイクル化」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2011 年 12 月 15 日	(株)デンソー 大安製作所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶 ・ 講演「自己クランプ型と工程分割によるインサート成形のハイサイクル化」 ・ 受賞工程へ移動，見学 	

第 45 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「使用済み家電回収プラスチックの高純度選別・再生素材化技術」に関するリサイクル工場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2012 年 2 月 16 日	(株)グリーンサイクルシステムズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶，会社概要 ・ 講演「使用済み家電回収プラスチックの高純度選別・再生素材化技術」 ・ 「使用済み家電回収プラスチックの高純度選別・再生素材化技術」の見学 	松田 敏（（株）グリーンサイクルシステムズ 社長） 松尾雄一（三菱電機（株）先端技術総合研究所）

第 46 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「発泡成形のための熱膨張性マイクロカプセルの開発」に関する現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2012 年 3 月 15 日	徳山積水工業（株）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶 ・ 講演「発泡成形のための熱膨張性マイクロカプセルの開発」 ・ 熱膨張性マイクロカプセル製造見学 工場見学 	藤本照雄（徳山積水工業（株）代表取締役社長） 川口泰広（徳山積水工業（株））

第 47 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「多層押出・同時二軸延伸を用いた厚み方向に高屈折率を有する位相差フィルムの開発」に関する現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2012 年 12 月 5 日	日本ゼオン（株）高岡工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶スケジュール説明 ・ 講演「多層押出・同時二軸延伸を用いた厚み方向に高屈折率を有する位相差フィルムの開発」 ・ 多層押出・同時二軸延伸による位相差フィルム製造 見学 	荒川公平（日本ゼオン（株）） 荒川公平（日本ゼオン（株））

第 48 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「射出成形による樹脂—金属の高強度接合技術」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2014 年 2 月 4 日	(株)アイリス 新田工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶 ・ 講演「射出成形による樹脂—金属の高強度接合技術」 ・ 射出成形による樹脂—金属の高強度接合技術の見学 	大隅光悟朗（大成プラス（株）代表取締役社長） 成富正徳（大成プラス（株）代表取締役会長）

第 49 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「炭酸飲料用 PET ボトルの軽量化技術の開発」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2014 年 5 月 21 日	東洋製罐グループ ホールディングス (株) 総合研究所	・挨拶 スケジュール説明 ・「BEGA ボトル開発について」の講演および 製造ラインビデオ紹介 ・総合研究所ご紹介およびプラスチック容器製品 の技術紹介	平山由紀子 (東洋製罐(株))

第 50 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「射出成形による超薄肉インストルメントパネル表皮の開発」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2015 年 2 月 20 日	日産自動車(株) 追 浜工場	・追浜工場概要説明・工場見学 ・受賞技術の講演	

第 51 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「射出・延伸ブロー成形技術による微細発泡容器の開発」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2015 年 5 月 22 日	東洋製罐(株) 久 喜工場	・東洋製罐株式会社の概要説明 ・講演「射出・延伸ブロー成形技術による微細発 泡容器の開発」 ・「射出・延伸ブロー成形技術による微細発泡容 器の開発」の現場視察	細貝 卓 (東洋製罐(株) テ クニカル本部 市川健太郎 (東洋製罐ホル ディングス(株) 総合研 究所)

第 52 回「山形大学グリーンマテリアル成形加工研究センター、ライフ・3D プリンタ創成センターについての講演及び見学会」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2015 年 2 月 16 日	山形大学工学部 (米沢キャンパス) GMAP センター 4 F 406 会議室	・講演「有機材料・プラスチックの成形加工の未 来～グリーンマテリアルから自動車産業へのプ ラスチック成形の貢献～」 ・講演「3D ゲルプリンターが誘発するデジタル 材料革命」 ・GMAP センター見学 ・LPIC 見学	伊藤浩志 (山形大学グリーン マテリアル成形加工研究セ ンター長) 古川英光 (山形大学ライフ・ 3D プリンタ創成センター 長)

第 53 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「複数構成部品の高精度同時成形・型内組立複合技術」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2016 年 11 月 21 日	(株)デンソー 大 安製作所	・挨拶 ・講演「複数構成部品の高精度同時成形・型内組 立複合技術」 ・受賞工程へ移動, 見学	市川正人 ((株)デンソー部品 エンジニアリング部 素形材 加工室)

第 54 回「青木固技術賞受賞現場を訪問する — 「高輝度・高光沢な金属調外観を有する射出成形製品の開発」に関する成形現場の見学—」

開催年月日	会 場	内 容	講 師
2017 年 3 月 15 日	富士化学(株)	・挨拶および会社紹介 ・講演「高輝度・高光沢な金属調外観を有する射 出成形製品の開発」 ・「高輝度・高光沢な金属調外観を有する射出成 形製品の開発」の現場視察	河西工業(株) 小松崎大樹 (河西工業(株))

第 55 回「京都大学生存圏研究所セルロースナノファイバー樹脂複合材料一貫製造プロセス関連の講演および見学会」

開催年月日	会場	内容	講師
2018 年 3 月 5 日	京都大学生存圏研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 ・「パルプ直接混練法“京都プロセス”への道」 ・セルロースナノファイバー樹脂複合材料一貫製造プロセス関連施設見学 	矢野浩之（京都大学）

表 4 成形加工夏季・秋季セミナー

第 14 回「初秋の隠岐島で高分子レオロジーを基礎から学ぶ」

開催年月日	会場	題目	講師
2008 年 9 月 18 日 9 月 19 日	隠岐プラザホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・招待講演・高分子溶融体のレオロジー ・招待講演・高分子ガラスのレオロジー ・招待講演・高分子ブレンドと共重合体のレオロジー ・話題提供・高分子レオロジーのシミュレーション 	渡辺 宏（京都大学） 井上正志（大阪大学） 高橋良彰（九州大学） 増淵雄一（京都大学）

第 15 回「『これからの CAE 技術を考える』—CAE の現状と次世代 CAE の技術動向について—」

開催年月日	会場	題目	講師
2009 年 9 月 3 日 9 月 4 日	住友化学蓼科クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・招待講演・粒子法の現状とプラスチック成形加工シミュレーションへの適用について ・話題提供・プラスチック成形分野における SPH 粒子法の実用化に向けての取り組み ・話題提供・未来を切り開く CAE—粒子法と GPGPU で産業界 CAE の常識が変わる！かも— ・話題提供・押出成形 CAE における最近の動向 ・話題提供・成形現場で有効な押出成形 CAE (研究部門と生産部門の橋渡し) ・話題提供・CAE と材料物性：いつも同じ物性？ ・話題提供・CAE 精度向上の試み：流動解析・構造解析の連成ツール ・招待講演・これからの成形加工 CAE 技術の展望と期待 ・話題提供・有限要素法による粘性・粘弾性流体解析 ・招待講演・複雑流体のマイクロ・マクロ流動シミュレーション」 ・話題提供・プラスチック成形 CAE の現在と将来 ・話題提供・樹脂流動解析のパラレルコンピューティングの現状と今後 ・話題提供・型内樹脂収縮により変化する樹脂金型間の熱伝達の扱いと金型温度解析の今後 ・話題提供・CAD 一体型のプラスチック射出成形解析 ・話題提供・部門間協調 CAE システムのプラスチック部品開発への適用について ・話題提供・中立面の抽出の革命 ・話題提供・CAE 解析モデルの自動作成システムの実用化と今後の開発計画 	酒井 讓（横浜国立大学） 三好昭生（(株)インサイト） 川上 浩（プロメテック・ソフトウェア(株)） 中原裕介（(株)プラメディア） 大川浩一（DSM ジャパンエンジニアリングプラスチック(株)） ゼイダム、ハシビ・ディ・マトス（BASF ジャパン(株)） 小山清人（山形大学） 富田晋平（アンシス・ジャパン(株)） 山本剛宏（大阪大学） 中野 亮（東レエンジニアリング(株)） 後藤昌人（(株)セイロジャパン） 愛智正昭（(株)先端力学シミュレーション研究所） 根本泰則（(株)テラバイト） 興津美仁（(株)電通国際情報サービス） 立石 勝、三浦一壽（(株)テクノスター） 西浦光一（インテグラル・テクノロジー(株)） 瀬戸雅宏（金沢工業大学） 田中正幸（東芝(株)）

開催年月日	会場	題目	講師
		<ul style="list-style-type: none"> ・話題提供・射出成形品における板厚方向の樹脂流動挙動と物性値分布 ・話題提供・粒子法の実用化に向けた解像度可変技術 ・話題提供・射出成形最適化技術の現状と今後 ・話題提供・成形加工の分子シミュレーションと今後の展望 	横山敦士(京都工芸繊維大学) 増渕雄一(京都大学)

第16回「地球環境対応の材料・加工技術・製品」 —最新の技術動向—

開催年月日	会場	題目	講師
2010年8月26日 8月27日	山形大学 工学部 国際事業化研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・招待講演・有機EL・有機太陽電池開発の最新線 ・話題提供・植物原料プラスチックの電子機器分野への導入について ・話題提供・植物度100%自動車内装基材の開発 ・話題提供・自動車分野向けイノベーション・パイプラインの紹介 ・話題提供・地球環境にやさしい地産地消のための成形加工—回転成形を例に— ・招待講演・CO₂を利用する機能性ポリマーの合成 ・話題提供・低炭素化社会に向けてのバイオガスに関する取り組み ・話題提供・ソーラーマリンファーム構想とEZ(イージー)バイオシステム構想 ・招待講演・耐衝撃性・耐熱老化性PLAアロイの設計をめぐって ・話題提供・POM/PLAポリマーアロイのモルホロジーと機械強度 ・話題提供・易成形性・高耐久性ポリプロピレン/ポリ乳酸系アロイの開発 ・話題提供・次世代の熱成形(NGF法)および3次元表面加飾技術(TOM)について ・話題提供・マイクロ・ナノ転写成形品のための溶融微細転写プロセス ・話題提供・ポリアミド樹脂製屈曲パイプの射出成形と実用特性 ・招待講演・環境対応のプラスチック成形加工製品と加工法のトレンド例と今後 ・話題講演・パルプ射出成形の最新技術動向 	城戸淳二(山形大学) 藤平裕子(ソニー(株)) 市岡史高(トヨタ紡織(株)) 竹中憲彦(BASFジャパン(株)) 五十嵐敏郎(金沢大学 ロト・コンサルタントジャパン) 落合文吾(山形大学) 川崎真一(大阪ガス(株)) 藤村直人(森と海研究所) 井上 隆(山形大学) 長井 聡(三菱エンジニアリングプラスチック(株)) 亀尾幸司(住友化学(株)) 三浦高行(布施真空(株)) 伊東 宏((株)日本製鋼所) 上村敬二(旭化成ケミカルズ(株)) 西尾太一(住化加工紙(株)) 松坂圭祐(大宝工業(株))

第17回「地球環境対応の複合材料, 加工技術, 製品」 —最新の技術動向—

開催年月日	会場	題目	講師
2011年12月1日 12月2日	かんぼの宿徳島	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック用強化材としての天然繊維の効果的活用について ・最新海外情報複合材成形技術 Out-of-Autoclave&オートメーション技術について ・LEXUS LFAのCFRP ボデー生産技術 ・気相法炭素繊維 VGCFの開発の歴史と現状,そして将来の展望 	合田公一(山口大学) 倉谷泰成((株)カドコーポレーション) 片平奈津彦(トヨタ自動車(株)) 新井敏弘(昭和電工(株))

第18回「押出機内の混練による分散を考える」

開催年月日	会場	題目	講師
2012年11月16日 11月17日	メルパルク松山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溶融混練の基礎と評価 ・ セン断力の多様化による分散向上と高分配による混練向上技術 ・ 押出機混練技術と応用事例 	梶原稔尚（九州大学） 長岡 猛（京都工芸繊維大学） 大田佳生（旭化成ケミカルズ）

第19回「成形（品）のトラブル対策を考える」

開催年月日	会場	題目	講師
2013年7月25日 7月26日	住友化学蓼科クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成形不良現象の理解から抑止対策へ～ウェルドライン，バリに注目して～ ・ 成形品の設計と耐久性評価 ・ 電気・電子機器に見るプラスチックの不具合事例と対策 	村田泰彦（日本工業大学） 西村寛之（京都工芸繊維大学） 馬場文明（三菱電機（株））

第20回「早春の北陸で語り，学ぶ成形加工」

開催年月日	会場	題目	講師
2016年3月18日 3月19日	北陸先端科学技術大学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸先端科学技術大学院大学山口研究室見学および概要説明 【宿泊施設にて交流会&話題提供自己紹介&話題提供】 ・ レオロジーと成形加工 ・ ポリマー／熱伝導性フィラー複合材料の溶融混練 ・ 現場で活かす射出成形 CAE ・ 透明プラスチックの複屈折と力学特性 ・ プラスチック材料の衝撃特性 金沢工業大学山部研究室概要説明および周辺見学	山口政之（北陸先端科学技術大学院大学） 伊崎健晴（三井化学） 田上秀一（福井大学） 亀田隆夫（三光合成） 信川省吾（名古屋工業大学） 安田 健（東京都立産業技術研究センター） 山部 昌，瀬戸雅宏（金沢工業大学）

第21回「ナノカーボン材料を知る・語る・考える」

開催年月日	会場	題目	講師
2017年11月30日 12月1日	産業技術総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶，スケジュールの説明，自己紹介 ・ 「産総研におけるナノカーボン材料実用化の取り組み」 ・ 参加者による話題提供（6件程度，休憩あり） ・ 「継続的イノベーションの創出」 ・ 参加者による話題提供（5件程度，休憩あり） ・ 「カーボンナノチューブ材料プロセスの見える化をめざす」 ・ CNT 施設見学および質疑応答，まとめ 	阿多誠介（産業技術総合研究所） 荒川公平（ゼオンナノテクノロジー） 岡崎俊也（産業技術総合研究所）

表 5 成形加工実践講座シリーズ

第 9 回「成形加工実践講座（材料編）」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2008 年 7 月 2 日	タワーホール船堀 「福寿」	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリオレフィンの種類と用途 ・エンジニアリングプラスチックの種類と用途 ・成形・金型の製造側からみた、材料特性について ・自動車部品メーカーの生き残りを掛けたものづくり ・電気・電子機器におけるプラスチックの適用事例と開発動向 	中辻淑裕（住友化学(株)） 真田大輔（三菱エンジニアリングプラスチック(株)） 鈴木淳広（ムネカタ(株)） 岡村雅晴（ダイキョーニシカワ(株)） 馬場文明（三菱電機(株)）

第 10 回「成形加工実践講座シリーズ（成形編）」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2009 年 7 月 28 日	キャンパス・イノベーションセンター東京 2 階多目的室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・射出成形の基礎論 ・型内圧・温度測定と成形品品質 ・成形条件最適化のポイント ・光学部品成形技術の基礎とその応用 ・PP の成形事例と問題対策事例（自動車材を中心として） ・エンジニアリングプラスチックの利用事例と、その成形法 	植田祐治（(株)日本製鋼所） 折田浩春（日本キスラー(株)） 泊 清隆（(地独)大阪市立工業研究所） 小瀬古久秋（(株)リコー） 平野幸喜（(株)プライムポリマー） 白石 豊（三菱エンジニアリングプラスチック(株)）

第 11 回「成形加工実践講座（材料編） 高分子成形加工の基礎—もう一度材料に戻って考えよう—」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2010 年 7 月 2 日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリオレフィンの特徴とその用途 ・各種エンブラの紹介と最近の開発動向 ・バイオプラスチック、主としてポリ乳酸の基本特性、成形加工と応用 ・自動車用樹脂部品のブロー成形（機能性部品を中心に） ・電気・電子機器におけるプラスチック使用上のポイント 	太田勝寿（(株)プライムポリマー） 若塚 聖（ポリプラスチック(株)） 望月政嗣（京都工芸繊維大学） 田村 隆（エクセル(株)） 馬場文明（三菱電機(株)）

第 12 回「成形加工実践講座（金型・CAE 編） 現場で役立つ金型技術と CAE 事例」

開催年月日	会 場	題 目	講 師
2011 年 7 月 7 日	大阪ガス備後町クラブ、3 階ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック成形用金型設計の基礎 ・射出成形の不良対策と金型 ・プラスチック成形 CAE の基礎と最近の事例 ・CAE 技術を利用した金型設計と金型技術のポイント ・金型の温度コントロールについて ・プラスチック成形をサポートする取出口ロボット 	上本誠一（パナソニック電工(株)） 酒井貴純（日精樹脂工業(株)） 中野 亮（東レエンジニアリング(株)） 辰巳昌典（(株)プラスチック工学研究所） 清水元治（(株)松井製作所） 川瀬初彦（(株)スター精機）

第13回「成形加工実践講座シリーズ（成形編） 射出成形早わかり—基礎から現象把握，成形事例まで—」

開催年月日	会場	題目	講師
2012年7月10日	タワーホール船堀	<ul style="list-style-type: none"> ・射出成形の基礎論 ・型内圧・温度測定と各種成形法での適用事例 ・型温加熱冷却成形技術 ・射出成形現象の可視化・実験解析 	植田祐治（(株)日本製鋼所） 折田浩春（日本キスラー(株)） 戸田直樹（三菱重工プラスチックテクノロジー(株)） 横井秀俊（東京大学）

第14回「成形加工実践講座シリーズ（材料編） 高分子成形加工の基礎—もう一度材料に戻って考えよう—」

開催年月日	会場	題目	講師
2013年7月3日	東工大蔵前会館ロイヤルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリオレフィンの特徴とその用途 ・各種エンプラの紹介と最近の開発動向 ・複合化による材料物性発現：ポリオレフィン材料を中心として ・押出成形性と樹脂物性 ・フィルム成形とそれに求められる材料特性 ・射出成形に求められる材料 	森富 悟（住友化学(株)） 若塚 聖（ポリプラスチック(株)） 小野道雄（ダウケミカル日本(株)） 伊崎健晴（三井化学(株)） 金井俊孝（KT POLYMER） 伊藤浩志（山形大学）

第15回「成形加工実践講座（金型・CAE編） 基礎をみつめる金型とCAE技術」

開催年月日	会場	題目	講師
2015年6月25日	東京工業大学大岡山キャンパス西9号館 コラボレーションルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・型内流動現象の定量化と解析精度向上へのアプローチ ・プラスチック射出成形金型の設計基礎知識 ・プラスチック成形CAEの最新動向 ・金属光造形金型とプラスチック成形CAEの活用 ・温度測定の有効活用と適用事例 ・射出成形CAE活用のための検証実験の重要性 	瀬戸雅宏（金沢工業大学） 石井耕二（日精樹脂工業(株)） 岡田有司（東レエンジニアリング(株)） 上本誠一（パナソニック(株)） 折田浩春（日本キスラー(株)） 亀田隆夫（三光合成(株)）

第16回「成形加工実践講座シリーズ（成形編） 射出成形早わかり—基礎から現象把握，成形事例まで—」

開催年月日	会場	題目	講師
2015年8月26日	タワーホール船堀（江戸川区総合区民ホール） 平安の間（2階）	<ul style="list-style-type: none"> ・射出成形の最新動向（発泡，ヒート&クール，加飾技術） ・射出成形におけるトラブル事例と対策 ・成形条件最適化のポイント ・射出成形における複合化技術（加飾成形，DSI関連成形，CFRTP成形など） ・射出成形現象の可視化実験解析 	秋元英郎（秋元技術士事務所） 小林 豊（(株)プライムポリマー） 泊 清隆（(地独)大阪市工業研究所） 西田正三（(株)日本製鋼所） 折田浩春（日本キスラー(株)） 横井秀俊（東京大学）

第17回「成形加工実践講座シリーズ（材料編） 高分子成形加工の基礎—もう一度材料に戻って考えよう—」

開催年月日	会場	題目	講師
2016年7月26日	タワーホール船堀（江戸川区総合区民ホール） 桃源（2階）	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリオレフィンの特徴とその用途 ・各種エンプラの紹介と最近の開発動向 ・ポリマーアロイ ・プラスチック用添加剤の機能と使用時の注意点 ・高機能化のための強化繊維とフィラー ・次世代自動車に向けた樹脂材料の課題 	森富 悟（住友化学(株)） 長谷寛之（ポリプラスチック(株)） 扇澤敏明（東京工業大学） 大 直子（(株)ADEKA） 森井 亨（湘南工科大学） 大庭敏之（大庭塾）

第18回「成形加工実践講座シリーズ（金型・CAE編） つなげよう，CAE技術と金型づくり」

開催年月日	会場	題目	講師
2017年7月21日	スクエア荏原 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・金型内の流動現象とCAEの精度検証 ・射出成形CAE—その計算の仕組み ・型内圧・温度測定の基本と適用事例 ・射出成形金型の機能と成形不良～金型に求められる機能と構成要素～ ・射出成形CAEを活かす取り組み 	瀬戸雅宏（金沢工業大学） 多田和美（サイバネットシステム（株）） 折田浩春（日本キスラー（株）） 榎原 充（（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構） 亀田隆夫（三光合成（株））

表6 成形加工テキストシリーズ講座

第10回 第I巻「流す・形にする・固める」&第II巻「成形加工における移動現象」

開催年月日	会場	題目	講師
2008年9月26日	東京工業大学百年記念館 フェライト会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第I巻「『流す・形にする・固める』という概念」形状の付与」 ・第II巻「移動現象からみた成形加工」 ・第I巻「流動性の付与」「形状の固定化」「流す・形にする・固める」によって発現する機能」 ・第II巻「プラスチック材料の流動現象と転移現象」 ・第I巻「『流す・形にする・固める』過程での成形不良」 ・第II巻「成形加工における輸送現象」 	佐藤 勲（東京工業大学） 佐藤 勲（東京工業大学） 小山清人（山形大学） 小山清人（山形大学） 横井秀俊（東京大学） 横井秀俊（東京大学）

第11回 第III巻「成形加工におけるプラスチック材料」

開催年月日	会場	題目	講師
2009年9月25日	キャンパス・イノベーションセンター（CIC） 2階多目的室3	<ul style="list-style-type: none"> ・成形加工におけるプラスチック材料（第1章） ・成形加工とプラスチック材料の微細構造（第2章） ・射出成形における結晶性プラスチックの構造形成（第3章） ・成形加工とプラスチックの転移現象（第4章） ・成形加工とプラスチックの物性（第5章） 	鞠谷雄士（東京工業大学） 鞠谷雄士（東京工業大学） 鞠谷雄士（東京工業大学） 小山清人（山形大学） 大越 豊（信州大学）

第12回 第I巻「流す・形にする・固める」&第II巻「成形加工における移動現象」

開催年月日	会場	題目	講師
2010年9月13日	きゅりあん5階第2講習室	<ul style="list-style-type: none"> ・第I巻「『流す・形にする・固める』という概念」形状の付与」 ・第II巻「移動現象からみた成形加工」 ・第I巻「流動性の付与」「形状の固定化」「流す・形にする・固める」によって発現する機能」 ・第II巻「プラスチック材料の流動現象と転移現象」 ・第I巻「『流す・形にする・固める』過程での成形不良」 ・第II巻「成形加工における輸送現象」 	佐藤 勲（東京工業大学） 佐藤 勲（東京工業大学） 小山清人（山形大学） 小山清人（山形大学） 横井秀俊（東京大学） 横井秀俊（東京大学）

第13回 第Ⅲ巻「成形加工におけるプラスチック材料」

開催年月日	会場	題目	講師
2011年9月16日	きゅりあん6階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> 成形加工におけるプラスチック材料(第1章) 成形加工とプラスチック材料の微細構造(第2章) 成形加工とプラスチックの転移現象(第4章)の1 成形加工とプラスチックの転移現象(第4章)の2 射出成形における結晶性プラスチックの構造形成(第3章) 成形加工とプラスチックの物性(第5章) 	鞠谷雄士(東京工業大学) 鞠谷雄士(東京工業大学) 小山清人(山形大学) 小山清人(山形大学) 鞠谷雄士(東京工業大学) 大越 豊(信州大学)

第14回 第Ⅰ巻「流す・形にする・固める」&第Ⅱ巻「成形加工における移動現象」

開催年月日	会場	題目	講師
2012年9月11日	工学院大学新宿キャンパス28F第1,2会議室	<ul style="list-style-type: none"> 第Ⅰ巻「『流す・形にする・固める』という概念」[形状の付与] 第Ⅱ巻「移動現象からみた成形加工」 第Ⅰ巻「流動性の付与」[形状の固定化]「『流す・形にする・固める』によって発現する機能」 第Ⅱ巻「プラスチック材料の流動現象と転移現象」 第Ⅰ巻「『流す・形にする・固める』過程での成形不良」 第Ⅱ巻「成形加工における輸送現象」 	佐藤 勲(東京工業大学) 佐藤 勲(東京工業大学) 小山清人(山形大学) 小山清人(山形大学) 横井秀俊(東京大学) 横井秀俊(東京大学)

第15回 —最先端プラスチック成形加工シリーズ 第4巻先端成形加工技術—

開催年月日	会場	題目	講師
2013年9月3日	工学院大学新宿キャンパス28F第1,2会議室	<ul style="list-style-type: none"> 混合混練の最新技術 射出成形の技術動向 押出成形の技術動向 ブロー成形の動向 スタンピング成形技術の動向と応用展開 接合の技術動向 	黒田好則((株)神戸製鋼所) 館山弘文(NTPP Lab) 小林昭美(東芝機械(株)) 山田俊樹(東洋製罐グループホールディングス(株) 総合研究所) 吉田智晃(クオドラント・プラスチック・コンポジット・ジャパン(株)) 小山 弘(トヨタ紡織(株))

第16回 —テキストシリーズ第Ⅲ巻「成形加工におけるプラスチック材料」—

開催年月日	会場	題目	講師
2013年10月31日	タワーホール船堀2F平安	<ul style="list-style-type: none"> 成形加工におけるプラスチック材料(第1章) 成形加工とプラスチック材料の微細構造(第2章) 射出成形における結晶性プラスチックの構造形成(第3章) 成形加工とプラスチックの転移現象(第4章) 成形加工とプラスチックの物性(第5章) 	鞠谷雄士(東京工業大学) 鞠谷雄士(東京工業大学) 鞠谷雄士(東京工業大学) 小山清人(山形大学) 大越 豊(信州大学)

第17回 —第I巻「流す・形にする・固める」&第II巻「成形加工における移動現象」—

開催年月日	会場	題目	講師
2014年10月9日	東京工業大学 ロイアルブルーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・第I巻「『流す・形にする・固める』という概念」「形状の付与」 ・第II巻「移動現象から見た成形加工」 ・第I巻「流動性の付与」「形状の固定化」「『流す・形にする・固める』によって発現する機能」 ・第II巻「プラスチック材料の流動現象と転移現象」 ・第I巻「『流す・形にする・固める』過程での成形不良」 ・第II巻「成形加工における輸送現象」 	佐藤 勲 (東京工業大学) 佐藤 勲 (東京工業大学) 小山清人 (山形大学) 小山清人 (山形大学) 横井秀俊 (東京大学) 横井秀俊 (東京大学)

第18回 —テキストシリーズ第3巻「成形加工におけるプラスチック材料」—

開催年月日	会場	題目	講師
2015年9月4日	工学院大学 28F 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・成形加工におけるプラスチック材料 (第1章) ・成形加工とプラスチック材料の微細構造 (第2章) ・射出成形における結晶性プラスチックの構造形成 (第3章) ・成形加工とプラスチックの転移現象 (第4章) ・成形加工とプラスチックの物性 (第5章) 	鞠谷雄士 (東京工業大学) 鞠谷雄士 (東京工業大学) 鞠谷雄士 (東京工業大学) 増淵雄一 (名古屋大学) 大越 豊 (信州大学)

第19回 —第5巻「先端成形加工技術II」—

開催年月日	会場	題目	講師
2016年9月2日	スクエア荏原大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・発泡・超臨界流体利用発泡成形 (第1章) ・微細転写成形 (第2章) ・熱硬化プラスチックの成形技術 (第3章) —トランスファ成形— ・熱硬化プラスチックの成形技術 (第3章) —レジンインジェクション— ・リサイクル技術 (第5章) 	大嶋正裕 (京都大学) 伊藤浩志 (山形大学) 佐伯準一 (EDUCE) 関戸俊英 (金沢工業大学) 木村照夫 (京都工芸繊維大学)

第20回 —第I巻「流す・形にする・固める」&第II巻「成形加工における移動現象」—

開催年月日	会場	題目	講師
2016年9月27日	きゅりあん6階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・第I巻「『流す・形にする・固める』という概念」「形状の付与」 ・第II巻「移動現象から見た成形加工」 ・第I巻「流動性の付与」「形状の固定化」「『流す・形にする・固める』によって発現する機能」 ・第II巻「プラスチック材料の流動現象と転移現象」 ・第I巻「『流す・形にする・固める』過程での成形不良」 ・第II巻「成形加工における輸送現象」 	佐藤 勲 (東京工業大学) 佐藤 勲 (東京工業大学) 杉本昌隆 (山形大学) 杉本昌隆 (山形大学) 横井秀俊 (東京大学) 横井秀俊 (東京大学)

第21回 —第3巻「成形加工におけるプラスチック材料」—

開催年月日	会場	題目	講師
2017年9月7日	スクエア荏原3F大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・成形加工におけるプラスチック材料 (第1章) ・成形加工とプラスチック材料の微細構造 (第2章) ・射出成形における結晶性プラスチックの構造形成 (第3章) ・成形加工とプラスチックの転移現象 (第4章) ・成形加工とプラスチックの物性 (第5章) 	鞠谷雄士 (東京工業大学) 鞠谷雄士 (東京工業大学) 鞠谷雄士 (東京工業大学) 増淵雄一 (名古屋大学) 大越 豊 (信州大学)

第22回 ー第4巻「先端成形加工技術I」ー

開催年月日	会場	題目	講師
2017年9月12日	工学院大学新宿 キャンパス28F 第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・混合混練の最新技術 ・射出成形の技術動向 ・押出成形の技術動向 ・ブロー成形の動向 ・スタンピング成形技術の動向と応用展開 ・接合の技術動向 	黒田好則 ((株)神戸製鋼所) 館山弘文 (NTPP Lab) 水沼功治 (東芝機械(株)) 山田俊樹 (東洋製罐グループ ホールディングス(株)総合研 究所) 川村浩司 (クオドラント・プ ラスチック・コンポジット・ ジャパン(株)) 小山 弘 (トヨタ紡織(株))

表 7 専門委員会公開行事

●伸長プロセス専門委員会 公開シンポジウム

伸長プロセス専門委員会 第40回記念公開シンポジウム ー伸長プロセスの現状と今後の課題ー

開催年月日	会場	題目	講師
2011年10月7日 10月8日	宇都宮グランドホ テル	<ul style="list-style-type: none"> ・伸長プロセス専門委員会の活動報告 ・光学フィルム, 位相差フィルムの最前線 ・Deformation behavior and properties of sequential biaxially stretched polylactic acid (PLA) films ・バイオポリエステル成形加工 ・Recent Research and Development Status in the Field of Advanced Fiber Materials in Korea : Convergence and Integration of Fiber with 6 T ・今, かたる伸長粘度 ・プラスチックフィルム成形性の評価技術と高機能化 ・Recent Evolution of Fiber Research in Donghua University ・Constitutive Modeling of 3-D Elongation—dominated Flow ・フレキシブルナノファイバーの少量添加による伸長流動特性の制御 	鞠谷雄士 (東京工業大学) 豊嶋哲也 (日本ゼオン(株)) Wannee Chinsirikul (MTEC, Thailand) 山根秀樹 (京都工繊大) Wan-Gyu Hahm (KITECH, Korea) 小山清人 (山形大) 金井俊孝 (出光興産(株)) Shenglin Yang (Donghua University, China) Donggang Yao (Georgia Tech., USA) 山口政之 (北陸先端大学)

●射出成形 CAE 専門委員会 公開セミナー

射出成形 CAE 専門委員会 公開シンポジウム

開催年月日	会場	題目	講師
2013年3月21日	金沢工業大学虎ノ 門キャンパス13 階	<ul style="list-style-type: none"> ・射出成形 CAE 専門委員会の取り組みと課題 ・成形不良に伴う樹脂・金型表面接触状況の変化と温度計測 ・射出成形 CAE 専門委員会における各種実験報告 ・固化層成長のモデル化による射出成形樹脂流入解析の高精度・高速化 ・マルチスケール解析を用いたガラス繊維強化射出成形品の構造解析 ・GPGPUを用いた高粘性流体混練解析 	山部 昌 (金沢工業大学) 佐藤 勲 (東京工業大学) 瀬戸雅宏 (金沢工業大学) 岡田有司 (東レエンジニアリ ング(株)) 神吉康文 ((株)ユーイーエ ス・ソフトウェア・アジア) 川上 浩 (プロメテック・ソ フトウェア(株))

表 8 アジア・プラスチック成形ワークショップ及び国際ワークショップ

Asian Workshop on Polymer Processing in Japan (AWPP 2008)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2008年 8月26日～29日	東京工業大学 大岡山キャンパス	52件／ 100名	<ul style="list-style-type: none"> ・ Large Area Replication of Microstructures onto Polymeric Substrates ・ PC/ABS射出成形品物性に及ぼす低分子量成分の影響 	楊 申語 (国立台湾大学) 梅村俊和 (三菱ガス化学)

Asian Workshop on Polymer Processing in Malaysia (AWPP 2009)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2009年 12月1日～4日	Hotel Holiday Inn, Penang Malaysia	82件／ 140名	<ul style="list-style-type: none"> ・ The Role and Contributions of Polymer Processing in the History of Malaysian Plastics Industry and its Development ・ Evaluation of Structure Development and Stretchability during the Stretching Process for Various Polypropylenes 	小西史彦 (TEXCHEM) 金井俊孝 (出光興産)

Asian Workshop on Polymer Processing in Vietnam (AWPP 2010)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2010年 12月7日～10日	ホテル日航ハノイ, ベトナム	101件／ 130名	<ul style="list-style-type: none"> ・ Overview of Vietnam Rubber Industry and Prospects of Development by 2020 ・ Analysis of Contributing Factors to Production of Highly Transparent Isotactic Polypropylene Extrusion Sheets 	Tran Thi Thuy Hoa (Vietnam Rubber Association) 金井俊孝 (出光興産)

Asian Workshop on Polymer Processing in China (AWPP 2011)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2011年 9月4日～7日	黄海飯店 (Huanghai Hotel), 青島, 中国	101件／ 194名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青島科技大で行われている研究プロジェクトの紹介 ・ クレイやグラファイトのナノコンポジット化およびそのフィルム化 ・ 結晶性樹脂を透明にする混練方法と多層フィルム化の有効性 ・ 発泡射出プロセスで成形品表面に生じるシルバーストリークの抑制方法 ・ 特徴的な構造を持つ二軸スクリュ押出機を用いた熔融混練の有限要素解析 ・ マイクロセルラー射出成形を利用したスワールのない発泡プラスチック部品作成のための新しいアプローチ ・ ミクロ射出成形機を用いたポリカプロラクタム製自己ロック型ステントの製造 	Lianxiang Ma (Qingdao University of Science and Technology) Ly James Lee (The Ohio State University) Toshitaka Kanai (Idemitsu Kosan Co., Ltd.) Shia Chung Chen (Chung Yuan Christian University) Toshihisa Kajiwara (Kyushu University) Lih Sheng Turng (University of Wisconsin Madison) Shih Jung Liu (Chang Gung University)

Asian Workshop on Polymer Processing in Kyoto (AWPP 2012)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2012年 8月28日～31日	京都工芸繊維大学	124件／ 194名	<ul style="list-style-type: none"> Development of Advanced Plastics Materials for Future Vehicle Tackling Engineering Applications of Polymer Nano-composites 	藤田祐二 (三菱ケミカルホールディングスグループ) Hung-Jue Sue (Texas A&M)

Asian Workshop on Polymer Processing in Goa (AWPP 2013)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2013年 12月8日～11日	Hotel Cidade de Goa, Goa, India	133件／ 215名	<ul style="list-style-type: none"> Contribution of Flow-Induced Crystallization on Surface Roughness Development in Melt Spinning of Blend Fibers for Artificial Hair Indian Plastic Industry – Opportunities & Challenges – Plastics Era and Its Future Potentials – An Industry View – Industrial Polymer Research : A 20 Year Journey from SME's to Multinationals to Spinouts, Developing Packing, Scaffolds, Drug Polymer Conjugates and Renewable Polymers Using Reactive Extrusion Material Innovation for Automotive Light Weight Solution Polymers and Advanced Composites in Defense and Aerospace 	鞠谷雄士 (東京工業大学) Krishnapuram G. Ramathan (Reliance Industries) Surendra Kulkarni (SABIC Technology Center) Mike O'Shea (The Commonwealth Scientific and Industrial Research Organization) Luping Zhao (BASF South East Asia) Vijay Kumar Saraswat (Government of India)

Mini Symposium on Polymer Processing, CAE and Rheology

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2013年 12月4日	タワーホール船堀蓬萊の間 (江戸川区総合区民ホール)	4件／ 17名	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶・趣旨説明 Understanding entangled polymer dynamics using molecular simulations Numerical simulation of processes with transient contact Advanced CAE Technology in Injection Molding and other Molding Processes Process of Removing Organic Volatiles from Thermo Sensitive and Highly Viscous Polymers in High Volume Kneader Reactors 	伊崎健晴 (三井化学) Sathish K. Sukumaran (Yamagata University) Benoit Debbaut (ANSYS Belgium) David Hsu (Core Tech System, Taiwan ROC) Daniel Witte (List, Switzerland)

Asian Workshop on Polymer Processing in Kenting (AWPP 2014)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2014年 11月17日～20日	Howard Beach Resort – Kenting	232件／ 313名	<ul style="list-style-type: none"> • The recent innovative progress of injection molding process • Morphology evolutions during polymer processing of thermoplastic polymers • Challenges and prospects for quantitative predictive modeling in cast and blown film extrusion • Recent topics on advanced experimental analysis technologies and their application results to unknown injection molding phenomena 	Shia-Chung Chen (Chung Yuan Christian University) Giuseppe Titomanlio (University of Salerno) John Vlachopoulos (McMaster University) Hidetoshi Yokoi (The University of Tokyo)

Asian—Australasian Workshop on Polymer Processing in Singapore (AWPP 2015)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2015年 12月1日～4日	NUS (National University of Singapore) University Town	100件／ 120名	<ul style="list-style-type: none"> • Polymeric Membranes for Clean Water and Clean Energy • Processing Thermoplastic High Performance Composites • Foamability of Multi-Phase Polymeric Materials • Material Development for Automotive Application 	Neal Tai-Shung Chung (National University of Singapore) Florian Doetzer (Composite Cluster Singapore) Anup K. Ghosh (Indian Institute of Technology, Delhi) Takeo Kitayama (Sumitomo Chemical)

Asian—Australasian Workshop on Polymer Processing in Australia (AWPP 2016)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2016年 11月6日～9日	Rydges on Swanston Melbourne	159件／ 164名	<ul style="list-style-type: none"> • Design and Fabricate Polymeric Membranes for Water Reuse, Seawater Desalination and Osmotic Power Generation • Changing Landscape in Polymer Research Challenges and Opportunities • Biopolymers and Reactive Processing • Innovation-A Method Makes It Easy? • The Future of Making Things • Adaptation of Recycling Technologies and Business Models for Plastics in a Circular Economy 	Tai-Shung Chung (National University of Singapore) Sadhan Jana (University of Akron) Jinghua Yin (Chang Chun Institute of Applied Chemistry) Roger La Salle (Matrix Thinking) Matthew McKnight (Autodesk) Edward Kosior (Nextek Limited, Brunel University)

Asian—Australasian Workshop on Polymer Processing in Vietnam (AWPP 2017)

開催年月日	会場	講演数／参加者数	基調講演	講演者
2017年 10月16日～19日	Hanoi University of Science and Technology	73件／ 181名	<ul style="list-style-type: none"> • Influence of Morphological Scaling Effects on Mechanical Properties of Polymer Foams 	Volker Altstädt (University of Bayreuth)

表 9 会誌「成形加工」—解説記事題目一覧

巻号	題目	著者名
第 20 巻 4 号 (2008 年)	有機無機ハイブリッド材料の創製とその応用 有機無機ハイブリッド材料創製 有機無機ハイブリッド材料を用いたセンサ技術への応用 有機無機ハイブリッドの光機能性材料への応用 有機無機ハイブリッド材料のバリアー性能発現とその応用	中 建介 松原一郎／伊藤俊雄 松川公洋 菊地 淳
第 20 巻 5 号	電子部品パッケージの成形技術 熱粘弾性解析による半導体デバイスの熱応力と反り変形挙動の解明 LCP の溶液キャスト法によるフィルム化 半導体デバイス封止における圧縮成形技術 パウダ／顆粒状樹脂用圧縮成形技術 熱硬化型液状樹脂の成形加工技術	中村省三 岡本 敏 小林一彦／小林一彦／井出 修二 大西洋平 土橋和夫
第 20 巻 6 号	構造部材としてのプラスチック材料—自動車用途を中心に— 脱石油技術としての自動車軽量化の方向性 自動車用構造部品に対する要求特性と樹脂化 高分子／金属材料接合界面の応力分布を用いた機械構造物の軽量化の考察 CFRP の特性と自動車部材への適用事例について 長繊維強化樹脂の自動車部材への適用	高橋 淳 岩野昌夫 澤 俊行／長谷川太郎 木本幸胤 鈴木 寛
第 20 巻 8 号	10 年間の技術の進歩 射出成形 押出成形技術の進展 ブロー成形技術のこの 10 年間の進展 紡糸・フィルム成形—10 年間の科学・技術の進歩— 複合材料の変遷 10 年史 樹脂部品成形のための CAE 技術の変遷と今後への期待 リサイクル・低環境負荷対応成形技術 溶融体基本特性 プラスチックの強度研究における最近 10 年間の進展 計測・評価技術（インプロセス計測、可視化と分析） ポリマーブレンド・アロイ 最先端技術 超臨界二酸化炭素を利用した微細発泡成形 マイクロ・ナノモールディング バイオベース・ポリマー—現状と課題— 光学材料・光学部材の最近 10 年の進歩 ポリマー／クレイ系ナノコンポジット 産業界の技術展望 自動車産業におけるプラスチック成形加工の現状と展望 家電・情報機器 ICT・グローバル化、環境問題への対応 飲料容器を高付加価値化する成形技術の変遷と今後の展望 包装材料の技術動向と展望 成形機械—射出成形機 成形機械—押出機 材料—汎用樹脂 エンブラの歴史から将来を見る	館山弘文 酒井忠基 葛良忠彦 鞠谷雄士 濱田泰以 山部 昌／吉川秀雄／梶原 稔尚 木村照夫 高橋雅興 成澤郁夫 斉藤卓志 扇澤敏明 大嶋正裕 伊藤浩志 大島一史 金井俊孝 岡本正巳 栃岡孝宏 馬場文明 江藤 誠 伊藤勝也 清水順一 福島 武 眞田 隆／中辻淑裕／西尾 太一 岡田常義
第 20 巻 9 号	特別講演解説 ものづくりの進化と課題—新素材の創出、素材と加工の融合によるイノベーション TV 用液晶ディスプレイ技術開発の現状と将来	田中千秋 水嶋繁光

巻-号	題 目	著者名
	第 18 回「青木固」技術賞報告 回転数制御油圧式射出成形機 酸素吸収性オレフィン容器の実用化における製造技術と多層化 四軸平行制御射出プレスによる大面積パノラミックルーフ・ボディパネルの二材一体化成形技術	山浦 浩／清水健一／海野 義元／駒村 勇 石原隆幸／後藤弘明／小松 威久男／斉藤 剛／山口裕 司 帆高寿昌／杉原康宏／新田 晃弘／鬼澤大光／福島勝仁
第 20 巻 10 号	「射出成形における成形不良現象の解明と対策」特集／「射出成形」論文特集 ひげ生成現象と抑止技術 ウェルドライン生成現象と抑止技術 反り変形現象と抑止技術 フローマーク生成現象と抑止技術	佐藤 勲／上園裕正 山田浩二／村田泰彦 高原忠良／古橋 洋／荒井 毅／石畝 学 横井秀俊／平野幸喜
第 20 巻 11 号	プラスチック製品設計 プラスチック歯車のトライボロジー的特性と設計 プラスチックパイプの製品設計と長期耐久性評価 モールドセパレータの材料設計と成形技術 省材料化と高機能化のためのプラスチックボトルの最適設計	武士俣貞助 西村寛之 三谷徹男 田中政資
第 20 巻 12 号	カーエレクトロニクス 自動車用液状シリコーンエラストマー 自動車用 IC の封止成形 ホットメルトモールディング 車載用高信頼性プリント配線板材料 電磁コイルの高性能化を支える巻線の技術動向 フレキシブル有機 EL の車載への展開と課題	明田 隆 新帯 亮 浅賀信行 中村善彦／藤野健太郎／西 野充修 飯塚慎一 明渡邦夫
第 21 巻 2 号 (2009 年)	成形加工シンポジア '08 特別講演より 情報化社会に向けた企業改革 戦国大名朝倉氏の興亡に学ぶ	川田達男 青木豊昭
第 21 巻 3 号	技術士 射出成形分野における技術支援—技術士の役割— 専門技術士として民間企業等における技術開発支援—金型技術を中心として— 押出成形プロセスの近似モデル 技術士制度と技術士への期待	佐藤 功 小松道男 井口勝啓 岩熊まき
第 21 巻 4 号	型づくり 金型加工におけるナノレベル鏡面切削技術 インプリント用電鍍金型の最新動向 高速ミーリングによる金型加工技術の動向 金型設計と CAE 技術 樹脂成形型づくりにおける技術と技能	天野 啓 柴田隆行 安齋正博 是澤宏之／鈴木 裕 鬼頭秀仁
第 21 巻 5 号	機能膜 ガスバリア包装材料の技術動向 有機 EL や太陽電池用などの次世代のバリア膜 高分子材料におけるガスバリア性評価技術 ～食品分野からディスプレイ・太陽電池・燃料電池分野へ～ バリア膜を支える成形加工技術の中のマイクロ波プラズマ CVD 技術 熱誘起相分離法による多孔膜の作製と微細構造制御	葛良忠彦 黒田俊也 大谷新太郎 山田幸司 松山秀人／丸山達生／大向 吉景
第 21 巻 6 号	スポーツ用具と成形加工 スポーツ工学概説 コンポジットバットの成形と評価方法 シューズの成形加工 ゴルフクラブ用カーボンシャフトの成形加工	細川健治 御園和則 森 貞樹／原野健一 中村崇人

巻一号	題 目	著者名
第 21 巻 8 号	印刷法による機能性パターニング 印刷法による薄膜形成技術、パターニング技術を利用した有機エレクトロニクスの動向と課題 ソフト溶液プロセスによるセラミックスパターニングの直接形成 —インクジェット反応法、インクジェット堆積法を中心に— 印刷プロセスを用いた有機デバイス ガス中蒸発法ナノ粒子インクを用いたインクジェット法による導電膜形成	淵上修三 松下伸広／ルワン・ガラージェ／我田 元／吉村昌弘 中村隆一 小田正明／林 茂雄／大沢正人／林 義明／鄭 久紅
第 21 巻 9 号	特別講演解説 機能性高分子材料の新しい領域 市場ニーズからの新商品・新事業創生について—写真フィルムから高機能フィルムへの展開— 第 19 回「青木固技術賞」報告 超大型高転写精密微細形状付拡散板の開発と商品化 斜め延伸による位相差フィルム製造技術開発 マイクロ・ナノ構造体の溶融微細転写プロセス	西出宏之 品川幸雄 林 昌彦／山崎正弘／塚田啓介／草野賢次／丸山和昭 荒川公平／山崎正弘／川田敬一／宮城孝一／浅田 毅 焼本数利／伊東 宏／折出修／岸田和人／福田始弘
第 21 巻 10 号	「成形品の計測技術」特集／「成形体の形状・構造・物性の評価技術」論文特集 樹脂部品の形状評価における 3 次元デジタイザの活用 マイクロフォーカス X 線 CT による成形品の内部観察 レーザー干渉コンピュータトモグラフィによる透明成形品内部の屈折率分布測定 触って診る成形品の品質—熱物性テスターによる非破壊検査技術—	稲城正高／伊澤 誠／大塚忠晴 亀川正之／岸 武人／大西修平／枝廣雅美／塩田忠弘 斉藤卓志／川口達也／佐藤 勲 高橋一郎
第 21 巻 11 号	成形機 射出成形機の高機能・高精度技術動向 コアバック発泡とコアバック用射出成形機 最新の押出成形機と成形技術 進化する回転成形機と成形技術 フィルム・シート成形機の最新の技術動向	天野光昭 秋元英郎 小林昭美 五十嵐敏郎 辰巳昌典
第 21 巻 12 号	クリーン化技術 クリーンルームの歴史と今後の展望 フィルム製造工程におけるクリーン化技術 成形機メーカーとしてのクリーン化への取り組み 既設装置・建屋での塗装・コーティングにおけるクリーン化とその問題点 クリーンルーム管理と作業教育	浅田敏勝 平田順太 盛井 彰 稲永 健 園田信夫
第 22 巻 2 号 (2010 年)	エレクトロスピニング エレクトロスピニング法によるナノ繊維不織布の特徴と応用 エレクトロスピニングによるナノファイバーの量産化に向けて 高機能ナノファイバー ナノファイバーのモルフォロジー、内部構造、物性	川部雅章／多羅尾隆 山下義裕 白鳥世明 稲井龍二／小滝雅也
第 22 巻 3 号	直接成形 オンラインブレンドシステムによる直接射出成形 ポリプロピレン重合系への添加剤直接添加による酸化防止能付与技術～直接成形への応用と新たな展開 長繊維強化複合材料の直接成形 シートの直接成形技術	桃野政道／渡辺隆弘／瀬川修 川本尚史 長岡 猛 福島 武
第 22 巻 4 号	成形加工シンポジア '09 特別講演より 第一部「課題解決型企業としての役割」 第二部「ふっ素樹脂の加工技術と用途展開」 長崎を通して日本が学んだこと	庄野直之／大久保 篤 ブライアン・パークガフニ

巻-号	題 目	著者名
第 22 巻 5 号	東北・北海道支部特集／AWPP 2009 in マレーシア報告 北海道・東北地区プラスチック成形加工産業の現状と将来戦略に向けて 東北・北海道地域のプラスチック産業の底力	小野浩幸 久松徳郎
第 22 巻 6 号	太陽電池・二次電池開発の最前線 自動車用高性能リチウムイオン電池の研究開発 次世代リチウム二次電池と高分子材料 リチウム二次電池のラミネート外装材 有機薄膜太陽電池の開発とキーマテリアル	堀江英明 吉野 彰 奥下正隆 早川 優／山岡弘明
第 22 巻 8 号	印刷法による機能性パターンニングの基礎技術 インキのレオロジーと印刷適性 高濃度微粒子分散液の塗布・乾燥シミュレーションの方法 拡散、乾燥現象と塗膜成形 インクジェット乾燥過程の解析	大坪泰文 藤田昌大／山口由岐夫 山村方人 山上達也
第 22 巻 9 号	特別講演解説 現代環境論の形成過程と展望—持続可能な社会作りビジョンへの課題— 開発期間は半減できる！—品質工学の基本的な考えと狙い— 第 20 回「青木固技術賞」報告 低圧空気アシスト射出成形によるアシストグリップ専用成形システムの開発 超低剪断発熱インラインスクリュによる可塑化システムの開発	吉田徳久 長谷部光雄 小川正則／池田浩之／西嶋 秀樹／榊原 明／佐藤 勝 丸本洋嗣／神谷宗克
第 22 巻 10 号	若手研究者総説 超臨界流体微細発泡射出成形を中心とした発泡構造解析の研究動向 分子シミュレーションによる高分子材料の物性予測 環境に配慮したプラスチック材料 キトサンを利用した医療材料の開発 レーザーエレクトロスピンニングによる極細繊維製造技術の開発 各種吸音材料の吸音特性と予測モデル	山田岳大 宮崎洋介 加藤真理子 山崎 舞 高崎 緑 赤坂修一
第 22 巻 11 号	「断熱材」特集／「環境調和材料の創製と成形加工」論文特集 建築、特に住宅分野において断熱材に求めるもの 環境に優しい新規断熱シートの開発 採光断熱材「エアサンドイッチ」の開発 シリカエアロゲル系の断熱材	岩前 篤 末岡雅則／仲村博門／木村 将弘 中田泰詩 依田 智
第 22 巻 12 号	ネットワークポリマー 液状シリコーンゴムの射出成形システム コンタクトレンズの技術動向 イオン架橋性樹脂“アイオノマー”の研究動向 不飽和ポリエステル系 FRP—地球温暖化対策・新エネルギー分野への応用例 CFRP 向けエポキシ樹脂の速硬化技術 EPDM の現状と将来展望	池田 透 清水隆男 西岡昭博 塚本貴史 平野啓之 江端洋樹／太田誠治
第 23 巻 1 号 (2011 年)	産官学からみたプラスチック産業の将来展望 官からみたプラスチック産業の動向と将来展望 産からみたプラスチック産業の動向と将来展望 —機能性プラスチック産業の展望— 産からみたプラスチック産業の動向と将来展望 —プロセス、装置の視点から— 学からみたプラスチック成形加工の動向と展望 産学連携 自動車分野 医療分野 プラスチック成形加工における「印刷」技術の将来展望 関西支部の動向と将来展望 東北・北海道支部活動の動向と将来展望 伸長プロセス専門委員会 射出成形 CAE 専門委員会	福田敦史 荒川公平 佃 昇 伊藤浩志 金井俊孝 阿部知和 山脇 昇 長島正幸／花園兼一 泊 清隆 石川 優 鞠谷雄士 山部 昌／亀田隆夫

巻一号	題 目	著者名
	環境・リサイクル専門委員会 新加工技術専門委員会 成形金型技術専門委員会	木村照夫 横井秀俊 村田泰彦
第 23 巻 2 号	混練 溶融混練の基礎理論と現状 カオス混合 フィラー混練・分散メカニズムの基礎と上手く分散させるポイント PPE アロイの混練技術 高せん断成形加工法による新規高分子ナノマテリアルの創製	梶原稔尚／名嘉山祥也 船越満明 藤山光美 大田佳生／藤井 修 清水 博
第 23 巻 3 号	リサイクル技術 プラスチックリサイクルの現状と課題 繊維製品のマテリアルリサイクル リサイクル PET の素材化技術 使用済み家電破碎混合プラスチックリサイクル技術 リサイクル樹脂とバイオマス樹脂の画像機器への取り組み	西谷吉憲 木村照夫 国宗敬弘／国宗範彰／玉田 周平 井関康人／筒井一就／小木 曾正実 原田忠克
第 23 巻 4 号	成形加工シンポジア '10 特別講演より 化石資源を利用しない環境・安全対応低燃費タイヤの開発 文化講演「魅力ある？神戸」拝聴記	和田孝雄 田上秀一
第 23 巻 5 号	医療を支える機能性高分子材料と成形加工／AWPP 2010 in ベトナム報告 機能性バイオマテリアルの設計と評価 再生医療とプラスチック成形加工 医用膜の設計と血液接触時の性能 生体内分解吸収性高分子材料の臨床応用	山岡哲二 水本 博／梶原稔尚 大野 仁 玄 丞然
第 23 巻 6 号	自然現象を利用した成形加工 生物模倣と自己組織化は、成形加工に何をもたらすか：生物規範工学の構築に向けて ブロックコポリマーの自己組織化を用いたリソグラフィーの進展 平行光照射による自発的微細構造形成 ドット型周期微細構造 「LZR RacerTM」に至る水着開発の変遷	下村正嗣 浅川鋼児 服部俊明 篠塚 啓 仰木裕嗣
第 23 巻 7 号	添加剤 結晶核剤の基礎と高性能核剤による高分子材料の機能向上 エンジニアリングプラスチックにおける流動性改質剤、離型剤としてのワックス 難燃剤 酸化防止剤と光安定剤について 衝撃特性改質材 相容化剤	漆原 剛 山田洋介 林 日出夫 大手良之 赤井郁雄 藤田晴教
第 23 巻 9 号	次世代の高分子新素材 オレフィン重合の最近の展開 リビングアニオン重合法による分岐ポリマーの精密合成 二酸化炭素／エポキシド交互共重合体 フェノール誘導体をモノマーとする高分子合成と生成ポリマーの特性 リビングラジカル重合によるポリマーの精密合成と応用	中山祐正／蔡 正国／塩野 毅 杉山賢次 杉本 裕 芝崎祐二 鎌田 潤
第 23 巻 10 号	特別講演解説 太陽光の利用技術とソーラーカーの開発 日本のプラスチック成形機の未来 第 21 回「青木固技術賞」報告 使用済み家電回収プラスチックの高純度選別・再生素材化技術 自己クランプ型と工程分割によるインサート成形のハイサイクル化 発泡成形のための熱膨張性マイクロカプセルの開発	木村英樹 依田穂積 松尾雄一／中 慈朗／遠藤 康博／井関康人／高木 司 石畝 学／西村有城／久野 博／森田裕之／峯崎正仁 川口泰広／松窪竜也／山内 博史／小坂義行／大嶋正裕

巻-号	題 目	著者名
第 23 巻 11 号	加飾／論文特集 加飾技術概論 プラスチックのめっき技術 金型内塗装技術 成形用金型へのシボ加工技術について	秋元英郎 渡辺充広／馬場邦人／齋藤裕一／杉本将治 岡原悦雄 渡邊豊彦
第 23 巻 12 号	成形加工における温度制御技術 射出成形における金型温度制御技術 IH 技術を用いた急加熱急冷却技術 冷却速度制御による精密射出成形法 型温加熱冷却成形技術	村田泰彦 Nicolas Renou 今泉 賢 戸田直樹
第 24 巻 2 号 (2012 年)	レンズ・光学材料 フルオレン含有ポリエステル光学樹脂の成形加工性と光学特性 熱可塑性ナノコンポジット光学材料 光学用耐熱ポリマー 光学用シクロオレフィンポリマーの最新開発動向 低色収差屈折率分布型プラスチックロッドレンズ グレイデッドインデックス型プラスチック光ファイバーによる高速光リンクシステム	加藤真理子／伊藤浩志 大林達彦／鈴木 亮／望月宏顕／相木康弘 川辺正直／和佐野次俊／片山久史／林 健太郎／宮田剛 澤口太一／小淵和之 入江菊枝 吉田博次
第 24 巻 3 号	繊維／AWPP 2011 in 中国報告 高強度ポリエチレン繊維の熱特性を利用した極低温用複合材料 セルロースの熱可塑化と熔融紡糸による繊維化技術 ナノファイバー技術開発の現状と今後の展望 炭素繊維の高性能化・多機能化を目指して ガラス繊維の工業材料としての魅力	山中淳彦 荒西義高 松本英俊／高橋光弘／谷岡明彦 内藤公喜 平山紀夫
第 24 巻 4 号	成形加工シンポジア '11 特別講演より 異種材料接合・複合による機能発現 - 室温焼結型金属ナノ粒子の開発 - 秋田の生んだ生物遺産「きょうかい6号」の可能性を探る	小林慎一郎／林 年治 佐藤祐輔
第 24 巻 5 号	界面 材料表面へのポリマーグラフトによる界面制御 異種高分子界面 固体界面における分子鎖熱運動特性 フィラー／高分子基複合材料におけるシラン処理の界面効果 粘着製品における接着界面	吉永耕二 扇澤敏明 藤井義久／田中敬二 幾田信生／仲井朝美／森井亨 中西多公歳／戸崎 裕
第 24 巻 6 号	ウェブハンドリング ウェブハンドリングにおけるトラブル防止技術 光学フィルムのウェブハンドリング技術 プラスチックフィルムの巻取り理論 フィルムスリッターの基本技術	後藤義光／松原信也 正田伸治 神田敏満／橋本 巨久代昌朋／大池達也
第 24 巻 8 号	「バイオポリマー」特集／「AWPP 2011」論文特集 ヒマシ油由来ポリアミド - ポリアミド 11 の特長と高機能化 - バイオポリマーアロイ化技術 バイオベース複合材料技術 天然長繊維強化複合材料の製造技術 ポリ乳酸の射出成形周辺技術	松野真也／宮保 淳 長井 聡／永井雅之 高木 均 藤浦貴保／田中達也 長澤次男
第 24 巻 9 号	特別講演解説 大阪ガスケミカルグループの成長戦略～Derivative から Original へ～ 医療とプラスチック—成長戦略を支える日本発先進医療技術— 第 22 回「青木固技術賞」報告	領木康雄 堀井秀夫

巻一号	題 目	著者名
	多層押出・同時二軸延伸を用いた厚み方向に高屈折率を有する位相差フィルムの開発	荒川公平／川田敬一／豊嶋哲也／滝澤 忠／黒崎勝尋
第 24 巻 10 号	プラスチックの成形加工を支える金属材料 樹脂加工に使用される金属材料 ―スクリュ・シリンダ材料を中心として― プラスチック成形加工装置に用いられる耐食・耐摩耗材料 プラスチックの成形加工に向けた耐食・耐摩耗合金の開発と今後の展望 二軸押出機スクリュ・シリンダに使用される耐摩耗金属材料の開発 樹脂腐食摩耗評価方法の開発 ―新素材開発への展開―	高木研一 千村 禎 深瀬泰志／藤本亮輔／二階堂慎一／本間周平 河野省三 船平伸之
第 24 巻 11 号	超臨界流体を用いた加工技術 超臨界流体の特性ならびにその利用技術 超臨界二酸化炭素を利用した塗装技術 超臨界二酸化炭素を利用した射出成形およびめっき技術 超臨界流体を利用した染色技術 超臨界流体発生装置と法的規制	佐藤善之 鈴木 明／佐藤勲征／早坂宜晃 遊佐 敦／山本智史／阿野哲也／太田寛紀／大嶋正裕 堀 照夫 海老原克巳／那須貴樹
第 24 巻 12 号	プラスチック建材 ゼロ・エネルギー住宅に向けた断熱材 建築用材料における膜材料の利用と可能性 建設構造分野に利用される繊維・繊維補強複合材料 ウッドプラスチック 塩ビ系プラスチック建材のリサイクル	田中伸弘 斉藤嘉仁 大野定俊 伊藤弘和 小坂田史雄
第 25 巻 2 号 (2013 年)	トライボロジー／AWPP 2012 報告 高分子材料のトライボロジー概論 エンブラ系高分子トライボマテリアル ナノカーボン添加樹脂系複合材料のトライボロジー特性 金属との複合化による樹脂軸受の機能向上 水素雰囲気におけるシール用樹脂材料のトライボロジー	広中清一郎 永井雅之／森本 馨 榎本和城 石井卓哉／姫野芳英 澤江義則／杉村丈一
第 25 巻 3 号	ナノコンポジット ポリマーブレインナノコンポジット ―基礎から応用まで― ナノコンポジット材料の用途展開に向けて 間違いだらけの天然繊維の利用? ―ガラス繊維代替としての植物繊維と第 3 の天然繊維としての竹繊維の可能性― 機能性ソフトナノコンポジット タイヤ材料におけるシリカナノコンポジット	加藤 誠／白杵有光 岡本正巳 藤井 透／大窪和也 原口和敏 小森佳彦
第 25 巻 4 号	プラスチック微細転写成形 射出成形法による微細転写成形 ナノインプリント法による微細転写成形 微細転写成形における離型工程の物理 ナノ構造による機能性光学素子	本間精一 水野 潤／岡田愛姫子／笠原崇史 平井義彦 栗原一真
第 25 巻 5 号	解説 第 20 回秋季大会特別講演 東日本大震災を起こした地震と東海地域への影響 ―大地動乱の時代をどう生きるか― ものづくりの技、心、自然の大切さ ―名古屋城本丸御殿復元プロジェクト― 解説 加飾技術 3次元表面加飾技術の開発と展開 UV インクジェット塗装技術の試み	小山真人 神野晴行 三浦高行 上村一之
第 25 巻 6 号	ゴム材料 天然ゴム概説 合成ゴムの概論と最近の研究動向 ゴム混練機の概要と最近の開発動向 ゴム練りの挙動とその機構	加藤信子 中村昌生 山根泰明 藤 道治

巻-号	題 目	著者名
第 25 巻 8 号	耐傷付性 プラスチックのスクラッチ挙動とその評価の考え方 荷重増分法による高分子材料のスクラッチ特性評価 走査プローブ顕微鏡を用いたナノ・スクラッチ試験による高分子表面の構造・物性解析 プラズマ CVD 法を利用した車窓用透明樹脂板の開発	栗山 卓 小滝雅也 上原宏樹/山延 健 小島洋治
第 25 巻 9 号	発泡成形 発泡成形を支える成形機—キャビティ拡張発泡成形技術と制御技術— 微細射出発泡成形の技術動向	岡本昭男 秋元英郎
第 25 巻 10 号	特別講演解説 パナソニックのモノづくりと新規技術・事業の創出 第 23 回「青木固技術賞」報告 射出成形による樹脂-金属の高強度接合技術 炭酸飲料用 PET ボトルの軽量化技術の開発	野村 剛 富永高広 平山由紀子/菊地 淳/中 谷豊彦/吉川雅之/勝田秀 彦
第 25 巻 11 号	最近の構造解析技術による成形品理解の深化 マイクロビーム X 線回折法を用いた射出品内部の構造不均一性と力学特性 トモグラフィーを用いた高分子材料の 3 次元観察 すれすれ入射 X 線散乱法による高分子薄膜・表面の高次構造解析 電子顕微鏡による高分子界面の解析	篠原佑也/桜井孝至/兩宮 慶幸 陣内浩司 佐々木 園 堀内 伸
第 25 巻 12 号	金型技術 基礎技術 金型の温度制御：理論と実際 デジタルデータからのシボ直接加工技術の現状と将来展望 ホットランナ金型 金型のメンテナンス	佐藤 勲 三浦憲二郎 福島有一 青葉 堯
第 26 巻 2 号 (2014 年)	防音 吸音・遮音の基礎理論 自動車における防音への取り組み 建築用の遮音構造・材料と遮音特性 鉄道における吸音・遮音材料	高橋大武 杉原 毅 中川 清 半坂征則/間々田祥吾/佐 藤大悟/鈴木 実
第 26 巻 3 号	身近な医療を支える高分子材料と成形加工 マルチルーメンチューブの材料と成形技術 人工関節における高分子材料 DNA チップの材料と成形技術	岩原健吾/上野雄介 山脇 昇 日下孝司
第 26 巻 4 号	Additive Manufacturing (AM, 付加製造) 付加製造 (Additive Manufacturing) 技術の概要 付加製造技術を用いた金型製造法 3D プリンタの 7 つのプリントエンジンの仕組みと特徴 アディティブ・マニュファクチャリング (AM) で作るコンシューマグッズ	新野俊樹 橋原弘之 春日寿利 小林 毅
第 26 巻 6 号	構造制御と機能発現 高分子の伸長結晶化によるナノ配向結晶生成と高性能化 ブロックコポリマーリソグラフィ クレーズによるフィルムおよび繊維の多孔化と応用 —クレーズのヒーリング と電池セパレーター— 高分子の極限機能発現に必要な構造情報と構造物性相関	彦坂正道/岡田聖香 竹中幹人 武野明義 田代孝二
第 26 巻 8 号	機能性新素材 スマートポリマーの医療応用 プラスチック包装容器におけるアクティブバリア技術 3次元スプリング構造を有するクッション材	荏原充宏 山田俊樹 涌井洋行
第 26 巻 9 号	最新の CAE プラスチック成形加工における設計技術としての CAE の展開	横山敦士

巻一号	題 目	著者名
	分子描像に基づく成形加工シミュレーションの現状 粒子法 汎用 FEM の利用から見た CAE	増淵雄一／谷藤眞一郎 竹田 宏 小林卓哉
第 26 巻 10 号	若手研究者総説 分子モデル・流動特性・シミュレーション 天然ゴムの脱タンパク質化技術 セルロースナノファイバー強化プラスチックとその発泡体 SANS および SAXS によるフェノール樹脂成形品の高次構造解析 二軸スクリュ押出機内の溶融可塑化プロセス	畝山多加志 福原史奈／山本祥正／石井 宏幸／河原成元 伊藤彰浩 和泉篤士 福澤洋平／竹内貴季／富山 秀樹
第 26 巻 11 号	特別講演解説 アディティブ・マニュファクチャリング(3D プリンター)の現状と今後の課題 第 24 回「青木固技術賞」報告 射出・延伸ブロー成形技術による微細発泡容器の開発 射出成形による超薄肉インストルメントパネル表皮の開発	中野 禪 小磯宣久／市川健太郎／阿 久沢典男／小谷尚史／大原 健佑 長尾 毅／水谷 篤／石井 郁／徳毛一晃／寿原雅也 ／小船義人
第 26 巻 12 号	半導体パッケージ 最近のパッケージ成形技術-LED,WLP (LPM), 車載系デバイスパッケージ- SiC パワーモジュール用高耐熱性高分子材料 白色 LED パッケージ材料・成形技術 半導体パッケージ構造とダイボンディングフィルム技術	小林一彦／中村貴寛 高橋昭雄 田村興造 増野道夫
第 27 巻 1 号 (2015 年)	極限環境と高分子 宇宙環境下において使用される高分子材料 —小型ソーラーセル実証機 「IKAROS」ポリイミド薄膜材料開発— 国際熱核融合実験炉 (ITER) における保守ロボットの耐放射線機器開発 低温環境における高分子材料 高温高圧環境下で使用されるカーボンナノチューブ高分子複合材料	宮内雅彦／横田力男 角舘 聡／武田信和／安齋 克則 徳満勝久 野口 徹
第 27 巻 2 号	ガスバリア ボイル・レトルト用ハイガスバリアナイロンフィルムの開発 タイヤ用ガスバリア材料技術 透明バリアフィルムと医療医薬品包装材 有機／無機積層構造を用いた透明バリアフィルム	岡部貴史／西本彰二 原 祐一 黒瀬圭史 鈴木信也
第 27 巻 3 号	熱可塑性樹脂複合材料 熱可塑性 CFRP に係る国プロジェクトについて 長繊維ベレットとその展開 スタンピング成形用熱可塑性プリプレグとその成形 CFRP 成形における直接射出成形法とハイブリッド成形システム	経済産業省製造産業局繊維 課 小林 誠 堺 大 浅沼伸行
第 27 巻 4 号	ポリマーアロイ・ブレンド ポリマーブレンド概論 ポリマーアロイの構造と物性の制御 成形加工を利用したポリマーアロイ技術の進展	斎藤 拓 弘中克彦 小林定之
第 27 巻 5 号	解説 第 22 回秋季大会特別講演 食品包装にイノベーションをもたらすプラスチック材料 日韓におけるバイオプラスチック産業の現状と求められる新技術	高橋 勉 山内 健
第 27 巻 6 号	最新フィルム・シート成形 フィルム・シート分野の現状と基礎研究の役割 フレキシブル液晶ディスプレイのフィルム技術 超微細フィルム表面加工技術	富山秀樹 藤掛英夫 魚津吉弘

巻-号	題 目	著者名
	ペーパーエレクトロニクスの研究開発	能木雅也
第 27 巻 8 号	プラズマ表面処理 プラズマ発生と反応の原理 大気圧プラズマ処理とその用途例 フッ素樹脂接着のための大気圧プラズマ複合表面処理 —医療器具, 生体適合材料, 電子機器への応用に向けて— バリア性能の向上	高島成剛 小林 淳 大久保雅章 白倉 昌/森 貴則/鈴木 哲也
第 27 巻 9 号	医療分野における 3D プリント技術の展開 3D ゲルプリンターの開発とその医療分野への進展 3D プリンターを用いた脳神経外科手術用トレーニングモデルの開発 歯科領域に於ける 3D プリント活用の現状と展望	阿部五月/齊藤 梓/川上 勝/古川英光 小寺 賢/林 成人/久保 拓也 糟谷勇武
第 27 巻 11 号	自動車用最新プラスチック材料 自動車用炭素繊維複合材料の成形法 新規樹脂を用いた高外観な自動車内装用材着樹脂部品の開発 人を科学した高触感内装材の開発 自動車軽量化のための金属樹脂接着 自動車用 PP 材料の技術・開発動向	増渕雄一 福田智子/野末将之 橘 学 佐藤千明 矢田健一郎/森富 悟
第 27 巻 12 号	現場レベルで考える環境対策 プラスチックの LCA —リサイクルを中心に— 炭素繊維のリサイクル, その背景, 問題点, そしてビジネスの可能性 家電破砕混合プラスチック選別技術と自己循環リサイクルの進展 マテリアルフローコスト会計 (MFCA) とその実践 —環境負荷低減とコストダウンを同時に実現する新しい手法—	稲葉 敦 藤井 透/大窪和也 井関康人 安城泰雄
第 28 巻 1 号 (2016 年)	ウェアラブル製品のためのプラスチックと関連技術 ウェアラブルコンピューティングの動向とアプリケーションの展望 ウェアラブル機器向けに使用される高機能熱可塑性樹脂材料 ウェアラブルに使用される MID 技術について ウェアラブル熱電素子を目指した有機系熱電材料	亀津 敦 佐藤広陽 上館寛之 石田敬雄
第 28 巻 2 号	異種材料接合 界面での相互作用あるいは反応を利用した樹脂-ゴム直接接着技術とその機構 樹脂・金属一体成形部品の高温高湿耐久性について	六田充輝 林 知紀/秋山大作
第 28 巻 3 号	インフラ関連技術 上下水道管路の更生工法 CFRP 接着工法による土木構造物の補修・補強 電力設備に使われる高分子絶縁材料に関する話題—高分子ナノコンポジットと テラヘルツ分光— 水素ステーション用高圧水素シール部材	渡辺充彦 松村政秀 大木義路 西村 伸
第 28 巻 4 号	解説 第 23 回秋季大会特別講演 博多人形の成り立ちと伝統工芸品への道のり “創意・工夫の歴史” 二分子膜とナノ薄膜	八尾 滋 村上裕人
第 28 巻 5 号	スポーツとプラスチック成形加工 スポーツシューズの素材と加工 CAE を用いたスポーツ用具の開発 スポーツ用品と CFRP 熱可塑性エラストマーを用いたスポーツ用マウスガードの成形加工	宮崎秀行 山田雄貴 平野啓之 高橋 陸/新家義章
第 28 巻 6 号	ゴム開発の最前線 加硫天然ゴム中のカーボンブラックネットワーク構造 フィラー分散が関わるゴム材料のメソスケールシミュレーション 天然ゴムの構造と精製 免震ゴムの解析技術の最近の動向	加藤 淳/池田裕子/森谷 信三 森田裕史 河原成元 森 隆浩/室田伸夫

巻一号	題 目	著者名
第 28 巻 8 号	<p>セルロースナノファイバー プラスチックの補強材としてのセルロースナノファイバー セルロースシングルナノファイバーからなる増粘剤の水性ボールペンインクへの実用化 TEMPO 酸化 CNF の特性と抗菌・消臭シートとしての利用 TEMPO 酸化 CNF を用いた樹脂コンポジットの力学物性</p>	櫻澤麻希子 神野和人／竹内容治 河崎雅行 藤澤秀次
第 28 巻 9 号	<p>破壊 マイクロメカニカルテストによる高強度繊維の破壊特性の解析 先端複合材料の疲労と破壊 非線形 FEM シミュレーションによる高分子材料の損傷・破壊挙動 プラスチック材料の破面解析方法</p>	塩谷正俊 大窪和也／藤井 透 志澤一之 藤木 榮
第 28 巻 10 号	<p>解説 第 27 回年次大会特別講演より “Driving Innovation Through Diversity”</p>	大山秀子
第 28 巻 11 号	<p>伸長プロセス専門委員会 レーザー延伸と放射光 X 線による配向結晶化挙動の高時間分解能測定 高速 DSC を用いた配向高分子の結晶化速度の定量解析 高分子溶融体の伸長レオロジーに関する研究 伸長レオロジーを考慮した各種成形過程の数値シミュレーション フィルムの成形挙動解析と材料設計</p>	大越 豊 宝田 亘 杉本昌隆 大槻安彦 金井俊孝
第 28 巻 12 号	<p>軽量・高効率に貢献する輸送関連 CFRP 鉄道車両における CFRP 技術の応用と展望 自動車分野における CFRP 技術の現状と展望 航空・宇宙分野における CFRP 技術の現状と展望 省エネを実現する炭素繊維強化プラスチック製船舶用プロペラの開発</p>	伊藤幹禰 影山裕史 岩堀 豊 山磨敏夫
第 29 巻 2 号 (2017 年)	<p>マルチスケールシミュレーション 均質化法を用いた複合材料の解析 結晶性高分子材料の塑性変形に関するマルチスケールシミュレーション 高分子流体のマルチスケールシミュレーション 高分子構造形成の粗視化分子シミュレーション</p>	寺田賢二郎 内田 真 佐藤 健／原田浩平／谷口 貴志 藤原 進
第 29 巻 3 号	<p>バイオミメティクス 生物の持つ自己修復機能に倣ったバイオミメティック撥液材料 モルフォ蝶翅の発色機構に学んだ構造発色繊維 生物模倣粘着剤 光学フィルムに関するバイオミメティクス</p>	穂積 篤／浦田千尋／佐藤 知哉／汪 黎明 熊澤金也 中山喜萬 不動寺 浩
第 29 巻 4 号	<p>押出成形機およびその関連技術の動向 混練押出機の技術動向 押出成形の構成装置とその開発動向 機能性押出成形品の開発動向 混練機・押出機の CAE</p>	富山秀樹 大石真伸／遠矢良洋／水沼 巧治 金井俊孝 田上秀一／植松英之
第 29 巻 5 号	<p>解説 第 24 回秋季大会特別講演 東京エレクトロン宮城におけるものづくりと人づくり</p>	佐藤勲征／山田理恵
第 29 巻 6 号	<p>可視化・計測・解析技術から見た射出成形現象 ファウンテンフロー現象の可視化と射出成形品外観不良との相関解析 繊維強化射出成形品および射出発泡成形品の可視化解析 射出成形現象のインプロセス計測のためのセンサ利用技術 解析技術から見た射出成形現象</p>	横井秀俊 瀬戸雅宏／山部 昌 村田泰彦 亀田隆夫
第 29 巻 8 号	<p>プラスチック材料における「耐熱性」 スーパーエンジニアリングプラスチックの歴史と展望 —高耐熱に焦点をあてて— 無機フィラーとプラスチックの複合による高耐熱フィルム バイオマスプラスチックの成形加工と結晶制御による高耐熱化技術</p>	上田一恵 蛭名武雄 武中 晃

巻-号	題 目	著者名
	高分子材料の耐熱性・耐久性評価法	山田和志
第 29 巻 9 号	AM (Additive Manufacturing) AM 技術の開発動向 金属 AM を用いた金型製作の現状と課題 AM の射出成形金型への適用 デジタルストック社会を実現する樹脂系 AM	早野誠治 古本達明 青木新一 瀧 健太郎
第 29 巻 10 号	特別講演解説 いよいよ本格的な普及がはじまったカーボンナノチューブの現状と未来像	畠 賢治
第 29 巻 11 号	データサイエンス 製造業にとっての IoT 最前線と活用事例 MI2I におけるビッグデータと機械学習 Society 5.0 に向けた「人を支援する AI」の研究 幾何学的手法による構造・機能解明	鈴木典子 伊藤 聡 櫻井鉄也 小谷元子
第 29 巻 12 号	プラスチック用添加剤の最前線 酸化防止剤・光安定剤の相乗効果と拮抗作用 高分子材料における添加剤の分析 プラスチックの難燃化 食品用器具・容器包装の規制状況と今後の方向性	山崎秀夫 竹本紀之／秋山 毅／沢井 隆利／石川純久 大越雅之 石動正和
第 30 巻 1 号	ナノ炭素系材料を利用した材料と成形加工 ナノカーボン研究開発の展開 高分子による炭素材料の表面改質と分散性 カップ積層型カーボンナノチューブとその応用展開 MWCNT/エラストマーによる衣類型ウェアラブル伸縮ひずみセンサの開発	篠原久典 坪川紀夫 柳澤 隆 鈴木克典
第 30 巻 2 号	リサイクル セルロースナノファイバー強化樹脂のリサイクル 炭素繊維強化複合材料のリサイクル/CFRP 廃棄物の再資源化 自動車リサイクルの現状と樹脂リサイクル 家電リサイクルにおけるプラスチックの自己循環型マテリアルリサイクル	仙波 健 守富 寛 阿部知和 福嶋容子
第 30 巻 3 号	プラスチック同士の新しい接合技術 接着における高分子インターフェースの基礎 流動体及び非流動体分子接合技術 真空紫外光表面処理による合成樹脂部材の活性化表面接合 接着技術開発における新しいアプローチ/生物模倣	西野 孝 森 邦夫／八甫谷昭彦 杉村博之 内藤昌信

表 10 学会賞（論文賞・「青木固」技術賞・技術進歩賞）受賞者一覧

●論文賞受賞者一覧

	年度		受賞者	受賞者所属	受賞題目
第 18 回	2007	1	富山 秀樹 高本 誠二 新谷 浩昭 井上 茂樹	(株)日本製鋼所 (株)日本製鋼所 (株)日本製鋼所 (株)日本製鋼所	FAN 法を用いた二軸スクリュ押出機の脱揮シミュレーション
第 19 回	2008	1	中村 直貴 山崎 英数 横山 敦士	富士フイルム(株) 富士フイルム(株) 京都工芸繊維大学	高分子溶液多層流における液膜表面形状に対する粘弾性特性の影響
		2	郡 洋平 宝田 亘 伊藤 浩志 武部 智明 南 裕 金井 俊孝 鞠谷 雄士	東京工業大学 東京工業大学 山形大学 出光興産(株) 出光興産(株) 出光興産(株) 東京工業大学	ポリプロピレンの高速溶融紡糸における低立体規則性成分ブレンドの効果
第 20 回	2009	1	多加谷明広 原田 知明 小池 康博	慶應義塾大学 慶應義塾大学 慶應義塾大学	低複屈折射出成形品のためのゼロ・ゼロ複屈折ポリマーの設計
		2	伊東 宏 佐藤 勲 斉藤 卓志 焼本 数利	(株)日本製鋼所 東京工業大学 東京工業大学 (株)日本製鋼所	微細形状転写プロセスにおけるスタンパと溶融ポリマーとの粘着効果
第 21 回	2010	1	附木 貴行 安田 信彦 柳田 大輝 橋本 憲明 白井 義人 西田 治男	九州工業大学 九州工業大学 九州工業大学 九州工業大学 九州工業大学 九州工業大学	二軸スクリュ押出機を用いた水酸化アルミニウム難燃剤を含有したポリ乳酸組成物のケミカルリサイクル
第 22 回	2011	1	船木 章 蔵谷 祥太 山田 敏郎 金井 俊孝	出光興産(株) 金沢大学 金沢大学 出光興産(株)	ポリプロピレンシートの透明性に対する多層押し出しの効果
		2	川口 泰広 大嶋 正裕 谷田 雅洋 大石 勉 伊藤 彰浩 澤 尚志	徳山積水工業(株) 京都大学 徳山積水工業(株) 山口大学 京都市産業技術研究所 積水化学工業(株)	発泡成形用熱膨張性マイクロカプセルのモデリングと開発
第 23 回	2012	1	大塚 正輝 伊藤 浩志	オリンパス(株) 山形大学	ポリカーボネート薄肉射出成形における金型表面粗さが流動挙動と内部モルフォロジーに及ぼす影響
		2	金藤 芳典 横井 秀俊	東京大学 東京大学	型内ランナー切替装置による段差部流動樹脂挙動の可視化解析
第 24 回	2013	1	鈴木 悠 中澤 靖元 デルヤアイテムズ 小松 珠実 宮崎 京子 山崎 静夫 朝倉 哲郎	東京農工大学 東京農工大学 東京農工大学 東京農工大学 東京農工大学 東京農工大学 東京農工大学	エレクトロスピンニング法による絹/ポリウレタン小口径人工血管の開発

		2	今泉 賢 小川 瑞樹 北山 二郎 中野 亮 横井 秀俊	三菱電機(株) 三菱電機(株) 三菱電機(株) 東レエンジニアリング(株) 東京大学	冷却速度制御による精密射出成形法の開発 第3報 粘弾性モデルによる円筒形状部品の収縮メカニズムの解明
第25回	2014	1	井上 玲 田中 達也 荒尾与史彦 野元 将義 下楠蘭 壮	東洋機械金属(株) 同志社大学 同志社大学 同志社大学 同志社大学	射出成形におけるスクリュ形状の違いによるFRTPの繊維長と分散性
第26回	2015	1	齊藤 卓志 川口 達也 佐藤 勲	東京工業大学 東京工業大学 東京工業大学	非晶性樹脂の吸湿によるふく射吸収変化を利用したレーザー透過接合法の検討
		2	狩野真貴子 近藤 寛朗 大武 義人	化学物質評価研究機構 化学物質評価研究機構 化学物質評価研究機構	表面改質MWCNT配合によるEVAナノコンポジットの難燃性向上に関する研究
第27回	2016	1	松坂 圭祐 横井 秀俊	大宝工業(株) 東京大学	パルプ射出成形の研究第3報 -肉厚変動領域における材料流動挙動の静的可視化解析-

●「青木固」技術賞受賞者一覧

	年度		受賞者	受賞者所属	受賞題目
第18回	2007	1	山浦 浩 海野 義元 清水 健一 駒村 勇	日精樹脂工業(株) 日精樹脂工業(株) 日精樹脂工業(株) 日精樹脂工業(株)	回転数制御油圧式射出成形機
		2	石原 隆幸 後藤 弘明 小松威久男 斉藤 剛 山口 裕司	東洋製罐(株) 東洋製罐(株) 東洋製罐(株) 東洋製罐(株) 東洋製罐(株)	酸素吸収性オレフィン容器の実用化における製造技術及び多層化
		3	帆高 寿昌 福島 勝仁 杉原 康宏 新田 晃弘 鬼澤 大光	帝人化成(株) (株)名機製作所 帝人化成(株) 帝人化成(株) 帝人化成(株)	四軸平行制御射出プレスによる大面積パノラミックルーフ・ボディパネルの二材一体化成形技術
第19回	2008	1	林 昌彦 山崎 正宏 塚田 啓介 草野 賢次 丸山 和昭	日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) (株)オブテス	超大型高転写精密微細形状付拡散板の開発と商品化
		2	荒川 公平 山崎 正宏 川田 敬一 宮城 孝一 浅田 毅	日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株)	斜め延伸による位相差フィルムの製造技術開発
		3	焼本 数利 伊東 宏 折出 修 岸田 和人 福田 始弘	(株)日本製鋼所 (株)日本製鋼所 (株)日本製鋼所 (株)日本製鋼所 (株)クラレ	マイクロ・ナノ構造体の溶融微細転写プロセス
第20回	2009	1	小川 正則 池田 浩之 西嶋 秀樹 佐藤 勝 榊原 明	小島プレス工業(株) 小島プレス工業(株) テクノハマ(株) テクノハマ(株) テクノハマ(株)	低圧空気アシスト射出成形によるアシストグリップ専用成形システムの開発

		2	丸本 洋嗣 神谷 宗克	住友重機械工業(株) Spiral Logic Ltd.	超低剪断発熱インラインスクリュによる可塑化システムの開発
第 21 回	2010	1	松尾 雄一 中 慈朗 遠藤 康博 井関 康人 高木 司	三菱電機(株) 三菱電機(株) 三菱電機(株) 三菱電機(株) 三菱電機(株)	使用済み家電回収プラスチックの高純度選別・再生素材化技術
		2	石畝 学 西村 有城 久野 博 森田 裕之 峯崎 正仁	(株)デンソー (株)デンソー (株)デンソー (株)デンソー (株)デンソー	自己クランプ型と工程分割によるインサート成形のハイサイクル化
		3	川口 泰広 松窪 竜也 山内 博史 小坂 義行 大嶋 正裕	徳山積水工業(株) 徳山積水工業(株) 積水化学工業(株) 積水化学工業(株) 京都大学	発泡成形のための熱膨張性マイクロカプセルの開発
第 22 回	2011	1	荒川 公平 川田 敬一 豊嶋 哲也 滝澤 忠 黒崎 勝尋	日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) 日本ゼオン(株) (株)オブテス (株)オブテス	多層押出・同時二軸延伸を用いた厚み方向に高屈折率を有する位相差フィルムの開発
第 23 回	2012	1	成富 正徳 安藤 直樹 高橋 正雄 山口 嘉寛	大成プラス(株) 大成プラス(株) 大成プラス(株) 大成プラス(株)	射出成形による樹脂-金属の高強度接合技術
		2	平山由紀子 菊池 淳 中谷 豊彦 吉川 雅之 勝田 秀彦	東洋製罐グループホールディングス(株) 東洋製罐グループホールディングス(株) 東洋製罐(株) 東洋製罐(株) 東洋製罐(株)	炭酸飲料用 PET ボトルの軽量化技術の開発
第 24 回	2013	1	市川健太郎 小磯 宣久 阿久沢典男 小谷 尚史 大原 健佑	東洋製罐グループホールディングス(株) 東洋製罐グループホールディングス(株) 東洋製罐グループホールディングス(株) 東洋製罐(株) 東洋製罐(株)	射出・延伸ブロー成形技術による微細発泡容器の開発
		2	長尾 毅 石井 郁 寿原 雅也 徳毛 一晃 小船 義人	日産自動車(株) 日産自動車(株) 日産自動車(株) 日産自動車(株) カルソニックカンセイ(株)	射出成形による超薄肉インストルメントパネル表皮の開発
第 26 回	2015	1	市川 正人 加納 佳彦 平岩 尚樹 荒井 毅 長谷川一雄	(株)デンソー (株)デンソー (株)デンソー (株)デンソー (株)デンソー	複数構成部品の高精度同時成形・型内組立て複合技術
		2	小松崎大樹 岡田伸之介 橋本 慎也 遠藤 豊和 田村谷 誠	河西工業(株) 河西工業(株) 河西工業(株) 河西工業(株) 河西工業(株)	高輝度・高光沢な金属調外観を有する射出成形製品の開発

●技術進歩賞受賞者一覧

	年度		受賞者	受賞者所属	受賞題目
第 1 回	2013	1	谷村 敏和 二川 将明 曾我部三志 青田 久男 新宅 勇次	南条装備工業(株) 南条装備工業(株) (株)棚澤八光社 (株)棚澤八光社 (株)マクシス・シントー	自動車内装部品の本物感を実現する射出成形技術および三次元縫製技術の開発
		2	山田 理恵 守 和彦 佐藤 勲征 熊谷 俊彦 佐藤 哲	東北電子産業(株) 宮城県産業技術総合センター 宮城県産業技術総合センター 東北電子産業(株) 東北電子産業(株)	高感度微弱発光計測を用いたプラスチックの酸化劣化評価装置の開発
		3	藤田 鉦則 村上 徹 塚本 雅也	ナノダックス(株) マグ・イゾペール(株) マグ・イゾペール(株)	ガラスウール強化熱可塑性樹脂の製造と応用技術
第 2 回	2014	1	千葉 裕 粕谷 昌弘 小野 豪哲 鈴木 一孝 村松 真希	(株)東亜電化 (株)東亜電化 (株)東亜電化 岩手県工業技術センター 岩手県工業技術センター	微細形状を有するプラスチック成形用金型へ高離型性を付与する薄膜形成技術の開発
		2	早坂 宜晃 鈴木 明 川崎慎一郎 早坂 裕 佐藤 勲征	加美電子工業(株) 東北大学 産業技術総合研究所 加美電子工業(株) 宮城県産業技術総合センター	プラスチック成形品質を高める革新的スプレー塗装技術
第 3 回	2015	1	和泉 康夫 田中 岳夫 玉田 哲郎 嶺川 敦彦 石本 一彦	(株)新日本テック (株)新日本テック (株)新日本テック (株)シート デバイス開発 (株)三協製作所	ノズル-金型間の伝熱を抑制する遮熱構造体による高効率射出成形技術
		2	島田 誠 山田 知夫 阿部奈緒美 西岡 昭博 佐藤 勲征	(株)コバヤシ (株)コバヤシ (株)コバヤシ 山形大学 宮城県産業技術総合センター	成形加工性に優れたバイオマス/ポリオレフィン複合材加工技術
第 4 回	2016	1	山川健太郎 谷村 敏和 岡 美由紀 高木 幸秀	南条装備工業(株) 南条装備工業(株) 南条装備工業(株) 南条装備工業(株)	1 部品を 2 部品に見せる 2 意匠表現加飾技術開発
		2	茂木 淳志 村田 泰彦 福島 祥夫 須田 高史	PLAMO(株) 日本工業大学 埼玉工業大学 群馬産業技術センター	金型内コアピン駆動法によるウェルドライン強度および寸法安定性の改善

表 11 役員名簿

●役員名簿

第 11 期（平成 20 年（2008）4 月～平成 22 年（2010）3 月）

理事 19 名（会長，副会長を含む） 監事 3 名

氏 名	所 属	氏 名	所 属
会 長 横井 秀俊	東京大学		
副会長 谷口 勝彦	住友重機械工業(株)		
〃 大嶋 正裕	京都大学		
〃 小林 博行	ポリプラスチックス(株)		
〃 扇澤 敏明	東京工業大学		
理 事 齊藤 卓志	東京工業大学	理 事 高原 忠良	トヨタ自動車(株)
〃 伊崎 健晴	三井化学(株)	〃 中野 亮	東レエンジニアリング(株)
〃 伊藤 浩志	山形大学	〃 野々村千里	東洋紡績(株)
〃 梶原 稔尚	九州大学	〃 畑 義和	(株)東芝
〃 金井 俊孝	出光興産(株)	〃 村田 泰彦	日本工業大学
〃 川野 英幸	日産自動車(株)	〃 森永 寿一	キヤノン(株)
〃 鈴木 裕	九州工業大学	〃 山田 浩二	大阪市立工業研究所
監 事 鞠谷 雄士	東京工業大学		
〃 西尾 太一	サンテーラ(株)		
〃 濱田 泰以	京都工芸繊維大学		

第 12 期（平成 22 年（2010）4 月～平成 24 年（2012）3 月）

理事 20 名（会長，副会長を含む） 監事 3 名

氏 名	所 属	氏 名	所 属
会 長 金井 俊孝	出光興産(株)		
副会長 阿部 知和	ホンダエンジニアリング(株)		
〃 梶原 稔尚	九州大学		
〃 小林 博行	ポリプラスチックス(株)		
〃 伊藤 浩志	山形大学		
理 事 齊藤 卓志	東京工業大学	理 事 西村 寛之	京都工芸繊維大学
〃 荒川 公平	日本ゼオン(株)	〃 野々村千里	東洋紡績(株)
〃 池川 直人	パナソニック電工(株)	〃 畑 義和	(株)東芝
〃 鎌田 悟	秋田県産業技術総合研究センター	〃 八角 恭介	日産自動車(株)
〃 鞠谷 雄士	東京工業大学	〃 森井 亨	湘南工科大学
〃 木原 伸一	広島大学	〃 山田 浩二	大阪市立工業研究所
〃 清水 広一	日精樹脂工業(株)	〃 横山 敦士	京都工芸繊維大学
〃 田上 秀一	福井大学		
監 事 大嶋 正裕	京都大学		
〃 西尾 太一	住化加工紙(株)		
〃 濱田 泰以	京都工芸繊維大学		

第13期（平成24年（2012）4月～平成26年（2014）3月）

理事20名（会長，副会長を含む） 監事3名

氏名	所属	氏名	所属
会長 鞠谷 雄士	東京工業大学		
副会長 荒川 公平	日本ゼオン(株)		
〃 梶原 稔尚	九州大学		
〃 伊崎 健晴	三井化学(株)		
〃 伊藤 浩志	山形大学		
理事 齊藤 卓志	東京工業大学	理事 福島 武	(株)日本製鋼所
〃 大嶋 正裕	京都大学	〃 古橋 洋	(株)デンソー
〃 小山松 淳	帝人化成(株)	〃 水谷 篤	日産自動車(株)
〃 木原 伸一	広島大学	〃 椋田 宗明	三菱電機(株)
〃 小滝 雅也	京都工芸繊維大学	〃 森井 亨	湘南工科大学
〃 末次 義幸	出光興産(株)	〃 山口 政之	北陸先端科学技術大学院大学
〃 野々村千里	東洋紡績(株)	〃 山田 浩二	大阪市立工業研究所
〃 久松 徳郎	山形県工業技術センター		
監事 阿部 知和	ホンダエンジニアリング(株)		
〃 佐藤 勲	東京工業大学		
〃 西村 寛之	京都工芸繊維大学		

第14期（平成26年（2014）4月～平成28年（2016）3月）

理事22名（会長，副会長を含む） 監事3名

氏名	所属	氏名	所属
会長 大嶋 正裕	京都大学		
副会長 山口 政之	北陸先端科学技術大学院大学		
〃 伊崎 健晴	三井化学(株)		
〃 野々村千里	東洋紡(株)		
〃 齊藤 卓志	東京工業大学	理事 田村 克浩	静岡県工業技術研究所
理事 西谷 要介	工学院大学	〃 栃岡 孝宏	マツダ(株)
〃 荒川 公平	日本ゼオン(株)	〃 富山 秀樹	(株)日本製鋼所
〃 榎本 和城	名城大学	〃 長井 聡	三菱エンジニアリングプラスチック(株)
〃 川崎 真一	大阪ガスケミカル(株)	〃 水谷 篤	日産自動車(株)
〃 木原 伸一	広島大学	〃 八尾 滋	福岡大学
〃 工藤 素	秋田県産業技術センター	〃 安田 健	東京都立産業技術研究センター
〃 桜田喜久男	日精樹脂工業(株)	〃 山田 浩二	大阪市立工業研究所
〃 杉本 昌隆	山形大学	〃 横山 敦士	京都工芸繊維大学
監事 阿部 知和	ホンダエンジニアリング(株)		
〃 伊藤 浩志	山形大学		
〃 梶原 稔尚	九州大学		

第15期（平成28年（2016）4月～平成30年（2018）3月）

理事21名（会長，副会長を含む） 監事3名

氏名	所属	氏名	所属
会長 荒川 公平	日本ゼオン(株)		
副会長 木原 伸一	広島大学		
〃 田上 秀一	福井大学		
〃 長井 聡	(株)東京商会		
〃 齊藤 卓志	東京工業大学		
理事 西谷 要介	工学院大学	理事 田村 克浩	静岡県工業技術研究所
〃 榎本 和城	名城大学	〃 栃岡 孝宏	マツダ(株)
〃 川崎 真一	大阪ガス(株)	〃 富山 秀樹	(株)日本製鋼所
〃 工藤 素	秋田県産業技術センター	〃 水谷 篤	日産自動車(株)
〃 桜田喜久男	日精樹脂工業(株)	〃 八尾 滋	福岡大学
〃 佐藤 勲	東京工業大学	〃 安田 健	東京都立産業技術研究センター
〃 佐藤 正博	パナソニック(株)	〃 山田 浩二	大阪市立工業研究所
〃 杉本 昌隆	山形大学	〃 横山 敦士	京都工芸繊維大学
監事 伊藤 浩志	山形大学		
〃 梶原 稔尚	九州大学		
〃 野々村千里	東洋紡(株)		

表 12 名誉会員名簿

中川 威雄	東京大学名誉教授
成澤 郁夫	山形大学名誉教授
船津 和守	九州大学名誉教授
酒井 忠基	静岡大学客員教授
末松征比古	三甲株式会社
小山 清人	山形大学名誉教授
金井 俊孝	KT Polymer

表 13 創立 30 周年記念功労者名簿

(五十音順)

秋元 英郎	小林 博行	古市 謙次
阿部 知和	齊藤 卓志	水谷 篤
荒川 公平	佐藤 隆	南川 慶二
伊崎 健晴	末次 義幸	宮田 剣
伊藤 浩志	杉本 昌隆	椋田 宗明
榎本 和城	宝田 亘	村上 裕人
扇澤 敏明	武田 敬子	森井 亨
大嶋 正裕	田上 秀一	八尾 滋
大槻 安彦	富山 秀樹	安田 健
梶原 稔尚	仲井 朝美	安原 鋭幸
加藤真理子	長井 聡	山内 健
亀田 隆夫	西 栄一	山口 政之
狩野 武志	西谷 要介	山田 岳大
川崎 真一	野々村千里	山田 浩二
河原 成元	畑 義和	横井 秀俊
鞠谷 雄士	廣田 晋一	横山 敦士
木原 伸一	福島 武	

表 14 創立 30 周年記念感謝状贈呈者

<p>1. 個人</p> <p>1) 久保田和久</p> <p>2) 飯田克江</p> <p>2. 企業 (五十音順)</p> <p>1) 株式会社テクノベル</p> <p>2) 東洋紡株式会社</p> <p>3) 南条装備工業株式会社</p> <p>4) 日精樹脂工業株式会社</p> <p>5) 日本ゼオン株式会社</p> <p>6) ポリプラスチック株式会社</p>
--

創立 30 周年記念事業実施委員会名簿

氏 名	所 属	氏 名	所 属
委員長 横井 秀俊	東京大学	〃 杉本 昌隆	山形大学
幹 事 西谷 要介	工学院大学	〃 住山 琢哉	東洋紡株式会社
委 員 荒川 公平	日本ゼオン株式会社	〃 瀧 健太郎	金沢大学
〃 伊藤 浩志	山形大学	〃 武田 敬子	山形大学
〃 岩崎 力	東洋製罐グループホールディングス株式会社	〃 田上 秀一	福井大学
〃 植松 英之	福井大学	〃 田村 克浩	静岡県工業技術研究所
〃 氏江 勇貴	積水化学工業株式会社	〃 富山 秀樹	株式会社日本製鋼所
〃 榎本 和城	名城大学	〃 内藤 章弘	株式会社日本製鋼所
〃 笠原 俊輔	スズキ株式会社	〃 長井 聡	株式会社東京商会
〃 梶原 稔尚	九州大学	〃 中野 涼子	福岡大学
〃 加藤真理子	大阪ガス株式会社	〃 中村 英慈	株式会社クラレ
〃 亀尾 幸司	住友化学株式会社	〃 西尾美帆子	藤森工業株式会社
〃 亀田 隆夫	三光合成株式会社	〃 西岡 昭博	山形大学
〃 狩野 武志	株式会社プライムポリマー	〃 野々村千里	東洋紡株式会社
〃 木原 伸一	広島大学	〃 信川 省吾	名古屋工業大学
〃 工藤 素	秋田県産業技術センター	〃 花岡 俊	日精樹脂工業株式会社
〃 栗原 一真	産業技術総合研究所	〃 引間 悠太	京都大学
〃 香田 智則	山形大学	〃 広野 正樹	三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社
〃 小寺 省吾	旭硝子株式会社	〃 福嶋 容子	シャープ株式会社
〃 小林 直樹	三井化学株式会社	〃 古市 謙次	東洋紡株式会社
〃 小林 博行	ポリプラスチックス株式会社	〃 安田 健	東京都立産業技術研究センター
〃 齊藤 卓志	東京工業大学	〃 山口 政之	北陸先端科学技術大学院大学
〃 酒井 忠基	静岡大学	〃 山田 浩二	大阪産業技術研究所
〃 佐藤 正博	パナソニック株式会社	〃 山田紗矢香	株式会社神戸製鋼所
〃 末次 義幸	出光興産株式会社	事務局 久保田和久	事務局

創立30周年記念特別講演 講師紹介

於 I会場 (5階大ホール)

本学会の創立30周年を記念する年次大会において、以下の講師の方々から特別講演を頂戴します。最前線の話題と未来への展望を聴講することで、成形加工の今後を知る機会としていただければ幸いです。

◆2018年6月20日 (水)

13:00～ 稲葉 善治 氏 (ファナック株式会社 代表取締役会長 兼 CEO)

題 目: 『射出成形機の最新技術動向』



《ご略歴》

1948年生まれ。東京工業大学工学部機械工学科卒業後、同年いすゞ自動車(株)入社。同社にて生産技術に携わり、1983年ファナック(株)入社。1999年電動サーボ式射出成形機に関する研究で、東京大学工学博士号取得。2003年同社代表取締役社長就任、2016年より代表取締役会長兼CEOを務め、同社の経営を担う。また、日本ロボット工業会会長、日本工作機械工業会副会長として、業界の発展にも貢献している。

14:10～ 塩飽 俊雄 氏 (ポリプラスチックス株式会社 代表取締役社長)

題 目: 『エンプラの過去、現在と未来』



《ご略歴》

1987年京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻修士課程修了、2005年同大学院工学研究科学位認定(博士号取得)。1987年4月ポリプラスチックス(株)に入社、研究センターへ配属される。途中3年間Hoechst AG(ドイツ)への派遣を挟み2007年研究開発センター所長に就任。2009年経営戦略本部LCP事業戦略室長、2011年執行役員経営戦略本部事業戦略統括室長、2015年取締役常務執行役員経営戦略本部長、2017年6月代表取締役社長就任。現在に至る。

15:20～ 上ノ山 智史 氏 (積水化学工業株式会社 取締役 専務執行役員)

題 目: 『積水化学工業におけるプラスチック成形加工の展開と今後の方向性』



《ご略歴》

1980年東京大学工学系大学院工業化学専門課程修了後、積水化学工業(株)に入社。水無瀬研究所配属。以来一貫して研究開発および新規事業立ち上げに従事。1990年から5年間、総合開発室において全社研究開発・技術行政を担当。1999年に水無瀬研究所長、2009年に執行役員R&Dセンター所長就任。2011年常務執行役員、2014年専務執行役員を経て、2017年より全社研究開発管掌に就任、現在に至る。

◆2018年6月21日（木）

15：30～ 吉村 東彦 氏（日産自動車株式会社 常務執行役員）

題 目：『自動車におけるモノづくりの現状と将来』



《ご略歴》

1959年生まれ。神戸大学工学部機械工学科卒業後、日産自動車(株)入社。1998年に生産技術車両技術部主担、2005年に欧州日産自動車会社の出向管理職に着任。2009年に車両組立技術部長、2011年より追浜工場長を^{おっばま}務め、2014年にアライアンスグローバルダイレクターに着任、第二車両生産技術VP(理事)として車両生産技術本部を担当。2015年に車両生産技術本部担当、アライアンスグローバルVP(理事)となり、2016年より常務執行役員を務めている。

16：40～ 山中 俊治 氏（東京大学 生産技術研究所 教授）

題 目：『デザインと加工技術の深い関わり、そして未来 プロトタイピングが示唆するAM革新の可能性』



《ご略歴》

1982年東京大学工学部卒業後、日産自動車を経て、1987年フリーのデザイナーとして独立。1994年リーディング・エッジ・デザインを設立。2008～12年慶應義塾大学教授、2013年より東京大学教授。デザイナーとして腕時計から鉄道車両に至る幅広い工業製品をデザインする一方、技術者としてロボティクスや通信技術に関わる。2004年毎日デザイン賞受賞、ドイツIF Good Design Award、グッドデザイン賞受賞多数。2010年「Tagtype Garage Kit」がニューヨーク近代美術館パーマネントコレクションに選定。近年は「美しい義足」や「生き物っぽいロボット」など、人との新しい関係を研究している。

索引

●配列は講演番号順.

- A-1 株式会社テラバイト
- A-2 住友重機械工業株式会社
- A-3 大宝工業株式会社
- A-4 株式会社プレジール
- A-5 大阪産業技術研究所森之宮センター
- A-6 株式会社大木工藝
- A-7 金沢工業大学 山部・瀬戸研究室
- A-8 積水化学工業株式会社 環境・ライフカンパニー総合研究所
- B-1 株式会社セイロジャパン MoldexSC
- B-2 東京都立産業技術研究センター 表面・科学技術グループ 有機・高分子分野
- B-3 株式会社日本油機
- B-4 株式会社 HASL
- B-5 株式会社アントンパール・ジャパン
- B-6 福井大学 田上・植松研究室
- C-1 名古屋市工業研究所
- C-2 山下電気株式会社
- C-3 株式会社不二越
- C-4 東京工業大学 佐藤・齊藤研究室
- C-5 北陸先端科学技術大学院大学 山口研究室
- C-6 マツダ株式会社
- D-1 株式会社 UBE 科学分析センター
- D-2 山形県工業技術センター
- D-3 株式会社日本製鋼所 広島製作所
- D-4 福岡大学 八尾研究室
- D-5 株式会社プラステコ
- D-6 AGC 旭硝子
- E-1 株式会社テクノベル
- E-2 山形大学 杉本研究室 サティッシュ研究室
- E-3 株式会社新興セルビック
- E-4 小島プレス工業株式会社
- E-5 講演中止
- E-6 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- F-1 山形大学 伊藤浩志研究室
- F-2 金沢大学 瀧研究室
- F-3 富山県産業技術研究開発センター
- F-4 東京大学生産技術研究所 梶原研究室

- F-5 徳島県立工業技術センター
- G-1 京都市産業技術研究所 高分子系チーム
- G-2 一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所
- G-3 株式会社東レリサーチセンター 材料物性研究部
- G-4 東レエンジニアリング株式会社
- G-5 山形大学 高分子複合材料研究室
- H-1 岐阜大学 山下・新川研究室
- H-2 講演中止
- H-3 池上金型工業株式会社
- H-4 株式会社プラモール精工
- H-5 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
- I-1 公益財団法人 金型技術振興財団
- I-2 職業能力開発総合大学校 (NC・CAMユニット)
- I-3 日本工業大学 マイクロ加工研究室
- I-4 ホンダエンジニアリング株式会社
- I-5 群馬県立群馬産業技術センター・住友重機械工業株式会社
- J-1 株式会社棚澤八光社
- J-2 PLAMO 株式会社
- J-3 株式会社東亜電化
- J-4 株式会社デンソー
- J-5 九州工業大学 生産加工研究室
- K-1 村田機械株式会社 制御機器事業部
- K-2 三光合成株式会社
- K-3 日本工業大学 村田研究室
- K-4 株式会社ソディック
- K-5 双葉電子工業株式会社
- L-1 東京農工大学 斎藤研究室
- L-2 東京大学生産技術研究所 横井研究室
- L-3 名古屋工業大学 猪股・信川研究室
- L-4 一般財団法人化学物質評価研究機構 名古屋事業所
- L-5 岩手県工業技術センター
- M-1 山形大学 グリーンマテリアル成形加工研究センター
- M-2 秋田県産業技術センター
- M-3 東芝機械株式会社 射出成形機事業部
- M-4 宮城県産業技術総合センター
- M-5 岐阜県産業技術センター 環境・化学部
- N-1 日本キスラー株式会社
- N-2 広島大学 高压流体物性研究室
- N-3 ファナック株式会社
- N-4 芝浦工業大学 形状創製工学研究室
- N-5 京都大学 材料プロセス工学研究室
- N-6 株式会社栗本鐵工所 コンポジットプロジェクト室

- Q-1 金沢大学 高分子材料物性研究室
- Q-2 世紀株式会社
- Q-3 ダイキョーニシカワ株式会社 R&D 本部
- Q-4 岡山県工業技術センター 高分子材料科
- Q-5 九州大学大学院工学研究院化学工学部門
- R-1 東洋製罐グループホールディングス株式会社 総合研究所
- R-2 福島県ハイテクプラザ
- R-3 日本ゼオン株式会社
- R-4 岐阜大学 仲井研究室
- R-5 宮川化成工業株式会社
- R-6 株式会社東ソー分析センター
- T-1 株式会社本田技術研究所
- T-2 三井化学株式会社
- T-3 同志社大学 応用材料工学研究室
- T-4 東洋機械金属株式会社
- T-5 日本ポリプロ株式会社 材料技術センター 新規材料開発 Gr
- T-6 三菱電機株式会社
- U-1 日本工業大学 安原研究室
- U-2 三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社
- U-3 工学院大学 高分子材料研究室
- U-4 東洋紡株式会社
- U-5 東京工業大学 鞠谷研究室
- U-6 株式会社松井製作所
- U-7 山形大学 西岡・香田・宮田研究室
- U-8 マクセル株式会社